ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま

福島県公立学校
教職員現職教育計画

2024

福島県教育委員会

序

グローバル化・情報化の進展により、社会の在り方や教育をめぐる状況が急速に変化する中、令和３年に中央教育審議会でとりまとめられた「『令和の日本型学校教育』を担う新たな教師の学びの実現に向けて」において、「主体的な教師の学び」「個別最適な教師の学び」「協働的な教師の学び」といった「新たな教師の学びの姿」が示されました。

このような中、「教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律」により、校長及び教員の研修履歴の記録の作成と当該履歴を活用した資質向上に関する指導助言等の仕組みである「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励」が令和５年４月１日より実施されております。

さて、県教育委員会では、令和４年度からスタートした第７次福島県総合教育計画において、本県教育の柱として「学びの変革」を掲げ、個別最適化された学び、協働的な学び、探究的な学びを推進しております。また、令和４年８月に改正された文部科学省の指針を踏まえ、校長及び教員としての資質の向上に関する指標【第２版】を一部改訂しました。本指標を研修受講に活用されることを期待いたします。

教職員の主体的で個別最適な学びが実現できるように、この教職員現職教育計画に基づき、教職員研修の一層の充実を図っていくと同時に、教育センター等の研修についても、より能動的なものへ充実、深化させたり、教職員支援機構や大学・教職大学院等との連携を図っていくことで、教職員研修の質的充実が一層図られるものと考えます。

また、令和６年度より、本県において、文部科学省が構築している全国教員研修プラットフォーム「Plant」を導入します。

本システムの導入により、学校管理職と教員とが、教員の必要な学びに向けて積極的な対話と適切な受講奨励を行うことを促進し、一人一人の教員の主体的・個別最適・協働的な学びを支援してまいります。

各学校や関係機関においては、教職員の資質能力の向上や教育課題の解決を図るために、本計画に基づき現職教育を積極的に推進するとともに、本県教育のさらなる充実・発展のため、より一層尽力くださいますようお願いいたします。

令和６年３月

福島県教育委員会教育長　大沼　博文

〈 目 次 〉

Ⅰ　教職員研修計画

１　はじめに　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
２　教職員研修の構想　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
３　研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励・・・・・・・・・・・・　３
４　校長及び教員としての資質の向上に関する指標【第２版】（改訂版）・　４～８
５　教職員研修の体系
　(1) 基本研修　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９
　(2) 職能研修　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９
　(3) 専門研修　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
　(4) 特別研修　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
　(5) 校内現職研修　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
　(6) 研　　究　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
　【福島県現職教育体系図】　・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
６　市町村教育委員会が行う研修　・・・・・・・・・・・・・・・・１２
７　指標に基づく研修計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３～１８
８　研修事業計画
　(1) 基本研修　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９～２４
　(2) 職能研修　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５～３１
　(3) 専門研修　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３２～４４
　(4) 特別研修　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４５～５０

Ⅱ　研究学校（地区）指定計画

１　はじめに　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５１
２　研究学校（地区）指定計画の構想　・・・・・・・・・・・・・・５１
３　研究学校（地区）指定事業計画　・・・・・・・・・・・・・・・５２

Ⅲ　予定刊行物　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５３～５４

・　義務教育課主管　予定刊行物
・　義務教育課・高校教育課主管　予定刊行物
・　教育センター主管　予定刊行物
・　特別支援教育センター主管　予定刊行物

Ⅳ　その他の研修　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５５～５７

※　教職員現職教育担当者会議設置要綱　・・・・・・・・・・・・５８～５９
※　研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励の内容・方法等・・　６０～６３
※　参考資料　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６４

Ⅰ　教職員研修計画

１　はじめに

県教育委員会では、教職員の資質や指導力の向上を図るため、「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」を踏まえて「福島県公立学校教職員現職教育計画」を策定し、体系的、計画的な研修を実施します。

研修体系においては、初任者研修を起点として、教職の全期間を通じて適切な時期に、基本研修・職能研修・専門研修・特別研修を、教職員の経験や職能に応じて、継続的かつ発展的に実施するとともに、各校の校内現職研修の充実を図り、教職員の資質や指導力の向上に努めることとしています。

基本研修においては、研修の効果的な運営を図り、教員としての高い倫理観や自律心など、資質の向上の内容を重視します。

また、職能研修や専門研修では、情報化に対応した各種研修、児童生徒理解を深める学校教育相談研修、組織マネジメント研修、特別支援教育コーディネーター研修などのように、今日的な教育課題に対応するとともに、より実践的な研修の創設や見直しに努め、現職教育の一層の充実を目指しています。

本計画では教職員研修計画のほか、研究学校（地区）指定計画、予定刊行物を掲載しています。研究学校（地区）指定計画は、創意ある教育活動の推進のために先導的な研究を行っている学校（地区）の紹介及びその研究成果の普及を図るものであり、予定刊行物は、令和６年度に関係課・教育センター・特別支援教育センターで発刊を予定している刊行物を掲載したものです。

２　教職員研修の構想

教職員研修計画は、教職員の資質や指導力の向上を目指し、教育公務員特例法第２１条及び第２２条に基づき、本県における公立学校教職員を対象として行う研修について、その体系的、効果的推進を図るため策定するものです。

研修計画の策定に当たっては、次に掲げる基本方針により構想するものです。

(1) 教員自らが、豊かな人間性と魅力ある人格の陶冶を成し得るとともに、教育愛と使命感に裏付けられた深い専門性と優れた指導技術を習得し得る研修の機会を設けること。
(2) すべての教職員が初任者研修、新規採用者研修を起点として、その後の教職歴における一定の時点ごとに必要とされる研修の機会を設けること。
(3) 関係課・教育センター・特別支援教育センターが所管する各種研修会の相互の有機的な関連や自己研修・校内研修も含めた研修の一貫性を図ること。

3　研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励

教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律の施行（令和５年４月１日）により、教員の研修履歴の記録作成と当該履歴を活用した資質向上に関する指導助言等の仕組みが導入されました。

本県では、教育公務員特例法第22条の５の規定に基づき、教員が自らの学びを振り返るとともに、学校管理職等が研修の奨励を含む適切な指導助言を行うための研修履歴の記録を作成することとします。

【研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励に関する基本的考え方】

１　研修履歴の記録は、指標や教員研修計画を踏まえて行う教育公務員特例法第22条の６の規定による対話に基づく受講奨励において活用されることが基本です。その中で教員が学びの成果を振り返ったり、自らの成長実感を得たりすることが一層可能になると考えられます。

また、これまで受けてきた研修履歴が可視化されることにより、無意識のうちに蓄積されてきた自らの学びを客観視した上で、さらに伸ばしていきたい分野・領域や新たに資質向上・能力開発をしたい分野・領域を見出すことができ、主体的・自律的な目標設定やこれに基づくキャリア形成につながることが期待されます。

２　対話に基づく受講奨励は、教員と学校管理職とが対話を繰り返す中で、教員が自らの研修ニーズと、自分の強みや弱み、今後伸ばすべき力や学校で果たすべき役割などを踏まえながら、必要な学びを主体的に行っていくことが基本です。「新たな教員の学びの姿」が、変化の激しい時代にあって、教員が探究心を持ちつつ、自律的に学ぶこと、主体的に学びをマネジメントしていくことが前提であることを踏まえ、対話に基づく受講奨励は、教員の意欲・主体性と調和したものとなるよう、当該教員の意向を十分にくみ取って行うことが望まれます。

３　研修履歴を活用して対話に基づく受講奨励を行うことにより、

- 教員が今後どの分野の学びを深めるべきか
- 学校で果たすべき役割に応じてどのような学びが必要か

等について、学校管理職による効果的な指導助言等が可能となるとともに、個々の教員の強みや専門性を把握した上で校務分掌を決定するなど効果的な学校運営を行うことも可能になると考えられます。

なお、具体的な受講奨励の内容・方法等については、参考資料「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励の内容・方法等」を御参照ください。

４　校長及び教員としての資質の向上に関する指標【第２版】（改訂版）

本指標は、教育公務員特例法の改正により、教員の任命権者に策定が義務づけられた「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」であり、県教育委員会が関係大学との協議等を経て策定したものです。また、同法で定められた指標に基づく研修計画が、「福島県公立学校教職員現職研修計画」です。

本県では、教員等が高度専門職としての職責、経験及び適性に応じて身に付けるべき指標として、下記の５つの領域、１４項目を設けています。また、それぞれの教員の個性やキャリアパスを生かして、継続的に資質の向上を図ることを求めるため、教員としての成長過程を示した４つのステージをおき、研修を通じて自己の取組を省察しながら、資質を高めるための見通しをもてるようにしています。校（園）長・副校長については、５つの領域に分けて別に定めています。

(1) 指標の領域（Ⅰ～Ⅴ）及び項目（１～14）

Ⅰ　教員としての素養
- １　使命感・情熱・向上心
- ２　幅広い教養や社会性・確固たる倫理観
- ３　本県の教育課題への理解と対応

Ⅱ　学びの創造
- ４　学びの構想と広がり
- ５　授業等の実践と評価・改善
  （幼稚園等　指導計画の作成、保育実践、評価・改善）

Ⅲ　児童生徒の理解と指導
- ６　児童生徒理解
- ７　社会性の伸長と協働する力の育成
- ８　個に応じた対応
- ９　特別な支援を必要とする児童生徒への対応

Ⅳ　教職員の協働と学校づくり
- 10　同僚性の構築
- 11　学校組織の運営
- 12　学校と家庭・地域との連携
- 13　学校安全への対応

Ⅴ　ＩＣＴの活用
- 14　ＩＣＴの効果的な活用

(2) ステージ

福島県が求める着任時の姿	ステージ１	ステージ２	ステージ３	ステージ４
	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期
	概ね１～５年	概ね６～10年	概ね11～15年	概ね16年～

校長・副校長	１ ビジョンと実行力	２ マネジメント力	３ リーダーシップ	４ 育成と服務管理

校長及び教員としての資質の向上に関する指標【第２版】（改訂版）

令 和 ６ 年 ４ 月
福島県教育委員会

東日本大震災以降、本県の教員は、日々子どもたちと真剣に向き合い教育実践に取り組んできました。対話と協働を通して課題解決を目指す探究学習などの多様性を力に変える教育によって、子どもたちの中に、果敢に挑戦する心や粘り強さ、他者との違いを認め、助け合う精神が育まれています。「福島ならでは」の教育は、全国的にも誇るべきものです。

令和4年度からスタートした第7次福島県総合教育計画で掲げた「自分の人生を切り拓くたくましさを持ち、多様な個性をいかし、対話と協働を通して、社会や地域を創造することができる人」を育てていくために、全ての教員が、立場や役割は異なっても「チーム福島」の一員として、変化を恐れず挑戦する心を持ち、自らの長所や個性の伸長を図り、子どもに伴走しながら、継続的に学び続けることができるよう、この指標を策定しました。

令和5年度からは学校管理職との対話に基づく受講奨励の制度が始まりました。子どもたちの学びの姿と教師の学びの姿は相似形です。主体的・対話的で深い学びの実現は、子どもたちの学びのみならず、教師の学びにも求められています。本指標を、自ら学び続ける際の羅針盤として活用されることを期待いたします。

福島県が育成を目指す教員像

急激な社会の変化の中で、「自分の人生を切り拓くたくましさを持ち、多様な個性をいかし、対話と協働を通して、社会や地域を創造することができる児童生徒」を育成するために、学びの変革※1を実現し、

- ○　「福島らしさ」※2をいかした多様性を力に変える教育と、福島で学び福島に誇りを持つことができる「福島を生きる」教育（以下「福島ならでは」の教育という。）を実践する教員
- ○　高い倫理観と教育に対する情熱・使命感を持ち、児童生徒に伴走しながら学び続ける教員
- ○　心身共に健康で、自らの強みや指導力をいかし、チームとして多様化・複雑化する教育ニーズに対応する教員

（第７次福島県総合教育計画より）

※１　学びの変革とは
- ○　全ての子どもに必要な力を育成するため、一方通行の画一的な授業から、個別最適化された学び、協働的な学び、探究的な学びへと変革すること

※２　「福島らしさ」とは
- ○　「はま・なか・あいづ」に代表される広い県土だからこその多様性、それぞれの地域の文化と歴史、豊かな自然環境といった独自性
- ○　人と人との触れ合いや支え合いの精神など、人々の温かさや絆が息づいている県民性
- ○　東日本大震災及び原子力災害によって他の地域よりも複雑で多くの課題を抱える中で、地域等の人々が手を取り合って果敢に挑戦を続けていること

指標の対象

○　本県公立学校の校長（園長を含む。以下同じ。）、副校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、学校栄養職員、栄養教諭、保育教諭

教育公務員特例法第２条に定める「校長」「教員」に加え、学校栄養職員が対象（任用の期限を付されて採用されている方は除く）。

指標の趣旨

- ○　養成、採用、研修を通じた学び続ける教員を支えるための目安として作成しています。
- ○　校長及び教員の資質向上のため、高度専門職としての職責、経験及び適性に応じて身に付けるべき資質について、教職生活全体を俯瞰的に捉え明確にしています。
- ○　画一的な教員像を求めるものではなく、校長及び教員に求められる基礎的、基本的な資質を身に付け、長所や個性の伸長を図るためのものです。

教員	研修を通じて自らの資質向上を図る際の目安
	職責、経験、長所や個性に応じてより高度な段階を目指すための手掛かり
教委	指標を踏まえた研修計画の作成による校長及び教員の計画的・効果的な資質向上
	本県教員を目指す者が身に付けるべき資質を示すことにより優秀な教員を採用
大学	指標に示す着任時の姿を目指して教員を養成
	教職大学院等における教員の資質向上のための指針

指標の特徴

○ 横軸に、教員としての成長過程を示した４つのステージをおき、ステージごとに身に付けるべき資質を示しています。
○ 横軸に、「福島県が求める着任時の姿」を加え、養成、採用、研修を通じた成長過程を意識したものとしています。
○ 縦軸は、「Ⅰ 教員としての素養」、「Ⅱ 学びの創造」、「Ⅲ 児童生徒の理解と指導」、「Ⅳ 教職員の協働と学校づくり」、「Ⅴ ICT の活用」の５つの領域をおき、更に１４項目に区分することにより、分野ごとに身に付けるべき資質が分かるようにしています。
○ 「福島県が育成を目指す教員像」、東日本大震災及び原子力災害の経験を踏まえた「福島らしさ」を示すとともに、それらの内容を本指標に反映させています。
○ 養護教諭、学校栄養職員・栄養教諭については、「Ⅱ 学びの創造」を「Ⅱ 専門領域」として別に定めています。また、「Ⅴ ICT の活用」を別に定めています。
○ 校長・副校長については、身に付けるべき資質を５つの領域に分けて別に定めています。

ステージ

○ 各ステージの概ねの経験年数の始年は、本県の基本研修の受講年となっており、研修を通じて自己の取組を省察しながら、資質を高めるための見通しを持てるようにしています。
○ 各ステージの概ねの経験年数は目安であり、それぞれの教員の個性や多様なキャリアパスをいかして、継続的に資質の向上を図ることが求められています。

ステージ1 【基礎形成期】 概ね1～5年	ステージ2 【資質成長期】 概ね6～10年	ステージ3 【資質充実期】 概ね11～15年	ステージ4 【深化発展期】 概ね 16 年～
【出会い・学ぶ】 教職に必要とされる知識・技能を習得する時期	【深め・高める】 実践に基づき、知識を深め、技能を高める時期	【広げ・分かち合う】 視野を広げ、同僚教職員と協働性を高める時期	【伝え・支える】 それぞれの立場でリーダーシップを発揮し、同僚支援する時期
初任者研修 新規採用教員研修	５年経験者研修	中堅教諭等資質向上研修	中核教諭研修等

学び続ける教員　個性の伸長・多様なキャリアパス

領　域

	領　域	内　容
Ⅰ	教員としての素養	教育公務員としてその職責を遂行するための資質に関わること。 「福島ならでは」の教育を理解し、絶えず研究と修養に努め、自己の取組を省察しながら資質を高めるために学び続ける力が求められています。
Ⅱ	学びの創造	学びの構想や授業づくりに必要な資質に関わること。 「社会に開かれた教育課程」に基づき、主体的・対話的で深い学びを通して児童生徒の資質・能力を高める力が求められています。
Ⅲ	児童生徒の理解と指導	児童生徒の理解や多様な教育的ニーズへの対応に必要な資質に関わること。 特別な支援を必要とする児童生徒への対応を含め、多様な児童生徒を誰一人取り残さず健やかな学びを保障する力が求められています。
Ⅳ	教職員の協働と学校づくり	学校運営や同僚性の向上に必要な資質に関わること。 社会と連携・協力しながら、「チームとしての学校」を実現する力が求められています。
Ⅴ	ICT の活用	ICT を活用し、授業や校務等の改善や児童生徒の情報活用能力の育成に必要な資質に関わること。 ICT や情報・教育データを効果的に活用し、「学びの変革」を実現する力が求められています。

校長及び教員としての資質の向上に関する指標【第2版】(改訂版)

令和６年４月　福島県教育委員会

領域	項目 ＼ ステージ	福島県が求める着任時の姿	ステージ1 【基礎形成期】 概ね1～5年 初任者研修 新規採用教員研修	ステージ2 【資質成長期】 概ね6～10年 5年経験者研修	ステージ3 【資質充実期】 概ね11～15年 中堅教諭等資質向上研修	ステージ4 【深化発展期】 概ね16年～ 中核教諭研修等
			学　び　続　け　る　教　員 → 個性の伸長・多様なキャリアパス			
Ⅰ 教員としての素養	1 使命感・情熱・向上心	教員の役割を自覚し、教職への情熱を持つとともに、児童生徒の人権を尊重し、愛情を持って接することができる。	教員に求められる基本的な知識・技能を身に付け、意欲的かつ確実に職務を遂行している。	自己の教育実践の省察により専門性を高める努力をし、主体的に職務を遂行している。	中堅教員として学校全体を幅広く見通し、協働して職務を遂行している。	教育の質の向上や現代的な諸課題の解決に向け、学校の中核としての役割を自覚し職務を遂行している。
Ⅰ 教員としての素養	2 幅広い教養や社会性・確固たる倫理観	教育に関する法令を理解するとともに、一般的な教養や社会性を身に付けている。	広く社会に目を向け、幅広い教養を持ち、変化に対応できる力やより良い人間関係を築くための力を身に付けている。 教育公務員として高い倫理観を持ち、法令・服務規律を遵守している。		社会の変化を敏感に捉え、対話と協働を通して柔軟に対応する力を身に付けている。 他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、学校全体の法令・服務規律に対する意識を高めている。	
Ⅰ 教員としての素養	3 本県の教育課題への理解と対応	東日本大震災及び原子力災害からの復興・創生を目指す本県の教育課題を理解しようとしている。	震災の事実や教訓を継承・発信する教育活動や、地域の特色を踏まえた教育活動に取り組んでいる。	本県の施策を踏まえ、多様な教育資源を活用し、教育課題解決に向けた探究的な教育活動に取り組んでいる。	本県の教育課題への多面的な理解に基づき、探究的・協働的に課題解決に取り組む教育活動を推進している。	本県の教育課題の解決につながる教育課程の編成、実施、改善を組織的・計画的に推進している。
Ⅱ 学びの創造	4 学びの構想と広がり	学習指導要領に基づき、「生きる力」を育むための学びの在り方について理解している。	目指す資質・能力を意識し、学びを社会につなげ、新たな学びへの意欲を引き出す単元や授業を構想している。	学びを自己実現やより良い社会づくりにつなげる単元や授業を、教科等横断的な視点や学びの連続性の視点から構想している。	学校内外の資源を活用し、特色ある教育活動を効果的に実施するためのマネジメントに取り組んでいる。	家庭や地域との連携・協働による特色ある教育課程の編成、実施、改善を組織的・計画的に推進している。
Ⅱ 学びの創造	5 授業等の実践と評価・改善	教科等の特質に応じた資質・能力、見方・考え方を理解し、授業づくりの基本的な知識を身に付け、技能を習得しようとしている。	指導方法やICTを含む教材・教具の活用を工夫し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組んでいる。 適切な観点別評価と個人内評価により、指導と評価の一体化を図り、児童生徒の学習状況の把握と指導の改善にいかしている。	見方・考え方を働かせた学びの過程を充実させるとともに、ICTを含む教材・教具を効果的に活用し、学びの変革の実現を図っている。 学習の過程及び成果について評価の場面や方法を工夫し、指導の改善や児童生徒の学習意欲の向上につなげている。	実践や研修会等で得たICTの有効活用を始めとした新たな知見を校内外で発信・共有し、教員同士の学び合いによる学びの変革を推進している。 学習状況の評価を基に、組織的な授業改善や、自立した学習者の育成に向けた教育課程の改善を推進している。	ICTの有効活用を始めとした新たな知見を統合し、学びの変革を意識した研究・実践を推進する組織体制の構築に努めている。 評価の妥当性、信頼性を高め、次の学年や異校種に適切に接続するための組織的・計画的な取組を推進している。
Ⅱ 学びの創造	幼稚園等 指導計画の作成	幼稚園教育要領等に基づき、幼児教育に関する基本や幼児教育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について概ね理解している。	幼児教育における遊びを通した指導の重要性を踏まえ、発達を意識し、具体的なねらいや内容を設定した指導計画を作成している。	発達を理解し、実態や遊びの展開の見通しによる具体的なねらいや内容、環境構成等を設定した指導計画を作成している。	幼児の長期の発達過程を見通し、幼児の姿に直結した具体的な短期の指導計画を手順や形式等を工夫して作成するとともに、同僚に助言している。	知識と経験を基に意図的・計画的な保育の実施を推進し、効果的な環境構成や援助等、園の実情に応じた園内研修を企画・運営している。
Ⅱ 学びの創造	幼稚園等 保育実践	指導計画に基づく環境構成や個に応じた援助の大切さを理解し、幼児に進んで関わろうとしている。	ねらいや内容を踏まえ、保育者の役割を意識しながら、幼児の活動に寄り添って援助している。	環境を通して行う教育・保育の意義や特質を理解し、計画的に環境を構成し、保育者の役割を果たそうとしている。	幼児期にふさわしい生活の展開や遊びを通しての総合的な指導、一人一人の特性に応じた指導を重視して保育している。	専門性を磨きながら、幼児の体験の多様性と関連性に留意するとともに、園全体の保育の質的向上に向けた助言や対応をしている。
Ⅱ 学びの創造	幼稚園等 評価・改善	計画に基づいた保育実践を記録から振り返ることの重要性について理解している。	遊びの様子を具体的に記録し、記録を他の保育者と共有しながら振り返っている。	評価を基に、幼児理解を深めながら、他の保育者と多角的に指導を振り返り、指導計画を改善している。	幼児理解と指導改善の両面から評価し、幼児の遊びを通した学びの姿を園内外で共有し理解を深める役割を担っている。	発達に即した主体的・対話的で深い学びを実現するとともに、園外からの支援を含めた園内研修の活性化を図っている。
Ⅲ 児童生徒の理解と指導	6 児童生徒理解	児童生徒の発達段階の特性を理解し、個性や人格を尊重する態度を身に付けている。	教育相談の知識・技能を身に付け、児童生徒を共感的に理解し、信頼関係を構築している。	児童生徒の多面的・総合的な理解により、児童生徒の自己肯定感や自己有用感の向上につなげている。	情報の共有により、組織的に児童生徒理解を深め、一人一人の個性の伸長や自己実現を図っている。	児童生徒の特性を踏まえ、キャリア形成や自己実現につなげる組織的な取組を推進している。
Ⅲ 児童生徒の理解と指導	7 社会性の伸長と協働する力の育成	社会性や協働する力を育む上で、学校が果たす役割の重要性について理解している。	多様性を尊重したより良い人間関係を主体的に築く集団づくりに取り組んでいる。	他者と協働することにより、主体的に課題を発見し、解決していく集団づくりに取り組んでいる。	生徒指導の機能をいかし、社会性や自己有用感を育む協働的な活動を推進している。	生徒指導の機能をいかした諸活動の企画・運営や全体計画作成に積極的に関わっている。
Ⅲ 児童生徒の理解と指導	8 個に応じた対応	いじめや不登校など生徒指導上の諸課題について、その背景を踏まえた組織的な対応が重要であることを理解している。	日常的な関わりから問題行動や多様な教育的ニーズの早期把握に努め、管理職の指導を得ながら適切に対応している。	校内組織や関係機関と連携し、問題行動の背景や多様な教育的ニーズを踏まえた効果的な支援につなげている。	問題行動の未然防止、多様な教育的ニーズに応じた組織的な取組を推進し、生徒指導の充実を図っている。	専門スタッフや関係機関との連携による問題行動や多様な教育的ニーズに応じたチーム体制の構築に努めている。
Ⅲ 児童生徒の理解と指導	9 特別な支援を必要とする児童生徒への対応	特別支援教育施策等の動向や、特別な教育的支援を必要とする児童生徒の指導・支援の在り方について概ね理解している。	児童生徒の実態を把握し、一人一人の教育的ニーズを踏まえた授業づくりを行う等、きめ細かな指導・支援をしている。	個別の教育支援計画及び個別の指導計画を効果的に活用して、指導・支援の工夫・改善をしている。	特別支援教育コーディネーターや保護者及び地域、関係機関と連携し、個々の課題を解決するために、指導・支援の充実を図っている。	管理職の指導・助言の下、保護者や地域、関係機関と連携し、役割を明確にした校内支援体制の構築に主体的に関わっている。
Ⅳ 教職員の協働と学校づくり	10 同僚性の構築	適切なコミュニケーションを図りながら、集団の中で協働して行動することができる。	同僚と協働しながら職務を遂行し、周囲に指導・支援を求めながら課題の解決に努めている。	同僚の立場や考え方を柔軟に受け止め、考えを伝え合うことを通して学びを深めている。	学校や個々の課題を組織で共有し、学び合いにより若手教員を支援しながら協働的に解決する職場づくりに努めている。	個々の教員の専門性や特性をいかしながら学校全体で若手教員を育成するOJT、OJLの取組を推進している。
Ⅳ 教職員の協働と学校づくり	11 学校組織の運営	集団における役割を理解し、集団の一員としての自覚を持ち行動することができる。	各校務分掌の意義や役割を理解し、組織の一員として主体的に職務を遂行している。	関係職員との連携により効率的・効果的に職務を遂行し、課題意識を持って評価・改善につなげている。	学校内外の資源を活用した効率的で効果的な教育活動を推進し、課題の解決や特色ある学校運営につなげている。	業務の効率化を踏まえ、学校の諸計画・諸活動を評価・改善する体制を整備し、若手教員を育成しながら組織の活性化を図っている。
Ⅳ 教職員の協働と学校づくり	12 学校と家庭・地域との連携	教育活動が、学校、家庭、地域の連携の下に成り立っていることを理解している。	家庭や地域の関係者と良好な関係を築き、協力を得ながら教育活動に取り組んでいる。	保護者や地域と協力し、地域の教育資源や学習環境を活用した教育活動に積極的に取り組んでいる。	学校や家庭、地域の課題解決を図る連携・協働の取組を推進し、それぞれの教育機能の向上を図っている。	学校・家庭・地域が連携・協働するためのコーディネートや体制整備に努めている。
Ⅳ 教職員の協働と学校づくり	13 学校安全への対応	児童生徒の安全の確保が全ての教育活動の基盤であることを理解している。	地域の特色や児童の実態を理解し、各教科等における安全教育や日常的な安全指導を確実に実施している。 学校安全計画や危機管理マニュアルの内容を理解し、適切に安全管理を行っている。	児童生徒の当事者意識を高める実践的な安全教育により、命を守るために主体的に判断・行動できる力を育成している。 危機的場面の具体的な想定により安全管理への課題意識を高め、対応の工夫・改善に取り組んでいる。	家庭や地域と連携した事故防止の取組や、地域の災害リスクに応じた教科等横断的な安全教育を推進している。 安全教育や危機管理に関する実践的な研修を企画・運営する等、危機的場面での組織的対応能力の向上を図っている。	実践的な安全教育が組織的・計画的に推進されるよう評価・改善に努め、安全教育の充実を図っている。 自校の安全対策の評価を踏まえ、学校安全計画及び危機管理マニュアルの改善や周知徹底を図っている。
Ⅴ ICTの活用	14 ICTの効果的な活用	ICTや情報・教育データの活用の意義を理解し、授業や校務等で必要なICTや情報・教育データに関する基本的な知識・技能を習得しようとしている。	ICTや情報・教育データを効果的に活用し、「個別最適化された学び」、「協働的な学び」及び「探究的な学び」の実現を図っている。 児童生徒にICTを適切に活用させ、情報活用能力及び情報モラルの育成につなげている。 校務等でICTや情報・教育データを効果的に活用し、業務の効率化を図っている。			

※ 「4 学びの構想と広がり」は、「12 学校と家庭・地域との連携」を土壌として実施するものであることに留意する。

校長・副校長

領　域	身に付けるべき資質
1 ビジョンと実行力	○　第７次福島県総合教育計画の理念に則り、児童生徒の実態や地域の実情を踏まえた教育ビジョンを作成し、教職員や保護者、地域等と目標や取組の方向性の共有を図っている。 ○　教育目標の達成に向け、適切に課題を見出し、課題の解決に向けた取組を組織的、計画的に行っている。
2 マネジメント力	○　多様な専門性を持った教職員を有機的に結び付け、保護者や地域等との連携による学校内外の協働の文化を創り出している。 ○　人事評価や学校評価等を有効に活用し適切な人材配置や労働安全衛生管理等に努める等、組織の活性化に向けた総合的なマネジメントに取り組んでいる。
3 リーダーシップ	○　リーダーシップを発揮し、複雑化・多様化した課題を抱える学校を牽引し、学校の教育力を向上させている。 ○　危機管理への対応について教職員と共有を図り、関係機関等と連携を深めることにより危機管理体制の整備を行い、平素から危機管理意識を持った安全対策を講じている。
4 育成と服務管理	○　研修や人事評価等を通して教職員に対し指導助言を行うとともに、教職員が探究心を持ち自ら学び続ける力をつけるための支援を行う等、教職員の資質向上に努めている。 ○　教職員に高い服務倫理意識を定着させるとともに、風通しの良い職場づくりを推進し、教職員の心身の充実に努めている。
5 ICTの活用	○　「個別最適化された学び」、「協働的な学び」及び「探究的な学び」の実現につながる、ICTや情報・教育データの活用が組織的に行われるよう、校内研修の実施やリーダーとなる教員の育成など、体制の整備を図っている。 ○　校務等でICTや情報・教育データを効果的に活用し、業務の効率化を図っている。

養護教諭

領域	ステージ／項目	福島県が求める着任時の姿	ステージ1【基礎形成期】概ね1～5年	ステージ2【資質成長期】概ね6～10年	ステージ3【資質充実期】概ね11～15年	ステージ4【深化発展期】概ね16年～
Ⅱ 専門領域	1 保健管理	学校保健安全法に基づき、児童生徒の健康に関する実態把握や基本的な保健管理の方法について理解している。	児童生徒の発達段階に応じてみられる心身の疾病等について理解し、適切な保健管理を実施している。	保健情報の収集と活用に努め、個や集団の健康状態や特性に応じた保健管理を評価・改善しながら効果的に進めている。	保健情報を総合的に評価し、教職員や関係機関と連携した組織的な保健管理を推進し、健康課題の解決につなげている。	保健情報の効果的な活用や関係機関との連携に基づいた保健管理の体制整備に積極的に関わっている。
	2 保健教育	保健教育における養護教諭の役割と基本的な指導方法について、学習指導要領等を踏まえ理解している。	国及び県の施策等を理解し、それらを活用しながら学級担任等と連携して専門性をいかした保健教育を実施している。	児童生徒の実態や特性に応じた保健教育を計画的に実施し、評価・改善しながら効果的に推進している。	家庭や地域、専門機関等との連携におけるコーディネーター的役割を担い、組織的に保健教育を推進している。	地域の健康課題解決に向け、近隣学校や地域と連携した保健教育を推進し、地域全体での保健教育の充実を図っている。
	3 健康相談	学校保健安全法に基づき、健康相談の位置付けや、健康課題に対する基本的な支援の方法について理解している。	健康相談の基本的なプロセスに基づき、心身の発達段階や現代的な健康課題を踏まえた健康相談を実施している。	心身の健康課題を総合的に捉え、教職員や保護者、関係機関と連携し、課題解決に向けて効果的に支援している。	健康課題や背景にある問題の早期発見に努め、関係機関との連携におけるコーディネーター的役割を担い、適切な支援につなげている。	学校全体の健康課題を捉えて教職員の意識を高め、専門性をいかした指導・助言や支援体制の整備をしている。
	4 保健室経営 保健組織活動	保健室経営・保健組織活動の意義や、学校保健活動推進における連携・協働の重要性を理解している。	保健室経営方針を教職員や保護者に周知し、保健主事と協力しながら開かれた保健室経営をしている。	児童生徒の主体性を育む視点で保健室経営や保健組織活動の内容を工夫し、適切な指標を用いて評価・改善している。	学校保健活動と他の教育活動を有機的に関連付け、協働による健康課題の解決を目指す保健室経営を推進している。	保健室経営の視点から学校教育目標実現のための具体的な方策を提案し、保健組織活動の充実を図っている。

領域	項目	福島県が求める着任時の姿	ステージ1～4
Ⅴ ICTの活用	14 ICTの効果的な活用	ICTや情報・教育データの活用の意義を理解し、授業や校務等で必要なICTや情報・教育データに関する基本的な知識・技能を習得しようとしている。	保健教育において、ICTや情報・教育データを効果的に活用し、「個別最適化された学び」、「協働的な学び」及び「探究的な学び」の実現を図っている。 児童生徒にICTを適切に活用させ、情報活用能力及び情報モラルの育成につなげている。 校務等でICTや情報・教育データを効果的に活用し、業務の効率化を図っている。

学校栄養職員・栄養教諭

領域		ステージ／項目	福島県が求める着任時の姿	ステージ1【基礎形成期】概ね1～5年	ステージ2【資質成長期】概ね6～10年	ステージ3【資質充実期】概ね11～15年	ステージ4【深化発展期】概ね16年～
Ⅱ 専門領域	給食管理	1 栄養管理	学校給食実施基準に基づき、学校給食の栄養管理を適切に行うことを理解している。	児童生徒の実態把握の必要性について理解し、食品構成を考慮しながら、地場産物を活用した献立を作成している。	学校給食摂取基準に基づく栄養管理に加え、郷土食、地場産物を取り入れ、各教科等の食に関する指導と関連させながら献立を作成している。	児童生徒の体格や生活活動の実態を考慮した摂取基準を作成し、地域の特性をいかした食品構成及び食育の観点等を考慮した献立を作成している。	地域の健康課題を把握し、高度な専門知識をいかして、自校のみならず地域等において指導的な役割を果たしている。
		2 衛生管理	学校給食衛生管理基準に基づき、学校給食の衛生管理を適切に行うことを理解している。	調理場（受配校）の施設・設備、食品の取扱い、調理作業、衛生管理体制の実態把握に努め、適切な衛生管理を実施している。	調理従事者の衛生管理、関係諸帳簿の整備、施設設備の衛生等、衛生管理責任者としての業務を遂行している。	学校給食衛生管理基準についての理解を深め、実践するとともに、所属の学校や受配校の衛生体制について評価し、課題の改善に努めている。	学校給食衛生管理基準に基づく衛生管理について評価と改善を行い、管理職等と連携を図りながら、事故の未然防止に努めている。
	食に関する指導	3 給食時間、教科等	食育に関する基本的な知識を身に付け、学校給食と関連付けた食に関する指導を行う重要性について理解している。	食に関する指導に係る全体計画に沿い、学校給食の献立や使用食品を活用しながら、各学校･学級の食に関する課題を把握し、給食の時間や授業等で指導している。	給食と各教科等との関連を考慮し、国及び県の施策等を活用しながら、児童生徒の実態に基づいた食に関する指導を実践し、評価及び改善を行っている。	食に関する課題の解決に向け、校種間の連携を図りながら、専門性をいかして指導し、組織的に取り組んでいる。	地域の食に関する健康課題を解決するために、食育の評価指標を考慮し、組織を活用した体制の確立に向け取り組んでいる。
		4 個別的な相談指導	個別的な相談指導の基礎的な知識を身に付け、児童生徒の実態把握に基づき、個別的な相談指導を行う重要性について理解している。	食に関する健康課題を有する児童生徒の実態を把握し、教職員や保護者と連携しながら専門性をいかして指導している。	個別的な相談指導に関する専門性を高め、教職員や保護者と連携し、児童生徒の実態に応じて指導している。	食に関する健康課題を有する児童生徒について、個に応じた指導計画を作成し、組織的に対応するとともに、評価、改善している。	専門的な知識を活用して、食に関する課題を総合的に捉え、保護者や校内組織と連携した個別的な相談指導体制を整備している。

領域	項目	福島県が求める着任時の姿	ステージ1～4
Ⅴ ICTの活用	14 ICTの効果的な活用	ICTや情報・教育データの活用の意義を理解し、授業や校務等で必要なICTや情報・教育データに関する基本的な知識・技能を習得しようとしている。	食に関する指導において、ICTや情報・教育データを効果的に活用し、「個別最適化された学び」、「協働的な学び」及び「探究的な学び」の実現を図っている。 児童生徒等にICTを適切に活用させ、情報活用能力及び情報モラルの育成につなげている。 校務等でICTや情報・教育データを効果的に活用し、業務の効率化を図っている。

指標改訂の経緯

平成29年４月　教育公務員特例法の一部を改正する法律が施行され、校長及び教員の任命権者は関係大学等とで構成する協議会を組織し、「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」（以下、「指標」という。）に関する協議を行い、指標を策定するとともに、指標を踏まえた研修計画を定めることとされた。
平成29年12月　「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」（初版）が教育委員会会議において決定した。
令和４年２月　第７次福島県総合教育計画を踏まえ、「校長及び教員としての資質の向上に関する指標【第２版】」が教育委員会会議において決定した。
令和６年２月　「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針」の改正を受け、一部改訂した。

【参考】教育公務員特例法（抜粋）

校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針（第２２条の２）
文部科学大臣は、公立の小学校等の校長及び教員の計画的かつ効果的な資質の向上を図るため、次条（第２２条の３）第一項に規定する指標の策定に関する指針を定めなければならない。

校長及び教員としての資質の向上に関する指標（第２２条の３）
公立の小学校等の校長及び教員の任命権者は、指針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該校長及び教員の職責、経験及び適性に応じて向上を図るべき校長及び教員としての資質に関する指標を定めるものとする。

研修等に関する記録（第２２条の５）
公立の小学校等の校長及び教員の任命権者は、文部科学省令で定めるところにより、当該校長及び教員ごとに、研修の受講その他の当該校長及び教員の資質の向上のための取組の状況に関する記録を作成しなければならない。

資質向上に関する指導助言等（第２２条の６）
公立の小学校等の校長及び教員の指導助言者は、当該校長及び教員がその職責、経験及び適性に応じた資質の向上のための取組を行うことを促進するため、当該校長及び教員からの相談に応じ、研修、認定講習等その他の資質の向上のための機会に関する情報を提供し、又は資質の向上に関する指導及び助言を行うものとする。
公立の小学校等の校長及び教員の指導助言者は、前項の規定による相談への対応、情報の提供並びに指導及び助言を行うに当たっては、当該校長及び教員に係る指標及び教員研修計画を踏まえるとともに、当該校長及び教員の研修等に関する記録に係る情報を活用するものとする。

５　教職員研修の体系

(1) 基本研修

①　初任者研修について

現職研修の第一段階として、新任の教員に対し実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見の習得を図るため、初任者研修を採用の日から１年間にわたり実施します。

なお、幼稚園教諭・養護教諭・学校栄養職員等の新採用時に行う研修も同様の趣旨に沿って、それぞれの計画に基づいて実施します。

②　２年次教員フォローアップ研修について

初任者研修を修了した教員に対して、初年度に培った基礎的な力を、日々の教育実践に生きる確かな資質・能力へと高めるため、その後１年間の研修を実施します。

③　５年経験者研修について

２年次教員フォローアップ研修に引き続き、在職期間が５年に達した教職員に対して行うもので、５年の経験を基盤に、教科指導や生徒指導等の力量の向上を図るとともに、社会の変化に対応した教育課題等について実践的な研修を進めます。

④　中堅教諭等資質向上研修について

在職期間が１０年に達した教職員は、校内外において学校教育活動の実践的な場で中核的立場を占める位置にあり、さらに、それまでの実績に裏打ちされた新たな視点、力量の向上、指導法の工夫改善が必要となる時期でもあります。そのため、１０年の経験を基盤に、教科指導や生徒指導等、職責遂行上必要な専門的知識・技能等の資質・能力の向上を図るとともに、教科経営、学級・学年経営、校務分掌のリーダーとしての力量の向上を図ります。

⑤　中核教諭研修について

初任者研修、２年次教員フォローアップ研修、５年経験者研修、中堅教諭等資質向上研修の内容を踏まえ、経験１５年程度の実績等に留意し、教員個々の専門的知識・能力の深化や伸長を図るとともに、学級・学年経営等、全校的視野での教育活動の中核的立場として、広い視野に立った教育実践について力量の向上を図るため、各種の研修会等を中核教諭研修として位置付けて行います。

(2) 職能研修

①　職能研修Ⅰについて

職能研修Ⅰは、新任の校長・副校長・教頭・主幹教諭・教務主任等に対して行う研修であり、学校経営等、教育活動の統括的役割について、その資質・能力の向上を図ります。

②　職能研修Ⅱについて

学校の実態に応じた教育課程や諸教育活動が展開されるよう、校内の個々の教職員の役割分担や協力体制を築くため、個々の教職員の職責・職能に応じた教育活動に関する研修を職能研修Ⅱとして組織的に行います。

また、その際、研修内容等について重複したり、同一教職員の多重参加等がないよう、実施方法、研修内容等について毎年度見直しを行い、研修の精選、重点化を図り、研修が発展的に行われるよう配慮します。

③　職能研修Ⅲについて

現職の校長・教頭等に対して行う研修であり、役職として求められる資質・能力を高めることを目的とします。

(3) 専門研修

①　専門研修Ⅰについて

専門研修Ⅰとして、教育課程の改善等、学校教育の基盤となる事項について研修を行い、教育課程実施上の諸問題に関する専門的な研修を中心に実施します。

②　専門研修Ⅱについて

専門研修Ⅱとして、実践を土台とした各種の研修・研究を行います。

また、個に即応した指導力の向上を図るほか、社会の変化に対応した教育活動の実践に資するため、各種の研修会の機会を充実させ、個々の教員の教育課題の解決を図るなど、多様な研修を設定します。

③　専門研修Ⅲについて

専門研修Ⅲは、教科等の指導力の深化や専門的な研究のほか、全校的視野や経営的視点での学校教育の充実を図るための研修です。特に、学校教育の指導的立場にある者の力量の向上を図るものであり､研修成果の発表等を通して各学校の教育活動に資するよう配慮します。

(4) 特別研修

教員を大学及び大学院、文部科学省主催の研修、各種教育関係機関及び企業等の社会第一線の研究・開発等の機関、海外に派遣して行う研修です。

(5) 校内現職研修

教員研修の基盤として、各学校において計画的、実践的に行う研修です。校内研修の実施にあたっては、各学校の教育目標を十分踏まえ、かつ、地域や児童生徒の実態等を考慮しつつ、組織的に計画、実施し、十分な評価を行うことが重要です。

校長及び教員は、校内研修が校内の課題の解決と教員個人の教育力を高める上で基盤となるものであることに留意し、その活性化のため一層努力をする必要があります。

(6) 研　究

①　指定研究

県・各学校・地域の課題に応じ、研究テーマを設定し、総合的、先導的な実践・研究を深め、その成果を全県的に普及し、学校教育の充実・活性化に資するため、指定研究を行います。

②　プロジェクト研究

社会の変化や時代の要請等に対応した教育課題の解決に実践的、研究的に取り組むため、教育センター等において、教育課題解決のための先導的研究等を行い、学校教育活動の充実・発展に資するため、プロジェクト研究を行います。

③　個人研究等

教員の個人あるいはグループの研究及び課題解決の努力や取組を奨励し、顕彰するため、教職員の研究論文の募集等を行い、実践的な教育研究を支援します。

【福島県現職教育体系図】

- 研修
  - 基本研修
    - 初任者研修 — 初任者に対して、教職員としての資質の向上を図る研修
    - ２年次教員フォローアップ研修 — 初任者研修を修了した教諭に対して、培った力を高め資質の向上を図る研修
    - ５年経験者研修 — 在職期間が５年に達した教職員の指導力の向上等を図る研修
    - 中堅教諭等資質向上研修 — 在職期間が10年に達した教職員の指導力の深化を図る研修
    - 中核教諭研修 — 教職経験15年程度以上の教員に対する研修
  - 職能研修
    - 職能研修Ⅰ — 教職経験を踏まえた新たな職能に応じた研修
    - 職能研修Ⅱ — 職能に応じた知識・技能等を習得し、職務遂行能力の向上を図る研修
    - 職能研修Ⅲ — 実務経験を踏まえ、管理職としての資質・能力を高める研修
  - 専門研修
    - 専門研修Ⅰ — 教育課程等学校教育の基盤となる事項について周知徹底を図る研修
    - 専門研修Ⅱ — 各種の実践を通して専門職としての識見、力量を高める研修
    - 専門研修Ⅲ — 学校教育全般にわたり広い視野、指導力等を高める研修
  - 特別研修 — 国における研修、大学、大学院、海外、企業等へ派遣して行う研修
  - 校内現職研修 — 教員研修の基盤として、学校において計画的、実践的に行う研修
- 研究
  - 指定研究 — 教育課題の解決方策等を学校等を指定して実践的に行う研究
  - プロジェクト研究 — 研究課題を設定し、共同あるいはプロジェクトとして先導的に行う研究
  - 個人研究等 — 教員個人あるいはグループの研究を奨励・顕彰するための事業等

6　市町村教育委員会が行う研修

県教育委員会は、社会の変化や時代の要請等に対応し、教育の質的水準を高めるため、現職教育については、毎年度見直しを図り、各研修を組織的・体系的に実施しています。

市町村教育委員会においても、研修事業の見直し等により、研修体系の整備及び効果的推進を図るとともに、地域の実態を踏まえた研修の積極的な推進に努めます。

7　指標に基づく研修計画

教員・事務職員対象　　　　　　　　　　　　　◎特に向上を目指す資質・能力　○向上を目指す資質・能力

分類		No.	研修名・講座名	ステージ 1 基礎形成期	2 資質成長期	3 資質充実期	4 深化発展期	校長・副校長	Ⅰ 教員としての素養 1 使命感・情熱・向上心	2 幅広い教養や社会性・確固たる倫理観	3 本県の教育課題への理解と対応	Ⅱ 学びの創造 4 学びの構想と広がり	5 授業等の実践と評価・改善	Ⅲ 児童生徒の理解と指導 6 児童生徒理解	7 社会性の伸長と協働する力の育成	8 個に応じた対応	9 特別な支援を必要とする児童生徒への対応	Ⅳ 教職員の協働と学校づくり 10 同僚性の構築	11 学校組織の運営	12 学校と家庭・地域との連携	13 学校安全への対応	Ⅴ ICTの活用 14 ICTの効果的な活用	所管
基本研修	初任研・新採研	1	幼稚園等新規採用教員研修	●					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎		教育センター
		2	小学校初任者研修	●					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	
		3	中学校初任者研修	●					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	
		4	高等学校初任者研修	●					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	
		5	新規採用養護教諭研修	●					◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	
		6	新規採用学校栄養職員研修	●					◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	◎	○	◎	◎	○	
		7	特別支援学校初任者研修	●					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	特セ
		8	新規採用職員研修	●					◎	◎	◎							◎	◎				義教
	2年次研修	9	小学校2年次教員フォローアップ研修	●					◎	◎	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	教育センター
		10	中学校2年次教員フォローアップ研修	●					◎	◎	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		11	高等学校2年次教員フォローアップ研修	●					◎	◎	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		12	特別支援学校2年次教員フォローアップ研修	●					◎	○	○	○	◎	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	特セ
	5年経験者研修	13	小学校5年経験者研修		●				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	○	○	○	教育センター
		14	中学校5年経験者研修		●				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	○	○	○	
		15	高等学校5年経験者研修		●				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	○	○	○	
		16	養護教諭5年経験者研修		●				◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	
		17	学校栄養職員5年経験者研修	隔年実施　令和6年度は実施しない																			
		18	特別支援学校5年経験者研修		●				○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	○	◎	○	○	特セ
	中堅教諭等資質向上研修	19	幼稚園等中堅教諭等資質向上研修			●			◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎		教育センター
		20	小学校中堅教諭等資質向上研修			●			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	
		21	中学校中堅教諭等資質向上研修			●			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	
		22	高等学校中堅教諭等資質向上研修			●			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	
		23	養護教諭中堅教諭等資質向上研修			●			◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	
		24	学校栄養職員中堅教諭等資質向上研修			●			◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	
		25	特別支援学校中堅教諭等資質向上研修			●			◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	特セ
	中核教諭研修	26	市町村立学校中核教諭研修				●		◎	◎	◎	○	○	○	○	◎	○	◎	◎	◎	◎		教育センター
		27	県立学校中核教諭研修				●		◎	◎	◎	○	○	○	○	◎	○	◎	◎	◎	◎		
		28	中核養護教諭研修				●		◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	◎		
		29	中核学校栄養職員研修	隔年実施　令和6年度は実施しない																			
職能研修	職能研修Ⅰ	1	市町村立学校新任教頭研修会				●		◎	◎	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎		教育センター
		2	県立学校新任教頭研修会				●		◎	◎	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		3	新任主幹教諭研修会				●		◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎		
		4	新任教務主任研修会				●		◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎		

◎特に向上を目指す資質・能力　○向上を目指す資質・能力

分類		No.	研修名・講座名	ステージ					Ⅰ 教員としての素養			Ⅱ 学びの創造		Ⅲ 児童生徒の理解と指導				Ⅳ 教職員の協働と学校づくり				Ⅴ ICTの活用	所管
				1 基礎形成期	2 資質成長期	3 資質充実期	4 深化発展期	校長・副校長	1 使命感・情熱・向上心	2 幅広い教養や社会性・確固たる倫理観	3 本県の教育課題への理解と対応	4 学びの構想と広がり	5 授業等の実践と評価・改善	6 児童生徒理解	7 社会性の伸長と協働する力の育成	8 個に応じた対応	9 特別な支援を必要とする児童生徒への対応	10 同僚性の構築	11 学校組織の運営	12 学校と家庭・地域との連携	13 学校安全への対応	14 ICTの効果的な活用	
職能研修	職能研修Ⅱ	5	基礎力アップ研修	●					◎	◎								◎	◎				義務教育課
		6	応用力アップ研修		●				◎	◎								◎	◎	◎			義務教育課
		7	実行力アップ研修			●			◎	◎								◎	◎	◎			義務教育課
		8	新任係長研修				●		◎	◎								◎	◎				義務教育課
		9	学校安全指導者養成研修会		●	●	●	●	○	○	○				○			○	○	○	◎		健康教育課
		10	健康教育推進者研修会	●	●	●	●		○	○	◎			◎		○	○		○	○			健康教育課
		11	新任栄養教諭研修		●	●	●		◎	○	◎	○	○	○		○	○			○			健康教育課
		12	栄養教諭5年経験者研修	隔年実施　令和6年度は実施しない																			健康教育課
		13	栄養教諭中堅教諭等資質向上研修			●			◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	○		健康教育課
		14	栄養教諭食育推進研修会		●	●	●				◎	○	○						○	◎			健康教育課
		15	教育支援協議会					●								○	◎		◎	○			特別支援教育課
		16	県立特別支援学校医療的ケア実施教員研修会		●	●			○					○			◎	○		○	○		特別支援教育課
		17	県立特別支援学校生徒指導担当者等連絡協議会		●	●	●		○	○	◎			○	○	◎	○		○	○	○		特別支援教育課
		18	複式指導（国語・算数）担当教員研修会	●	●	●	●		◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○					○	教育センター
		19	免許外教科担任教員研修会	●	●	●	●					◎	◎										教育センター
		20	教頭のためのマネジメント講座				●		◎	◎	◎					◎	◎	◎	◎	◎	◎		教育センター
		21	小・中学校におけるキャリア教育実践講座			●	●		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		教育センター
		22	特別支援学級等新任担当教員研修会	●	●	●	●		◎			◎	◎	◎			◎						特別支援教育センター
		23	特別支援学級担当教員（経験三年）研修会	●	●	●	●		◎			◎	◎	◎			◎					○	特別支援教育センター
		24	小・中学校特別支援教育コーディネーター研修会	●	●	●	●		◎					◎			◎		◎	◎			特別支援教育センター
		25	高等学校特別支援教育コーディネーター研修会	●	●	●	●		◎					◎			◎		◎	◎			特別支援教育センター
		26	特別支援学校特別支援教育コーディネーター研修会	●	●	●	●		◎								◎		◎	◎			特別支援教育センター
		27	特別支援学校養護教諭研修会	3年に一度実施　令和6年度は実施しない																			特別支援教育センター
		28	特別支援学校訪問教育・医療的ケア担当教員研修会	3年に一度実施　令和6年度は実施しない																			特別支援教育センター
		29	特別支援学校実習助手等研修会	●	●	●	●		◎	○	○	○	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	◎	○		特別支援教育センター
		30	通級指導教室担当教員研修会	●	●	●	●		◎			◎	◎				◎			◎		○	特別支援教育センター
		31	特別支援学校教務主任・学部主事研修会		●	●	●		◎		◎						◎	◎	◎		◎	○	特別支援教育センター

※　養護教諭、学校栄養職員・栄養教諭は、Ⅱ学びの創造については、Ⅱ専門領域の内容となる。

校長・副校長対象

分類		No.	研修名・講座名	領域 1 ビジョンと実行力	2 マネジメント力	3 リーダーシップ	4 育成と服務管理	5 ICTの活用	所管
職能研修	職能Ⅰ	1	市町村立学校新任校長・副校長研修会	◎	◎	◎	◎		教セ
	職能Ⅰ	2	県立学校新任校長・副校長研修会	◎	◎	◎	◎	◎	教セ
	職能Ⅰ	3	新任校長オンライン集合ハイブリッド研修	◎	◎	◎	◎	◎	特 義 高
	職能Ⅱ	4	校長のためのマネジメント講座	◎	◎	◎	◎	◎	教セ
	職能Ⅲ	5	福島県公立学校長研修会（地区別研修会）	◎	◎	◎	◎		義高

教員対象　　　　　　　　　　　　　　　　　　◎特に向上を目指す資質・能力　○向上を目指す資質・能力

分類		No.	研修名・講座名	ステージ					Ⅰ 教員としての素養			Ⅱ 学びの創造		Ⅲ 児童生徒の理解と指導				Ⅳ 教職員の協働と学校づくり				Ⅴ ICTの活用	所管
				1 基礎形成期	2 資質成長期	3 資質充実期	4 深化発展期	校長・副校長	1 使命感・情熱・向上心	2 幅広い教養や社会性・確固たる倫理観	3 本県の教育課題への理解と対応	4 学びの構想と広がり	5 授業等の実践と評価・改善	6 児童生徒理解	7 社会性の伸長と協働する力の育成	8 個に応じた対応	9 特別な支援を必要とする児童生徒への対応	10 同僚性の構築	11 学校組織の運営	12 学校と家庭・地域との連携	13 学校安全への対応	14 ICTの効果的な活用	
専門研修	専門研修Ⅰ	1	幼稚園教育課程研究協議会			●	●	●	○		◎	◎	◎	◎	○			○	◎	○	○		義務教育課
		2	小学校教育課程研究協議会			●	●	●			◎	◎	○	○		○	○		◎	◎	○		
		3	中学校教育課程研究協議会			●	●	●			◎	◎	○	○		○	○		◎	◎	○		
		4	高等学校教育課程講習会	●	●	●	●		◎	◎	◎	◎	◎						◎				高教
		5	特別支援学校教育課程運営改善講座		●	●	●		◎		◎	◎	◎				◎	○	○	◎			特別支援教育課
		6	特別支援学級教育課程研修会	●	●	●	●				◎	◎	○	○		○	◎	○	○	○			
専門研修	専門研修Ⅱ	7	幼児教育実技研修会	●	●	●	●	●	○			◎	◎	◎		○	◎						義教
		8	地域支援センター特別支援教育研修会	●	●	●					○	◎	◎	◎			◎		○	◎			特支
		9	体育・保健体育指導力向上研修県中央研修	●	●	●	●		○			○	◎			○					○		健康教育課
		10	体育・保健体育指導力向上研修地区別研修	●	●	●	●		○			○	◎			○					○		
		11	小・中・高学校体育担当者連絡協議会	●	●	●	●				○	◎	○						○	○	○		
		12	「言葉による見方・考え方」を働かせ、深い学びを実現する小学校国語講座	●	●	●	●					○	◎										教育センター
		13	「言葉による見方・考え方」を働かせ、深い学びを実現する中学校国語講座	●	●	●	●					○	◎										
		14	授業改善に結び付く国語科の評価問題作成・研究講座	●	●	●	●					○	◎										
		15	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた国語科の授業づくり講座	●	●	●	●					◎	○										
		16	地域素材の教材化を通して授業が楽しくなる社会科講座	●	●	●	●					◎	○									○	
		17	地理歴史科における地理総合・歴史総合の授業づくり講座	●	●	●	●					◎	○									○	
		18	社会科・地理歴史科・公民科における社会に参画する力を育成する授業づくり講座	●	●	●	●					◎	○									○	
		19	数学的活動の充実を図る算数科授業づくり講座	●	●	●	●					○	◎									○	
		20	教える授業から子どもが学ぶ授業に変わる数学科授業改善講座	●	●	●	●					○	◎									○	
		21	数学的に考える資質・能力を育む高等学校数学科単元・授業づくり講座	●	●	●	●					○	◎									○	
		22	新課程に対応した高等学校数学科統計授業づくり講座	●	●	●	●					◎	○									◎	
		23	子どもが目を輝かせて学びを進める理科授業づくり講座	●	●	●	●					◎	○										
		24	見方・考え方を豊かにする中学校理科教材づくり講座	●	●	●	●					◎	○										
		25	科学的に探究する力を育成する理科授業づくり講座	●	●	●	●					◎	○									○	
		26	高等学校理科観察・実験講座	●	●	●	●					○	○										
		27	主体的に表現する児童を育てる小学校外国語講座	●	●	●	●					○	◎									○	
		28	英語パフォーマンステストと評価実践講座（話すこと・書くこと編）	●	●	●	●					○	◎									○	
		29	英語パフォーマンステストと評価実践講座（聞くこと・読むこと編）	●	●	●	●					○	◎									○	
		30	思考力、判断力、表現力を育成するための英語授業づくり実践講座	●	●	●	●					○	◎									○	
		31	英語教員のための英語スキル向上研修	●	●	●	●					○	○										
		32	ＩＣＴで変わる音楽の授業づくり講座（小学校編）	●	●	●	●					◎	○									○	
		33	ＩＣＴで変わる音楽の授業づくり講座（中学・高等学校編）	●	●	●	●					◎	○									○	
		34	児童・生徒が音楽を好きになる！歌唱指導法講座	●	●	●	●					◎	○										
		35	思考力・判断力・表現力等を育む器楽指導法講座（ギター編）	●	●	●	●					◎	○										

◎特に向上を目指す資質・能力　○向上を目指す資質・能力

分類		No.	研修名・講座名	ステージ 1 基礎形成期	2 資質成長期	3 資質充実期	4 深化発展期	校長・副校長	Ⅰ 教員としての素養 1 使命感・情熱・向上心	2 幅広い教養や社会性・確固たる倫理観	3 本県の教育課題への理解と対応	Ⅱ 学びの創造 4 学びの構想と広がり	5 授業等の実践と評価・改善	Ⅲ 児童生徒の理解と指導 6 児童生徒理解	7 社会性の伸長と協働する力の育成	8 個に応じた対応	9 特別な支援を必要とする児童生徒への対応	Ⅳ 教職員の協働と学校づくり 10 同僚性の構築	11 学校組織の運営	12 学校と家庭・地域の連携	13 学校安全への対応	Ⅴ ICTの活用 14 ICTの効果的な活用	所管
専門研修	専門研修Ⅱ	36	楽しみながら力を伸ばす図画工作科指導法講座	●	●	●	●					○	○									○	教育センター
		37	創造性を育む図画工作・美術の鑑賞指導法講座	●	●	●	●					○	○										
		38	創造性を育む美術の表現指導法講座	●	●	●	●					○	○										
		39	発想と技法を学ぶ書道実技講座	隔年実施　令和6年度は実施しない																			
		40	運動が苦手な児童生徒のための体育指導講座	●	●	●	●					○	○				○						
		41	1人1台端末を活用した保健体育の授業づくり講座	●	●	●	●					○	○									○	
		42	実践力を高める技術科講座（情報・エネルギー変換編）	●	●	●	●					○	◎									○	
		43	家庭科の指導力向上をめざす基礎・基本講座（調理編）	●	●	●	●					○	○										
		44	保育に関する指導の充実をめざす家庭科講座	●	●	●	●					○	○										
		45	指導力向上をめざす福祉科講座	●	●	●	●					○	○										
		46	問題の発見・解決に向かうプログラミング指導の在り方講座（データサイエンス編）	●	●	●	●				○	○	◎									◎	
		47	児童・生徒が自己の生き方を考えていく総合的な学習・探究の時間授業づくり講座	●	●	●	●					◎	○							○			
		48	子どもの成長を見取り評価に生かす小学校道徳科講座	●	●	●	●					○	◎										
		49	子どもの成長を見取り評価に生かす中学校道徳科講座	●	●	●	●					○	◎										
		50	授業力基礎基本向上講座	●									◎										
		51	授業力ブラッシュアップ講座		●								◎										
		52	子どもたちが支え合い、高め合う学級をつくる学級活動講座	●	●	●	●						○	○	◎								
		53	放射線・防災教育指導力向上講座	●	●	●	●				◎	◎								○	○		
		54	学校教育相談基本講座	●	●	●	●							◎	◎	◎							
		55	学校が変わる！解決志向で取り組む学校教育相談実践講座	●	●	●	●							◎		◎		○					
		56	体験的に学ぶ人間関係づくり講座	●	●	●	●							◎	◎								
		57	スマホ時代のいじめの理解と対応講座	●	●	●	●			○					◎	◎							
		58	不登校の理解と対応講座	●	●	●	●							◎		◎							
		59	校務処理に役立つ表計算活用講座	●	●	●	●												○			◎	
		60	授業力向上のためのICT活用実践講座（義務系）	●	●	●	●					◎	◎									◎	
		61	授業力向上のためのICT活用実践講座（県立系）	●	●	●	●					◎	◎									◎	
		62	グループウェアで活用するクラウドサービス実践講座	●	●	●	●												○			◎	
		63	小学校プログラミング教育を取り入れた授業づくり講座	●	●	●	●					◎	○									◎	
		64	適切で責任ある行動力の育成を目指した情報モラル教育講座	●	●	●	●								○							◎	
		65	養護教諭のための指導力向上講座（救急処置編）	●	●	●	●					◎	◎							◎	◎		
		66	養護教諭のための指導力向上講座（保健教育編）	●	●	●	●					◎	◎			○		○					
		67	発達障がいのある幼児児童生徒の基礎的な理解と対応～「気づく」から始めよう～	●	●	●	●						◎	◎			◎						特別支援教育センター
		68	発達障がいのある幼児・児童のライフステージに応じた支援～今日の「できた」を未来（あした）へつなげる～	●	●	●	●							◎			◎			◎			
		69	発障がいのある生徒のライフステージに応じた支援～豊かな現在（いま）が未来を拓く～	●	●	●	●							◎			◎			◎			
		70	教育相談（基礎編）～わかり合うところがスタートライン～	●	●	●	●							◎		◎	◎			◎			
		71	教育相談（応用編）～チームでつくる笑顔の相談～	●	●	●	●									◎	◎		◎	◎			
		72	指導に活かすアセスメント～もっと知りたい子どもたちのこと～	●	●	●	●					◎		◎		◎	◎			◎			

◎特に向上を目指す資質･能力　○向上を目指す資質･能力

分類		No.	研修名･講座名	ステージ					Ⅰ 教員としての素養			Ⅱ 学びの創造		Ⅲ 児童生徒の理解と指導				Ⅳ 教職員の協働と学校づくり				Ⅴ ICTの活用	所管
				1 基礎形成期	2 資質成長期	3 資質充実期	4 深化発展期	校長・副校長	1 使命感・情熱・向上心	2 幅広い教養や社会性・確固たる倫理観	3 本県の教育課題への理解と対応	4 学びの構想と広がり	5 授業等の実践と評価・改善	6 児童生徒理解	7 社会性の伸長と協働する力の育成	8 個に応じた対応	9 特別な支援を必要とする児童生徒への対応	10 同僚性の構築	11 学校組織の運営	12 学校と家庭・地域の連携	13 学校安全への対応	14 ICTの効果的な活用	
専門研修	専門研修Ⅱ	73	早期からの一貫した教育支援 ～教育的ニーズの整理と学びの充実～	●	●	●	●						◎	◎			◎		◎	◎			特別支援教育センター
		74	特別支援学級の授業の充実 ～主体的に学べる授業を考えよう～	●	●	●	●					◎	◎				◎						
		75	自立活動の指導の充実(小学校、中学校、高等学校編) ～実態把握と具体的な指導内容の設定～	●	●	●	●					◎	◎	◎			◎						
		76	自立活動の指導の充実(特別支援学校編) ～指導事例から学ぶ～	●	●	●	●					◎	◎				◎						
		77	特別支援学校における教科指導の充実 ～知的障がい国語編～	●	●	●	●					◎	◎				◎						
		78	重度・重複障がいのある子どもの学びを支える ～伝わる・伝えたい関係づくり～	●	●	●	●					◎	◎	◎			◎						
		79	特別支援学校における授業の充実 ～確かな学びに向かう授業づくり～	●	●	●	●					◎	◎				◎		◎				
		80	児童生徒の可能性や個性を伸ばす進路指導 ～一人一人の多様な幸せと進路実現に向けて～	●	●	●	●					◎		◎			◎						
		81	授業におけるICTの活用(基礎編) ～やってみよう!写真・動画を使った授業～	●	●	●	●					◎	◎				◎					◎	
		82	授業におけるICTの活用(応用編) ～主体的な学びを支える実践の共有～	●	●	●	●					◎	◎				◎					◎	
	専門Ⅲ	83	指導担当者研究協議会				●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		義高
		84	福島県小・中学校教育課程研究協議会 各教科等担当指導主事事前協議会				●	●	○	○	◎	○	◎					○	○	○			義教

◎特に向上を目指す資質・能力　○向上を目指す資質・能力

分類	No.	研修名・講座名	ステージ					Ⅰ 教員としての素養			Ⅱ 学びの創造		Ⅲ 児童生徒の理解と指導				Ⅳ 教職員の協働と学校づくり				Ⅴ ICTの活用	所管
			1 基礎形成期	2 資質成長期	3 資質充実期	4 深化発展期	校長・副校長	1 使命感・情熱・向上心	2 幅広い教養や社会性・確固たる倫理観	3 本県の教育課題への理解と対応	4 学びの構想と広がり	5 授業等の実践と評価・改善	6 児童生徒理解	7 社会性の伸長と協働する力の育成	8 個に応じた対応	9 特別な支援を必要とする児童生徒への対応	10 同僚性の構築	11 学校組織の運営	12 学校と家庭・地域との連携	13 学校安全への対応	14 ICTの効果的な活用	
特別研修	1	全国へき地教育研究大会		●	●						◎	◎	◎					◎	◎		○	義務教育課
	2	外国人児童生徒等に対する日本語指導指導者養成研修		●	●	●	●				◎	◎			◎	◎			◎		○	
	3	小学校における外国語教育指導者養成研修		●							○	○									○	
	4	公立義務教育諸学校教員長期研修		●	●			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
	5	人権教育推進研修			●	●	●	○	○		○		◎	◎	◎	○		○	○			
	6	教育相談基幹研修			●	●		◎	○	◎			◎	○	◎	◎	○		○	○		
	7	生徒指導基幹研修			●	●	●	○	○	○			◎	○	◎	○			○			
	8	生徒指導研究推進協議会					●						○	○	◎	○	○	○	○	○		
	9	幼児教育指導者養成研修			●	●	●					◎	◎			○		◎	○	○		
	10	NIE全国大会			●	●			◎		◎		◎	◎			◎	◎	◎		○	義務教育課・高校教育課
	11	全国キャリア教育・進路指導担当者等研究協議会		●	●	●		◎	◎	◎	◎	○	◎	○	○	○		◎	○			
	12	教職員等中央研修①		●	●	●	●	◎	◎		○	○			◎	◎	○	◎	○	○	○	
	13	教職員等中央研修②			●	●		◎	◎									◎				
	14	産業・情報技術等指導者養成事業		●				◎	◎	◎	◎	◎					○	○	○	○		
	15	キャリア教育指導者養成研修		●	●	●	●	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○		○	○			
	16	伝統音楽指導者研修会		●	●	●					○	○	○									
	17	美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修		●	●	●					○	○	○									
	18	学校組織マネジメント研修				●	●	◎	◎		◎		○	○	◎	◎	○	◎	◎	○	○	
	19	カリキュラム・マネジメント研修				●	●	◎	◎		◎		◎		◎	◎	○	◎	◎	○		
	20	道徳教育推進研修		●	●	●	●		○		◎	○	○		○				○		○	
	21	全国高等学校家庭クラブ指導者養成講座			●	●					○											高校教育課
	22	全国高等学校農業クラブ指導者養成講座		●	●			○														
	23	通級による指導実施校研修会			●	●		○		○		◎	◎		◎	◎	○	◎	◎			
	24	体育・保健体育指導力向上研修	●	●	●	●		○			○	◎								○		健康教育課
	25	体力向上マネジメント指導者養成研修		●	●	●		○			◎	○	○				○	○	○	○		
	26	食育指導者養成研修		●	●	●		○			◎	○		○	○		○	○	○			
	27	健康教育指導者養成研修			●	●		○			◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	28	学校安全指導者養成研修			●	●		○	○	○				○			○	○	○	◎		
	29	学校給食の衛生管理に関する指導者講習会		●	●	●		○	◎								○	○		○		
	30	国立特別支援教育総合研究所専門研修		●	●	●		○	○	○	○	○	○			◎		○				特別支援教育課
	31	交流及び共同学習推進指導者研究協議会		●	●	●		○			○	○	○	○		◎			○			
	32	特別支援教育におけるICT活用に関わる指導者研究協議会		●	●	●		○					○			◎						
	33	高等学校における通級による指導に関わる指導者協議会		●	●	●		○			○	○	○			◎						
	34	特別支援学校「体育・スポーツ」実践指導者協議会	令和4年度から休止																			

8　研修事業計画

（１）基本研修

①　初任者研修・新規採用者研修

No.	研修名・講座名		（校種）	（研修予定人数）　名	
			S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期	S4 深化発展期 / 校長・副校長	
	場　所	期日・日数	目　　　的	内　　　容	資質・能力
1	**幼稚園等新規採用教員研修**		（校種）　幼・こ	（研修予定人数）75名 ※ほか20名	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長
	（園内における研修）	10日	幼稚園等の新規採用教員に対して、現職教育の一環として1年間の研修を実施し、教員としての基本的な心構え、幼児教育の基礎、指導計画の作成と展開、指導方法等について講義、演習、実習を行い、幼稚園等の教諭（保育教諭を含む）としての資質の向上を図る。	●各幼稚園等の計画による研修	1使命感等　8個の対応 2教養等　9特別支援 3本県課題　10同僚性 4学び構想　11組織運営 5授業実践　12地域連携 6生徒理解　13学校安全 7社会性等　14ＩＣＴ
教セ	（園外における研修） ○集合研修 〈教育センター オンライン〉 ○参観研修 ○地区別研修 ○選択研修	10日 7/3,8/19,8/20（3日） 3日 3日 1日		●幼児教育の基礎、幼児教育の内容と方法、指導計画の作成、日案の展開と指導方法、保育参観、実技　等	
2	**小学校初任者研修**		（校種）　小	（研修予定人数）　300　名	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長
3	**中学校初任者研修**		（校種）　中	（研修予定人数）　170　名	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長
	（校内における研修）	120時間	新任教員に対して、現職教育の一環として1年間の研修を実施し、基本的な心構え、教育内容・方法等の基本的事項について理解を深め、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見の習得と、教員としての資質の向上を図る。	●①教員の資質向上　②授業参観　③研究授業　④生徒指導　⑤教材・教具等の活用　⑥校務処理　⑦学校教育全般	1使命感等　8個の対応 2教養等　9特別支援 3本県課題　10同僚性 4学び構想　11組織運営 5授業実践　12地域連携 6生徒理解　13学校安全 7社会性等　14ＩＣＴ
	（校外における研修） ○地区別研修A ○地区別研修B	22日 （7日） （9日）		●教師の心構え、域内学校教育の重点、カウンセリング、へき地校教育、特別支援教育、市町村教育委員会の努力目標、社会奉仕体験、他校種園参観　等	
教セ	○一次研修 1・2日目　〈オンライン〉,3日目〈磐梯青少年交流の家〉1班　2班 ○二次研修 ・小1班 ・小2班 ・小3班 〈教育センター　オンライン〉 ・中1班 ・中2班 〈教育センター　オンライン〉	 5/14,5/15,5/28(3日) 5/14,5/15,5/29(3日) 7/5,7/30,9/12(3日) 7/5,7/31,9/17(3日) 7/5,8/1,9/24(3日) 7/24,7/25,9/4(3日) 7/24,7/26,9/5(3日)		●学校教育上の諸問題、教職員の服務・勤務、教科指導・生徒指導の基礎・基本、特別支援教育、放射線・防災教育、体験活動の方法と実際、教員の心構え ●新任教員に望むこと、教科指導研修、教員自身のメンタルヘルス、情報教育　等	
4	**高等学校初任者研修**		（校種）　高	（研修予定人数）　45　名	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長
	（校内における研修）	150時間	新任教員に対して、現職教育の一環として1年間の研修を実施し、基本的な心構え、教育内容・方法等の基本的事項について理解を深め、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見の習得と、教員としての資質の向上を図る。	●①教員の資質向上　②授業参観　③研究授業　④生徒指導　⑤教材等の活用　⑥校務処理　⑦学校教育全般	1使命感等　8個の対応 2教養等　9特別支援 3本県課題　10同僚性 4学び構想　11組織運営 5授業実践　12地域連携 6生徒理解　13学校安全 7社会性等　14ＩＣＴ
教セ	（校外における研修） ○教育センター研修 〈教育センター　オンライン〉 ・基本研修 ・一次研修 ・二次研修 ○教科別研修 ・1班 ・2班 ○地区別研修A ○地区別研修B	22日 4/3,4/10（2日） 4/24,4/25,5/1（3日） 1/29,2/5,2/6（3日） 8/28-8/30（3日） 9/9-9/11（3日） （7日） （4日）		●教員としての心構え、教職員の服務と勤務、学習指導、教科指導、生徒指導、教員自身のメンタルヘルス、情報教育、放射線・防災教育、総合的な探究の時間 ●授業参観、授業研究 ●社会奉仕等体験、カウンセリング、特別活動、安全教育、他校種における授業参観　等	

No.	研修名・講座名			（校種）	（研修予定人数） 名	
				S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期	S4 深化発展期 / 校長・副校長	
	場　所	期日・日数	目　的	内　容	資質・能力	

5 新規採用養護教諭研修

（校種）小・中・高・特支　（研修予定人数）20 名

S1 基礎形成期　S2 資質成長期　S3 資質充実期　S4 深化発展期　校長・副校長

場所	期日・日数	目的	内容	資質・能力	
（校内における研修）	15日	新規採用の養護教諭に対して、基本的な心構え、養護教諭の職務の基本的事項について理解を深め、専門的知識・実践的指導力及び使命感を養うとともに、幅広い知見の習得と、養護教諭としての資質の向上を図る。	●各学校の計画による研修	1使命感等	8個の対応
（校外における研修）	14日		●一般研修（基本研修）、カウンセリング研修、特別支援学校研修、企業等体験・社会奉仕等体験研修、学校訪問研修　等	2教養等	9特別支援
○地区別研修A(小・中)(高)	(6日)			3本県課題	10同僚性
○地区別研修B(小・中)(高)	(2日)			4学び構想	11組織運営
○特別支援教育センター研修(特)	(5日)			5授業実践	12地域連携
○地区別研修(特)	(3日)			6生徒理解	13学校安全
○一次研修(小・中・高・特)	(3日)		●学校教育上の諸問題、教職員の服務・勤務、教科指導・生徒指導の基礎・基本、特別支援教育、放射線・防災教育、体験活動、教員の心構え	7社会性等	14ＩＣＴ
1・2日目〈各所属校〉,3日目〈磐梯青少年交流の家〉	5/14,5/15,5/29(3日)				
○専門領域研修(小・中・高・特支)	(2日)		●専門領域研修（健康教育の現状と課題、児童生徒の疾病理解、学校における救急処置、児童生徒のメンタルヘルスの理解と対応等）　等		
〈教育センター・オンライン〉	9月18日,19日（2日）				
○二次研修(小・中・高・特支)	(1日)				
〈教育センター〉	2月6日				

教セ

6 新規採用学校栄養職員研修

（校種）小・中・市立特支　（研修予定人数）3 名

S1 基礎形成期　S2 資質成長期　S3 資質充実期　S4 深化発展期　校長・副校長

場所	期日・日数	目的	内容	資質・能力	
（学校等内研修）	15日	新規採用の学校栄養職員に対して、職務を円滑に遂行するため採用年度に研修を行い、専門的知識・実践的指導力及び使命感を養うとともに、幅広い知見の習得と、学校栄養職員としての資質の向上を図る。	●各学校の計画による研修	1使命感等	8個の対応
（学校等外研修）	13日		●指導の重点・方針、生徒指導上の諸問題、特別支援学校研修、他校園参観研修、企業等体験研修、給食管理業務、給食指導業務、食事環境の整備・工夫、個別指導の実際、学校・家庭・地域との連携、衛生管理体制の在り方　等	2教養等	9特別支援
○地区別研修A	（4日）			3本県課題	10同僚性
○地区別研修B	（3日）			4学び構想	11組織運営
				5授業実践	12地域連携
				6生徒理解	13学校安全
○一次研修	（3日）		●学校教育上の諸問題、教職員の服務・勤務、教科指導・生徒指導の基礎・基本、特別支援教育、放射線・防災教育、体験活動、教職員の心構え	7社会性等	14ＩＣＴ
1・2日目〈各所属校〉,3日目〈磐梯青少年交流の家〉	5/14,5/15,5/29(3日)				
○専門領域研修	（3日）		●専門領域研修（食に関する指導の実際、学校栄養職員に期待すること、学校給食の衛生管理・栄養管理、教職員自身のメンタルヘルス等）　等		
〈教育センター・各所属校〉	8月27日−29日（3日）				

教セ

7 特別支援学校初任者研修

（校種）特支　（研修予定人数）40 名

S1 基礎形成期　S2 資質成長期　S3 資質充実期　S4 深化発展期　校長・副校長

場所	期日・日数	目的	内容	資質・能力	
（校内における研修）	150時間以上	新任教員に対して、現職研修の一環として1年間の研修を実施し、教育公務員としての心構え、特別支援学校の教育内容・方法等に関する実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得させ、教員としての資質の向上を図る。	●各学校の計画による。 ※指導教員、拠点校指導教員等による指導（児童生徒の障がいの理解、授業参観、研究授業等）	1使命感等	8個の対応
（校外における研修）	22日			2教養等	9特別支援
○一次研修 〈初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター・磐梯青少年交流の家〉	7/23-7/25（3日）			3本県課題	10同僚性
				4学び構想	11組織運営
○二次研修 〈初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター〉	2/4-2/6（3日）			5授業実践	12地域連携
				6生徒理解	13学校安全
				7社会性等	14ＩＣＴ
○特別支援教育センター等における研修			●教員としての心構え、服務と勤務、倫理観、特別支援教育の現状、学習指導要領と教育課程、児童生徒理解、障がい児の医療・福祉、発達障がい、社会教育、健康教育、震災・復興に関する理解等 ●教育課程・各学部に分かれた授業研究 ●他校参観研修、企業等体験研修 等		
・一般研修	4/10-4/11（2日）				
〈コミュタン福島〉					
・カウンセリング研修	6/5-6/6（2日）				
〈特別支援教育センター〉					
・教育課程別研修	9/4（1日）				
（初任者配置当番校）					
・学部別研修	11/6（1日）				
（初任者配置当番校）					
・地区別研修	4月～3月（10日）				

特セ

8 新規採用職員研修

（校種）小・中・高・特支　（研修予定人数）16 名

S1 基礎形成期　S2 資質成長期　S3 資質充実期　S4 深化発展期　校長・副校長

場所	期日・日数	目的	内容	資質・能力	
（校外における研修）	前期と後期両方受講	自治体職員としての職業意識を確立し、求められる役割を理解する。業務を遂行する上で必要な能力の開発に向けて基本的な知識等の習得を図る。	●宿泊研修 自治体職員としての心構え、コミュニケーション能力の育成、マナースキルの習得、職員として必要な知識の理解、文書事務・法令事務の理解、コンプライアンス・不祥事防止、ストレス等、健康管理、論理的思考力とプレゼンテーション能力の育成　等	1使命感等	8個の対応
○ふくしま	前期(4/上旬～5/下旬)			2教養等	9特別支援
自治研修センター	3日間			3本県課題	10同僚性
				4学び構想	11組織運営
	後期(期間未定)			5授業実践	12地域連携
	5日間			6生徒理解	13学校安全
				7社会性等	14ＩＣＴ

義務

②　２年次教員フォローアップ研修

No.	研修名・講座名		(校種)		(研修予定人数) 名	
	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	校長・副校長	
	場　所	期日・日数	目　的	内　容	資質・能力	

9	小学校2年次教員フォローアップ研修		(校種) 小		(研修予定人数) 125 名	
	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	校長・副校長	
	(校内における研修)	30時間	初任者研修を修了した教諭に対して、現職教育の一環として1年間の研修を実施し、初年度に培った基礎的な力を、日々の教育実践に生きる確かな資質や能力へと高める。	●校内研修 ①教員の資質向上 ②課題研究 ③研究授業等 ●校外研修 ①企業等体験研修 ②教科等指導研修　等	1 使命感等	8 個の対応
	(校外における研修)	3日			2 教養等	9 特別支援
	○地区別研修	(2日)			3 本県課題	10 同僚性
	○教科等指導研修				4 学び構想	11 組織運営
	・1班	6/12(1日)			5 授業実践	12 地域連携
	・2班	6/28(1日)			6 生徒理解	13 学校安全
教セ	〈教育センター〉				7 社会性等	14 ICT

10	中学校2年次教員フォローアップ研修		(校種) 中		(研修予定人数) 61 名	
	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	校長・副校長	
	(校内における研修)	30時間	初任者研修を修了した教諭に対して、現職教育の一環として1年間の研修を実施し、初年度に培った基礎的な力を、日々の教育実践に生きる確かな資質や能力へと高める。	●校内研修 ①教員の資質向上 ②課題研究 ③研究授業等 ●校外研修 ①企業等体験研修 ②教科等指導研修　等	1 使命感等	8 個の対応
	(校外における研修)	3日			2 教養等	9 特別支援
	○地区別研修	(2日)			3 本県課題	10 同僚性
	○教科等指導研修	6/27(1日)			4 学び構想	11 組織運営
	〈教育センター〉				5 授業実践	12 地域連携
					6 生徒理解	13 学校安全
教セ					7 社会性等	14 ICT

11	高等学校2年次教員フォローアップ研修		(校種) 高		(研修予定人数) 38 名	
	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	校長・副校長	
	(校内における研修)	30時間	初任者研修を修了した教諭に対して、現職教育の一環として1年間の研修を実施し、初年度に培った基礎的な力を、日々の教育実践に生きる確かな資質や能力へと高める。	●校内研修 ①教員の資質向上 ②課題研究 ③研究授業等 ●校外研修 ①企業等体験研修 ②教科等指導研修　等	1 使命感等	8 個の対応
	(校外における研修)	3日			2 教養等	9 特別支援
	○地区別研修	(2日)			3 本県課題	10 同僚性
	○教科等指導研修	7/1(1日)			4 学び構想	11 組織運営
	〈教育センター〉				5 授業実践	12 地域連携
					6 生徒理解	13 学校安全
教セ					7 社会性等	14 ICT

12	特別支援学校2年次教員フォローアップ研修		(校種) 特支		(研修予定人数) 40 名	
	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	校長・副校長	
	(校内における研修)	30時間以上	初任者研修を修了した教諭に対して、現職教育の一環として1年間の研修を実施し、初年度に培った基礎的な力を、日々の教育実践に生きる確かな資質や能力へと高める。	●各学校、各自の計画による。 ※教員の資質向上、課題研究、研究授業等	1 使命感等	8 個の対応
					2 教養等	9 特別支援
					3 本県課題	10 同僚性
	(校外における研修)	3日		●各学校、各自の計画による。 ※教員の資質向上、課題研究、研究授業等	4 学び構想	11 組織運営
	○社会奉仕等体験研修	(2日)			5 授業実践	12 地域連携
	○特別支援教育センターにおける研修				6 生徒理解	13 学校安全
	・教科等指導研修	8/22(1日)			7 社会性等	14 ICT
特セ	〈特別支援教育センター〉					

③　５年経験者研修

No.	研修名・講座名		(校種)		(研修予定人数) 名	
	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	校長・副校長	
	場　所	期日・日数	目　的	内　容	資質・能力	

13	小学校5年経験者研修		(校種) 小		(研修予定人数) 160 名	
	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	校長・副校長	
	(校内における研修)	5日	在職期間が5年に達した教諭に対して、現職教育の一環として1年間の研修を実施し、各教科における授業の改善や道徳教育、総合的な学習の時間及び特別活動の指導などの研修を深めるとともに、教職員の服務と勤務について研修を行い、その資質の向上を図る。	●校長・副校長及び教頭による講義、授業研究、研修会等への参加 ●教職員の服務と勤務、教科指導の方法と授業の改善、教員自身のメンタルヘルス、生徒指導、放射線・防災教育　等	1 使命感等	8 個の対応
					2 教養等	9 特別支援
	(校外における研修) ○教科指導研修 ・1班 ・2班 〈教育センター・オンライン〉	6/4,6/7,8/20(3日) 6/4,6/10,8/21(3日)			3 本県課題	10 同僚性
					4 学び構想	11 組織運営
					5 授業実践	12 地域連携
					6 生徒理解	13 学校安全
教セ					7 社会性等	14 ICT

No.	研修名・講座名	(校種)	(研修予定人数) 名
	場　所 / 期日・日数 / 目　的 / 内　容 / 資質・能力	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長	

14 中学校5年経験者研修

(校種) 中　(研修予定人数) 70 名

S1 基礎形成期 / **S2 資質成長期** / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長

場　所	期日・日数	目　的	内　容	資質・能力	
(校内における研修)	5日	(小学校に同じ) 特に教育センターの研修においては、国・社・数・理・音・美・保体・技・家・英について、中・高を通した教科の指導力を高めるため、中・高合同の教科研修の場を設ける。	●校長・副校長及び教頭による講義、授業研究、研修会等への参加 ●教職員の服務と勤務、教科指導の方法と授業の改善、教員自身のメンタルヘルス、生徒指導等	1使命感等	8個の対応
(校外における研修) ○教科指導研修 ・1班 ・2班 〈教育センター・オンライン〉	9/6, 10/2, 10/21 (3日) 9/13, 10/18, 10/21 (3日)			2教養等	9特別支援
				3本県課題	10同僚性
				4学び構想	11組織運営
				5授業実践	12地域連携
				6生徒理解	13学校安全
教セ				7社会性等	14ＩＣＴ

15 高等学校5年経験者研修

(校種) 高　(研修予定人数) 40 名

S1 基礎形成期 / **S2 資質成長期** / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長

場　所	期日・日数	目　的	内　容	資質・能力	
(校内における研修)	5日	在職期間が5年に達した教諭に対して、現職教育の一環として1年間の研修を実施し、教科指導、生徒指導、服務と勤務等について研修を行い、教科担任としての専門的な知見を深めるとともに、その資質の向上を図る。 特に教育センターの研修においては、国・地歴・公・数・理・音・美・保体・家・英について、中・高を通した教科の指導力を高めるため、中・高合同の教科研修の場を設ける。	●教科指導、特別活動、生徒指導、進路指導、ホームルーム活動、校務運営　等 ●教職員の服務と勤務、教科指導の方法と授業の改善、生徒指導・教育相談、教員自身のメンタルヘルス　等	1使命感等	8個の対応
(校外における研修) ○教科指導研修 ・1班 ・2班 〈教育センター・オンライン〉	9/6, 10/2, 10/21 (3日) 9/13, 10/18, 10/21 (3日)			2教養等	9特別支援
				3本県課題	10同僚性
				4学び構想	11組織運営
				5授業実践	12地域連携
				6生徒理解	13学校安全
教セ				7社会性等	14ＩＣＴ

16 養護教諭5年経験者研修

(校種) 小・中・高・特支　(研修予定人数) 35 名

S1 基礎形成期 / **S2 資質成長期** / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長

場　所	期日・日数	目　的	内　容	資質・能力	
(校内における研修)	3日	在職期間が5年に達した養護教諭に対して、現職教育の一環として1年間の研修を実施し、現代的な課題に対応するため、健康課題をとらえる力や課題解決のための指導力・実践力を身に付け、専門職としての能力を十分発揮できるよう資質の向上を図る。	●校長・副校長及び教頭による講義、授業研究等、研修会等への参加 ●健康教育の現状と課題、5年経験の養護教諭に望むこと、健康相談の実際、学校における救急処置、学校保健組織活動、保健教育の進め方、情報モラル教育、メンタルヘルス　等	1使命感等	8個の対応
(校外における研修) ○専門領域研修 〈教育センター・オンライン〉	11/6-11/8 (3日)			2教養等	9特別支援
				3本県課題	10同僚性
				4学び構想	11組織運営
				5授業実践	12地域連携
				6生徒理解	13学校安全
教セ				7社会性等	14ＩＣＴ

17 学校栄養職員5年経験者研修

(校種) 小・中・市立特支　(研修予定人数) 名

S1 基礎形成期 / **S2 資質成長期** / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長

※　令和6年度は実施しない

場　所	期日・日数	目　的	内　容	資質・能力	
(校内における研修)	2日	在職期間が5年に達した学校栄 … い、教育的指導力及び資質の向上を図る。	●5年経験学校栄養職員としての心構え、教職員の勤務と服務、特 … こと、学校給食の栄養管理・衛生管理、食に関する指導の進め方、食育の推進に向けて、情報教育等	1使命感等	8個の対応
(校外における研修) ○専門領域研修 〈教育センター・オンライン〉	9/20-9/21 (2日)			2教養等	9特別支援
				3本県課題	10同僚性
				4学び構想	11組織運営
				5授業実践	12地域連携
				6生徒理解	13学校安全
教セ				7社会性等	14ＩＣＴ

18 特別支援学校5年経験者研修

(校種) 特支　(研修予定人数) 55 名

S1 基礎形成期 / **S2 資質成長期** / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長

場　所	期日・日数	目　的	内　容	資質・能力	
(校内における研修)	5日	在職期間が5年に達した教諭に対して、現職教育の一環として1年間の研修を実施し、専門的な知識・能力の深化を図るとともに、各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習(探究)の時間、特別活動、自立活動の指導及び学級経営、生徒指導並びに関係諸機関等との連携についての研修を行い、職務遂行能力の向上を図る。特に、教科の指導力を高めるため、教科研修を行う。(中学校・高等学校5年経験者研修への参加(希望者))	●各学校、各自の計画による。	1使命感等	8個の対応
(校外における研修) 5年経験者研修全体研修 (各校/特支セ) ①中学校・高等学校5年経験者研修教科指導研修 (教育センター) ②研修会等参加研修	6日 1班 6/7,10,11(3日) 2班 6/12,13,14(3日) ①②どちらか(3日)		●教職員の服務と勤務、倫理観、教師論、児童生徒理解、授業実践に向けた課題研究、研究授業等 ●授業の改善・充実、学習指導要領と教育課程、発達障がいの理解、特別支援教育と医療、社会教育等 ●基礎学力の向上を図る教科指導(各教科)の充実に関する研修等 ●各種研究発表会、講習会、教科指導研修参加等	2教養等	9特別支援
				3本県課題	10同僚性
				4学び構想	11組織運営
				5授業実践	12地域連携
				6生徒理解	13学校安全
特セ				7社会性等	14ＩＣＴ

④　中堅教諭等資質向上研修

No.	研修名・講座名	(校種)	(研修予定人数) 名
		S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長	

場　所	期日・日数	目　的	内　容	資質・能力

19　幼稚園等中堅教諭等資質向上研修

(校種) 幼・こ　(研修予定人数) 30 名

S1 基礎形成期 | S2 資質成長期 | S3 資質充実期 | S4 深化発展期 | 校長・副校長

場　所	期日・日数	目　的	内　容	資質・能力	
(園内における研修)	7日以上	在職期間が10年に達した幼稚園等の教諭(保育教諭を含む)に対して、現職教育の一環として1年間の研修を実施し、個々の能力、適性等に応じて実践的指導力の向上を図るとともに、幅広い識見と豊かな社会性を得させ、併せて園組織マネジメントに資する能力の育成を図る。	●園内研修 ①保育力の向上に関する研修 ②教育課題の解決に向けた実践に関する研修 ③パイオニア研修(特定課題研修) ●園外研修 ①共通研修 ②マネジメント研修 ③社会体験研修 ④選択研修 等	1使命感等	8個の対応
(園外における研修)	5日以上			2教養等	9特別支援
○共通研修	(1日)			3本県課題	10同僚性
○社会体験研修	(1日)			4学び構想	11組織運営
○選択研修	(1日以上)			5授業実践	12地域連携
○マネジメント研修	(2日)			6生徒理解	13学校安全
教セ 〈教育センター・オンライン〉	6/20,6/21(2日)			7社会性等	14ＩＣＴ

20　小学校中堅教諭等資質向上研修

(校種) 小　事務職員　(研修予定人数) 70 名

S1 基礎形成期 | S2 資質成長期 | S3 資質充実期 | S4 深化発展期 | 校長・副校長

21　中学校中堅教諭等資質向上研修

(校種) 中　事務職員　(研修予定人数) 55 名

S1 基礎形成期 | S2 資質成長期 | S3 資質充実期 | S4 深化発展期 | 校長・副校長

場　所	期日・日数	目　的	内　容	資質・能力	
(校内における研修)	15日以上	在職期間が10年に達した教諭に対して、現職教育の一環として1年間の研修を実施し、個々の能力、適性等に応じて実践的指導力の深化を図るとともに、幅広い識見と豊かな社会性を得させ、併せて学校組織マネジメントに資する能力の育成を図る。	●校内研修 ①授業力の向上に関る研修 ②教育課題の解決に向けた実践に関する研修 ③パイオニア研修(特定課題研修) ●校外研修 ①共通研修 ②マネジメント研修 ③生徒指導研修 ④社会体験研修 ⑤選択研修 等	1使命感等	8個の対応
(校外における研修)	10日以上			2教養等	9特別支援
○共通研修	(1日)			3本県課題	10同僚性
○生徒指導研修	(1日)			4学び構想	11組織運営
○社会体験研修	(2日)			5授業実践	12地域連携
○選択研修	(3日以上)			6生徒理解	13学校安全
○教科指導研修	小 6/18,6/19,10/3(3日)			7社会性等	14ＩＣＴ
教セ 〈教育センター・オンライン〉	中 6/25,9/26,9/27(3日)				

22　高等学校中堅教諭等資質向上研修

(校種) 高　(研修予定人数) 75 名

S1 基礎形成期 | S2 資質成長期 | S3 資質充実期 | S4 深化発展期 | 校長・副校長

場　所	期日・日数	目　的	内　容	資質・能力	
(校内における研修)	15日以上	在職期間が10年に達した教諭に対して、現職教育の一環として1年間の研修を実施し、個々の能力、適性等に応じて実践的指導力の深化を図るとともに、幅広い識見と豊かな社会性を得させ、併せて学校組織マネジメントに資する能力の育成を図る。	●校内研修 ①授業力の向上に関る研修 ②教育課題の解決に向けた実践に関する研修 ③パイオニア研修(特定課題研修) ●校外研修 ①共通研修 ②教科指導研修 ③生徒指導研修 ④マネジメント研修 ⑤社会体験研修 ⑥選択研修 等	1使命感等	8個の対応
(校外における研修)	10日以上			2教養等	9特別支援
○社会体験研修	(2日)			3本県課題	10同僚性
○選択研修	(3日以上)			4学び構想	11組織運営
・共通研修	4/16			5授業実践	12地域連携
・生徒指導研修	7/4			6生徒理解	13学校安全
・教科指導Ⅰ	7/8			7社会性等	14ＩＣＴ
・教科指導Ⅱ	2/3				
・マネジメント研修	6/13				
教セ 〈教育センター〉					

23　養護教諭中堅教諭等資質向上研修

(校種) 小・中・高・特支　(研修予定人数) 20 名

S1 基礎形成期 | S2 資質成長期 | S3 資質充実期 | S4 深化発展期 | 校長・副校長

場　所	期日・日数	目　的	内　容	資質・能力	
(校内における研修)	4日以上	在職期間が10年に達した養護教諭に対して、現職教育の一環として1年間の研修を実施し、個々の能力、適性等に応じて実践的指導力の深化を図るとともに、幅広い識見と豊かな社会性を習得し、組織的に学校保健活動を展開できる能力の育成を図る。	●校内研修 ①教育課題の解決に向けた実践に関する研修 ②パイオニア研修(特定課題研究) ●校外研修 ①共通研修 ②専門領域研修 ③社会体験研修 ④選択研修 等	1使命感等	8個の対応
(校外における研修)	6日以上			2教養等	9特別支援
○共通研修	(1日)			3本県課題	10同僚性
・(小・中)各地区				4学び構想	11組織運営
・(高・特)教育センター	4/12			5授業実践	12地域連携
○社会体験研修(小・中・高・特)	(1日)			6生徒理解	13学校安全
○選択研修(小・中・高・特)	(1日以上)			7社会性等	14ＩＣＴ
○専門領域研修(小・中・高・特) 教セ 〈教育センター・オンライン〉	8/2,8/5,8/6(3日)				

24　学校栄養職員中堅教諭等資質向上研修

(校種) 小・中・市立特支　(研修予定人数) 8 名

S1 基礎形成期 | S2 資質成長期 | S3 資質充実期 | S4 深化発展期 | 校長・副校長

場　所	期日・日数	目　的	内　容	資質・能力	
(校内における研修)	4日以上	在職期間が10年に達した学校栄養職員に対して、現職教育の一環として1年間の研修を実施し、個々の能力、適性等に応じて実践的指導力の向上を図るとともに、幅広い識見と豊かな社会性を得させる。	●校内研修 ①教育課題の解決に向けた実践に関する研修 ②パイオニア研修(特定課題研究) ●校外研修 ①共通研修 ②専門領域研修 ③社会体験研修 ④選択研修 等	1使命感等	8個の対応
(校外における研修)	6日以上			2教養等	9特別支援
○共通研修	(1日)			3本県課題	10同僚性
○社会体験研修	(1日)			4学び構想	11組織運営
○選択研修	(1日以上)			5授業実践	12地域連携
○宿泊研修	(3日)			6生徒理解	13学校安全
教セ 〈教育センター〉	7/25,7/26,7/29(3日)			7社会性等	14ＩＣＴ

No.	研修名・講座名		（校種）	（研修予定人数） 名
	場所	期日・日数	目的	内容	資質・能力

S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長

25 特別支援学校中堅教諭等資質向上研修

（校種）特支　（研修予定人数）28名　S3 資質充実期

場所	期日・日数	目的	内容	資質・能力
（校内における研修）	15日以上	在職期間が10年に達した教諭に対して、現職教育の一環として1年間の研修を実施し、個々の能力、適性等に応じて実践的指導力の深化を図るとともに、幅広い識見と豊かな社会性を得させ、併せて学校組織マネジメントに資する能力の育成を図る。	●各学校、各自の計画による。	1使命感等 / 2教養等 / 3本県課題 / 4学び構想 / 5授業実践 / 6生徒理解 / 7社会性等 / 8個の対応 / 9特別支援 / 10同僚性 / 11組織運営 / 12地域連携 / 13学校安全 / 14 ICT
（校外における研修）	10日		●教職員の服務と勤務や倫理観、本県の特別支援教育の現状、教育的かかわりの視点、学習指導要領と教育課程、授業づくり、児童生徒理解、発達障がいの理解等	
1　共通研修				
①共通研修（各校/特別支援教育センター）	6/26-6/28（3日）			
2　教科指導			●教科等指導の実際、個別の指導計画と教科等指導、指導案の作成、協議等	
①教科等指導研修（特別支援教育センター）	1/14-1/15（2日）			
3　社会体験			●企業・社会福祉施設等での研修	
①社会体験研修	（2日）		●特別支援教育センター、教育センターの専門研修講座の受講	
4　選択			●教職員の服務と勤務、児童生徒の行動の理解とかかわり方、授業研究、教材研究、課題研究、学部・学級経営に関する研修等	
①専門研修	（3日）			

特セ

⑤　中核教諭研修

No.	研修名・講座名		（校種）	（研修予定人数） 名
	場所	期日・日数	目的	内容	資質・能力

26 市町村立学校中核教諭研修

（校種）小・中・市立特支　（研修予定人数）32名　S4 深化発展期

場所	期日・日数	目的	内容	資質・能力
教育センター	10/9-10/11（3日）	市町村立学校で推薦した教務主任、学年主任、生徒指導主事等の中堅教員（学校運営上、主要な職にある者）に対し、学校管理運営上の諸問題について研修を行い、教員のリーダーとして全校的視野に立った指導力の深化を図る。	●本県の学校教育の現状と課題、学校の管理運営、個に応じた対応、生徒指導、研究協議（指導、管理）、学校組織マネジメント、教員のやる気を引き出すコーチング　等	1使命感等 / 2教養等 / 3本県課題 / 4学び構想 / 5授業実践 / 6生徒理解 / 7社会性等 / 8個の対応 / 9特別支援 / 10同僚性 / 11組織運営 / 12地域連携 / 13学校安全

教セ

27 県立学校中核教諭研修

（校種）高・特支　（研修予定人数）70名　S4 深化発展期

場所	期日・日数	目的	内容	資質・能力
教育センター	10/23-10/25（3日）	県立学校の教務主任、学年主任、学部主事等の中堅教員（学校運営上、主要な職にある者）に対し、学校管理運営上の諸問題について研修を行い、教員のリーダーとして全校的視野に立った指導力の深化を図る。	●本県の教育の現状と課題、教育課程の編成について、学校の管理運営、生徒理解と生徒指導、研究協議(指導、管理)、キャリア教育、学校組織マネジメントとミドルリーダーの役割、教職員のやる気を引き出すコーチング　等	1使命感等 / 2教養等 / 3本県課題 / 4学び構想 / 5授業実践 / 6生徒理解 / 7社会性等 / 8個の対応 / 9特別支援 / 10同僚性 / 11組織運営 / 12地域連携 / 13学校安全

教セ

28 中核養護教諭研修

（校種）小・中・高・特支　（研修予定人数）30名　S4 深化発展期

場所	期日・日数	目的	内容	資質・能力
教育センター・各所属校	9/10-9/12（3日）	在職期間が15年に達した養護教諭に対し、より高度な専門的知識・技能を高める研修及び今日的課題に対応するための研修を行い、資質の向上を図る。	●健康教育の現状と課題、児童生徒のメンタルヘルスの理解と対応、学校保健組織マネジメント、これからの養護教諭の役割、健康課題を解決するための取組、現代的健康課題における対応　等	1使命感等 / 2教養等 / 3本県課題 / 4学び構想 / 5授業実践 / 6生徒理解 / 7社会性等 / 8個の対応 / 9特別支援 / 10同僚性 / 11組織運営 / 12地域連携 / 13学校安全

教セ

29 中核学校栄養職員研修

（校種）小・中　（研修予定人数）名　S4 深化発展期

※　令和6年度は実施しない

場所	期日・日数	目的	内容	資質・能力
教育センター オンライン		在職期間が15年に達した学校栄養職員に対し、より高度な専 … を果たすために必要な資質の向上を図る。	●食に関する指導の実際、R-PDCAサイクルを活用した食育の … 学校給 … かした … 食育の進め方、学校栄養職員に期待すること、学校・家庭・地域と連携した食育　等	1使命感等 / 2教養等 / 3本県課題 / 4学び構想 / 5授業実践 / 6生徒理解 / 7社会性等 / 8個の対応 / 9特別支援 / 10同僚性 / 11組織運営 / 12地域連携 / 13学校安全 / 14 ICT

教セ

（２） 職能研修

① 職能研修Ⅰ（教員･事務職員対象）

No.	研修名・講座名	（校種）	（研修予定人数）	段階
1	市町村立学校新任教頭研修会	小･中･特支	100 名	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / **S4 深化発展期** / 校長･副校長
2	県立学校新任教頭研修会	高･特支	22 名	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / **S4 深化発展期** / 校長･副校長
3	新任主幹教諭研修会	小･中･高･特支	25 名	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / **S4 深化発展期** / 校長･副校長
4	新任教務主任研修会	小･中･高･特支	120 名	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / **S4 深化発展期** / 校長･副校長
5	基礎力アップ研修	小･中･特支事務職員採用4年目	17 名	**S1 基礎形成期** / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長･副校長

No.	場 所	期日（日数）	目 的	内 容	資質･能力
1 教セ	教育センター オンライン	小学校 4/24,4/26 （2日） 中･義務教育･特別支援学校 4/24,5/20 （2日）	新任教頭に対し、学校管理運営等の諸問題に関する研修を行い、管理職としての資質の向上を図る。	●教頭の職務、新任教頭に期待すること、学校評価の活用と人事評価等について、学校運営上の課題、特別支援教育の充実について、学校組織マネジメント 等	**1使命感等 8個の対応 2教養等 9特別支援 3本県課題 10同僚性 4学び構想 11組織運営 5授業実践 12地域連携 6生徒理解 13学校安全 7社会性等** 14 ICT
2 教セ	教育センター	5/9-5/10 （2日）	新任教頭に対し、学校管理、学習指導及び生徒指導等に関する研修を行い、管理職としての資質の向上を図る。	●教頭に期待すること、教頭の職務、学校評価と人事評価制度、学校運営上の課題、教育の情報化、学校組織マネジメント 等	**1使命感等 8個の対応 2教養等 9特別支援 3本県課題 10同僚性 4学び構想 11組織運営 5授業実践 12地域連携 6生徒理解 13学校安全 7社会性等 14 ICT**
3 教セ	教育センター	5/24 （1日）	新任主幹教諭に対し、学校組織マネジメント、校務運営上の課題等に関する研修を行い、その資質の向上を図る。	●主幹教諭の職務について、学校組織マネジメント、主幹教諭の実務と校務運営上の課題への対応、教職員の服務倫理意識の向上 等	**1使命感等 8個の対応 2教養等 9特別支援 3本県課題 10同僚性 4学び構想 11組織運営 5授業実践 12地域連携 6生徒理解 13学校安全 7社会性等** 14 ICT
4 教セ	各地区	1日	新任教務主任に対し、教育計画や学校運営に関する研修を行い、その資質の向上及び校務運営の適正化を図る。	●学校教育の現状と課題、学校運営と教務主任の役割、学校管理上の諸問題、教育課程の編成と管理、教育課程と生徒指導、校内研修 等	**1使命感等 8個の対応 2教養等 9特別支援 3本県課題 10同僚性 4学び構想 11組織運営 5授業実践 12地域連携 6生徒理解 13学校安全 7社会性等** 14 ICT
5 義務	ふくしま 自治研修センター	未定 （2日）	○キャリアプランを設計し、求められる役割や能力を理解する。 ○求められる能力の開発に向けて必要な知識等の習得を図る。	●キャリアデザイン ・自らに求められる役割を理解するとともに、ワークライフバランスを意識した働き方を考える。 ●政策形成の基礎 ●不祥事防止	**1使命感等** 8個の対応 **2教養等** 9特別支援 3本県課題 **10同僚性** 4学び構想 **11組織運営** 5授業実践 12地域連携 6生徒理解 13学校安全 7社会性等 14 ICT

No.	研修名・講座名	場　所	期日・日数	目　的	内　容	（校種）	（研修予定人数）	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長	資質・能力
6 義務	**応用力アップ研修**	ふくしま 自治研修センター	未定 （2日）	○効率のよい仕事術を学ぶとともに、チームをまとめる調整力について学ぶ。 ○求められる能力の開発に向けて必要な知識等の習得を図る。	●生産性向上と業務の効率化 ●サポート力の育成 ●不祥事防止	小・中・特支事務職員採用8年目	15　名	S1 基礎形成期 / **S2 資質成長期** / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長	**1 使命感等** / **2 教養等** / 3 本県課題 / 4 学び構想 / 5 授業実践 / 6 生徒理解 / 7 社会性等 / 8 個の対応 / 9 特別支援 / **10 同僚性** / **11 組織運営** / **12 地域連携** / 13 学校安全 / 14 ＩＣＴ

② 職能研修Ⅱ（教員・事務職員対象）

No.	研修名・講座名	場　所	期日・日数	目　的	内　容	（校種）	（研修予定人数）	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長	資質・能力
7 義務	**実行力アップ研修**	ふくしま 自治研修センター	未定 （2日）	○ファシリテーションの手法を学ぶとともに、求められる役割や能力を理解する。 ○求められる能力の開発に向けて必要な知識等の習得を図る。	●生産性向上と業務の効率化 ●住民協働のためのファシリテーション能力養成 ●不祥事防止	小・中・特支事務職員採用12年目	7　名	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / **S3 資質充実期** / S4 深化発展期 / 校長・副校長	**1 使命感等** / **2 教養等** / 3 本県課題 / 4 学び構想 / 5 授業実践 / 6 生徒理解 / 7 社会性等 / 8 個の対応 / 9 特別支援 / **10 同僚性** / **11 組織運営** / **12 地域連携** / 13 学校安全 / 14 ＩＣＴ
8 義務	**新任係長研修**	ふくしま 自治研修センター	未定 （2日）	○主任主査としての心構えや部下育成の基本的な考え方等、チームをまとめるための基本的なマネジメント能力の向上に向けて必要な知識等の習得を図る。	●主任主査の在り方や心構え ●マネジメント能力の向上 ・係長に求められるマネジメント能力を身に付けるとともに、組織と人を動かすコミュニケーション、生産性向上と業務の効率化等について学ぶ。 ●不祥事防止	小・中・特支 事務職員：新任主任主査	11　名	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / **S4 深化発展期** / 校長・副校長	**1 使命感等** / **2 教養等** / 3 本県課題 / 4 学び構想 / 5 授業実践 / 6 生徒理解 / 7 社会性等 / 8 個の対応 / 9 特別支援 / **10 同僚性** / **11 組織運営** / 12 地域連携 / 13 学校安全 / 14 ＩＣＴ
9 健康	**学校安全指導者養成研修**	県北 県南 相双	10月中 10月中 10月中	学校安全担当教員に対し生活安全に関する計画策定等を身に付ける研修を行い、学校における安全教育の充実を図る。	●講演、講義・演習等	小・中・高・特支　県北・県南・相双	悉皆　270　名	S1 基礎形成期 / **S2 資質成長期** / **S3 資質充実期** / **S4 深化発展期** / 校長・副校長	**1 使命感等** / **2 教養等** / **3 本県課題** / 4 学び構想 / 5 授業実践 / 6 生徒理解 / **7 社会性等** / 8 個の対応 / 9 特別支援 / **10 同僚性** / **11 組織運営** / **12 地域連携** / **13 学校安全** / 14 ＩＣＴ
10 健康	**健康教育推進者研修会**	県北 相双 いわき	7月31日 7月29日 8月20日	各学校において健康教育推進の中心的役割を担う養護教諭等に研修を行い、学校における健康教育推進の中心となる教員の資質向上と健康教育の充実を図る。	●講演、講義・協議等	小・中・高・特支　県北・相双・いわき	悉皆　349　名	S1 基礎形成期 / **S2 資質成長期** / **S3 資質充実期** / **S4 深化発展期** / 校長・副校長	**1 使命感等** / **2 教養等** / **3 本県課題** / 4 学び構想 / 5 授業実践 / **6 生徒理解** / 7 社会性等 / **8 個の対応** / **9 特別支援** / 10 同僚性 / **11 組織運営** / **12 地域連携** / 13 学校安全 / 14 ＩＣＴ

No.	研修名･講座名	（校種）		（研修予定人数）	名
		S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長･副校長			
	場　所 / 期日・日数 / 目　的 / 内　容 / 資質･能力				

11 新任栄養教諭研修

（校種）／（研修予定人数）1　名

S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長･副校長

※　令和6年度は実施しない

場所	期日・日数	目的	内容	資質･能力
教育センター 協力校所属校	第1回　4月中（1日） 第2回　6月中（1日） 第…… （栄養教諭食育推進研修会兼） 第4回　1月中（1日）	新任の栄養教諭に対し、栄養教諭としての職務を円滑に遂行するため、基礎的、専門的知識及び実……ともに、幅広い知見を習得させ、栄養教諭としての資質の向上を図る。	●学校における食育の推進と栄養教諭の役割 ●学校給食の栄養管理と衛生管…… ●教科等における……指導 ●教育公務員としての服務と勤務、生徒指導等	1使命感等　8個の対応 2教養等　9特別支援 3本県課題　10同僚性 4学び構想　11組織運営 5授業実践　12地域連携 6生徒理解　13学校安全 7社会性等　14 ICT

健康

12 栄養教諭5年経験者研修

（校種）小･中･市立特支　（研修予定人数）5　名

S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長･副校長

※　令和6年度は実施しない

場所	期日・日数	目的	内容	資質･能力
（校外における研修） ○専門領域研修 〈各所属校・教育センター〉		学校栄養職員採用から数え在職……技能を高める研修を行い、教育的指導力及び資質の向上を図る。	●5年経験栄養教諭としての心構え、教職員の勤務と服務、特別活…… ……・衛生管理、食に関する指導の進め方、食育の推進に向けて、情報教育等	1使命感等　8個の対応 2教養等　9特別支援 3本県課題　10同僚性 4学び構想　11組織運営 5授業実践　12地域連携 6生徒理解　13学校安全 7社会性等　14 ICT

健康

13 栄養教諭中堅教諭等資質向上研修

（校種）小･中･市立特支　（研修予定人数）4　名

S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長･副校長

場所	期日・日数	目的	内容	資質･能力
（校外における研修） ○専門領域研修 〈各所属校・教育センター〉	7/25.26 7/29 （3日）	学校栄養職員採用から数え在職期間が10年に達した栄養教諭に対して、個々の能力、適性等に応じて実践的指導力の向上を図るとともに、幅広い識見と豊かな社会性を得させる。	●10年経験栄養教諭としての心構え、教職員の勤務と服務、特別活動の進め方 ●学校給食の栄養管理・衛生管理、食に関する指導の進め方、食育の推進に向けて、情報教育等	1使命感等　8個の対応 2教養等　9特別支援 3本県課題　10同僚性 4学び構想　11組織運営 5授業実践　12地域連携 6生徒理解　13学校安全 7社会性等　14 ICT

健康

14 栄養教諭食育推進研修会

（校種）／（研修予定人数）35　名

S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長･副校長

場所	期日・日数	目的	内容	資質･能力
県北 相双 いわき の協力校所属校	10月～12月中 （未定）	食育が円滑に推進するために、栄養教諭としての専門的知識・実践的指導力及び使命感を養うとともに、幅広い識見を得させ資質の向上を図る	●栄養教諭を中核とした食育の推進 ●教科等における食に関する指導等	1使命感等　8個の対応 2教養等　9特別支援 3本県課題　10同僚性 4学び構想　11組織運営 5授業実践　12地域連携 6生徒理解　13学校安全 7社会性等　14 ICT

健康

15 教育支援協議会

（校種）中学校管理職･地教委　（研修予定人数）290　名

S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長･副校長

場所	期日・日数	目的	内容	資質･能力
県北 県中 県南 会津 南会津 相双 いわき	6/11（1日） 5/27（1日） 5/29（1日） 6/5（1日） 5/30（1日） 6/ 7（1日） 6/18（1日）	各学校における一貫した支援体制の整備と充実に向けて、特別な支援を必要とする幼児児童生徒の理解や校内支援体制の整備、対象の幼児児童生徒の教育的ニーズの把握と合理的配慮の提供、関係機関との連携等の取組や課題について理解を図り、各学校における特別支援教育の充実を図る。	●障がいのある幼児児童生徒の教育的ニーズに応じた支援の在り方についての理解 ●連続性のある多様な学びの場と就学についての理解と具体的な事例の共有 ●校内支援体制の整備についての理解と具体的な事例の共有 ●早期からの教育支援と関係機関等との連携についての理解	1使命感等　8個の対応 2教養等　9特別支援 3本県課題　10同僚性 4学び構想　11組織運営 5授業実践　12地域連携 6生徒理解　13学校安全 7社会性等　14 ICT

特支

No.	研修名・講座名			（校種）	（研修予定人数）名
				S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長	
	場所	期日・日数	目的	内容	資質・能力

No.	研修名・講座名	場所	期日・日数	目的	内容	校種	研修予定人数	対象	資質・能力
16 特支	県立特別支援学校医療的ケア実施教員研修会	特別支援 教育センター	4/4 （1日）	県立特別支援学校において教員が医療的ケアを実施するために必要な基本研修を実施し、医療的ケア実施教員の養成を行う。	●特定の者への喀痰吸引研修（社会福祉士及び介護福祉士法施行規則附則第13条における第3号研修）	特支	40名	S2 資質成長期、S3 資質充実期	1使命感等、6生徒理解、9特別支援、10同僚性、12地域連携、13学校安全
17 特支	県立特別支援学校生徒指導担当者等連絡協議会	特別支援 教育センター	7/10 9/27 11/22 12/ 6(オンライン) 2/14 （5日）	県立特別支援学校における生徒指導上の諸問題に関する専門的な研修を実施する。また、生徒指導提要にある「自己の可能性の伸長」を踏まえた「進路指導」についても併せて研修を実施し、指導的な立場にある教員の指導力の向上を図る。	●特別支援学校における生徒指導の留意事項等 ●各学校における生徒指導の取組状況と課題解決に向けての協議等 ●生徒指導を踏まえた進路指導の充実を図る協議等	特支	20名	S2 資質成長期、S3 資質充実期、S4 深化発展期	1使命感等、2教養等、3本県課題、6生徒理解、8個の対応、9特別支援、11組織運営、12地域連携、13学校安全
18 教セ	複式指導（国語・算数）担当教員研修会	教育センター	5/28 （1日）	複式指導（国語・算数）担当教員に対し、複式学級における学習指導等の研修を行い、指導力の向上を図る。	●複式指導の現状と課題、複式学級における指導上の諸問題、複式学級における指導の実際、複式学級における国語・算数の指導計画作成に関する研究協議、演習　等	小	30名	S1 基礎形成期、S2 資質成長期、S3 資質充実期、S4 深化発展期	1使命感等、2教養等、3本県課題、4学び構想、5授業実践、6生徒理解、7社会性等、8個の対応、9特別支援、14ＩＣＴ
19 教セ	免許外教科担任教員研修会	教育センター オンライン	音楽　5/21･5/27 美術　5/15-5/16(1班) 5/22-5/23(2班) 技術　5/14･5/22(1班) 5/16･5/24(2班) 家庭　5/15-5/16(1班) 5/22-5/23(2班) 体育　5/23-5/24 （2日）	中学校の免許外の教科を担任する教員に対し、学習指導に関する研修を行い、指導力の向上を図るとともに、教育活動の充実に資する。	●学習指導の在り方、教科の目標・内容・指導上の留意点、指導上の諸問題解決のための研究協議、演習、実習　等	中	96名	S1 基礎形成期、S2 資質成長期、S3 資質充実期、S4 深化発展期	4学び構想、5授業実践
20 教セ	教頭のためのマネジメント講座	教育センター オンライン	9/2-9/3 （2日）	組織マネジメントの発想を取り入れることにより、変化に対応した新しい学校づくりの考え方と手法を身に付け、さらに危機管理に対する対応や知識を習得するとともに、管理職としての意識の向上を図る。	●学校組織マネジメント、カリキュラム・マネジメント、福島県の教育施策、学校問題の未然防止・早期対応、地域と共にある学校　等	小・中・高・特支	60名	S4 深化発展期	1使命感等、2教養等、3本県課題、8個の対応、9特別支援、10同僚性、11組織運営、12地域連携、13学校安全
21 教セ	小・中学校におけるキャリア教育実践講座	教育センター	9/11 （1日）	小・中学校の教員に対し、将来、社会人・職業人として自立できる児童生徒を育成するキャリア教育の在り方について研修を行い、各学校においてキャリア教育を推進するための指導力の向上を図る。	●キャリア教育の充実に向けて、実社会から見た学校教育への期待、キャリア発達理論とキャリアカウンセリング、基礎的・汎用的能力を育む教育課程、自校における実践的・体験的学習活動の取組、教科横断的な視点を取り入れた年間指導計画の作成　等	小・中	小19名・中13名	S3 資質充実期、S4 深化発展期	1使命感等、2教養等、3本県課題、4学び構想、5授業実践、6生徒理解、7社会性等、8個の対応、9特別支援、10同僚性、11組織運営、12地域連携、13学校安全

No.	研修名・講座名		（校種）	（研修予定人数）　名
			S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長	

場　所	期日・日数	目　的	内　容	資質・能力

22 特別支援学級等新任担当教員研修会

（校種）小・中　（研修予定人数）200 名

S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長

場　所	期日・日数	目　的	内　容	資質・能力
○共通研修 環境創造センター（コミュタン福島）	1日 4/17（県北・会津・南会津） 4/23（県中・県南・相双）	今年度、新たに小・中学校特別支援学級担任及び通級指導教室の担当になった教員に対して、特別支援教育に関する基礎的事項についての研修を通して、特別支援教育に携わる教員としての資質と実践力の向上を図る。	●特別支援教育の実際、児童生徒の理解、自立活動の指導、学級経営、教育課程の編成等の講義 ●各自の学級経営や交流及び共同学習等の実践に基づく研究協議	**1使命感等** / 8個の対応 2教養等 / **9特別支援** 3本県課題 / 10同僚性 **4学び構想** / 11組織運営 **5授業実践** / 12地域連携 **6生徒理解** / 13学校安全 7社会性等 / 14ICT
○地区別研修 県北 県中 県南 会津・南会津 相双	（1日） 10/22 10/23 10/15 10/17 10/25			
○校内における研修	（2日）		●各学校の計画による	

特セ

23 特別支援学級担当教員（経験三年）研修会

（校種）小・中　（研修予定人数）60 名

S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長

場　所	期日・日数	目　的	内　容	資質・能力
（地区別研修） 県北・相双 県中・県南 会津・南会津	1日 8/29 8/28 8/27	特別支援学級担当の経験が通算3年目の教員経験のある小・中学校特別支援学級担当教員に対して、特別支援教育に関する基礎的な内容を踏まえた学級経営や学習指導についての研修を通して、自己の教育実践を振り返り、特別支援教育に携わる教員としての実践力の向上を図る。	●特別支援学級の教育課程の編成や自立活動の指導、交流及び共同学習に関する講義・演習 ●各自の授業実践に基づく授業分析やそれを基にした研究協議	**1使命感等** / 8個の対応 2教養等 / **9特別支援** 3本県課題 / 10同僚性 **4学び構想** / 11組織運営 **5授業実践** / 12地域連携 **6生徒理解** / 13学校安全 7社会性等 / **14ICT**

特セ

24 小・中学校特別支援教育コーディネーター研修会

（校種）小・中　（研修予定人数）130 名

S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長

場　所	期日・日数	目　的	内　容	資質・能力
（地区別研修） 県北 県中 県南 会津・南会津 相双	1日 5/22 5/16 5/21 5/15 5/29	合理的配慮や校内支援体制についての研修を通して、インクルーシブ教育システムの理解を深め、特別支援教育に関わるコーディネーターとしての実践力の向上を図る。	●特別支援教育の最新の動向や小・中学校における特別支援教育コーディネーターの役割、合理的配慮と個別の教育支援計画活用等に関する講義 ●ケース会議に関する講義・演習 ●各校の取組に関する研究協議	**1使命感等** / 8個の対応 2教養等 / **9特別支援** 3本県課題 / 10同僚性 4学び構想 / **11組織運営** 5授業実践 / **12地域連携** **6生徒理解** / 13学校安全 7社会性等 / 14ICT

特セ

25 高等学校特別支援教育コーディネーター研修会

（校種）高　（研修予定人数）39 名

S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長

場　所	期日・日数	目　的	内　容	資質・能力
（地区別研修） 県北 県中・県南 会津・南会津 相双 いわき 環境創造センター（コミュタン福島）	1日 次年度の実施 5/9 次年度の実施 次年度の実施 5/9	合理的配慮や校内支援体制についての研修を通して、インクルーシブ教育システムの理解を深め、特別支援教育に関わるコーディネーターとしての実践力の向上を図る。	●特別支援教育の最新の動向や高等学校における特別支援教育コーディネーターの役割、合理的配慮と個別の教育支援計画活用等に関する講義 ●ケース会議に関する講義・演習 ●各校の取組に関する研究協議	**1使命感等** / 8個の対応 2教養等 / **9特別支援** 3本県課題 / 10同僚性 4学び構想 / **11組織運営** 5授業実践 / **12地域連携** **6生徒理解** / 13学校安全 7社会性等 / 14ICT

特セ

26 特別支援学校特別支援教育コーディネーター研修会

（校種）特支　（研修予定人数）25 名

S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長

場　所	期日・日数	目　的	内　容	資質・能力
特別支援教育センター	5/8 （1日）	特別支援教育コーディネーターの役割や地域のニーズ、有効なコーディネートの在り方等について学び合う研修を通して、特別支援教育コーディネーターとしての実践力の向上を図る。	●本県の特別支援教育の動向や特別支援教育コーディネーターの役割、地域支援等に関する講義 ●各校における校内支援、地域支援の取組に関する研究協議	**1使命感等** / 8個の対応 2教養等 / **9特別支援** 3本県課題 / 10同僚性 4学び構想 / **11組織運営** 5授業実践 / **12地域連携** 6生徒理解 / 13学校安全 7社会性等 / 14ICT

特セ

No.	研修名・講座名	（校種）	（研修予定人数）	対象	場所	期日・日数	目的	内容	資質・能力
27 特セ	特別支援学校養護教諭研修会	特支	ー 名	S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	特別支援教育センター	※ 令和6年度は実施しない	障がいのある児童生徒の理解と … を図る。	●国や本県の特別支援教育の動 … 携等具 … 題等についての協議	1使命感等 3本県課題 5授業実践 6生徒理解 8個の対応 9特別支援 10同僚性 11組織運営 12地域連携 13学校安全
28 特セ	特別支援学校訪問教育・医療的ケア担当教員研修会	特支	ー 名	S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	特別支援教育センター	※ 令和6年度は実施しない	国や県の特別支援教育の現状や施策、特別支援学校における訪 … 訪問教育及び医療的ケアに関わる教員の資質の向上を図る。	●本県の現状、重度・重複障がいのある児童生徒理解等に関する … ケア担当教員に分かれ自校の取組に関する研究協議	1使命感等 5授業実践 6生徒理解 9特別支援 12地域連携 13学校安全
29 特セ	特別支援学校実習助手等研修会	特支	9 名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	特別支援教育センター	8/1 （1日）	障がいのある児童生徒の理解と対応、県の特別支援教育の現状や施策等を研修し、資質の向上を図る。	●国や本県の特別支援教育の動向や課題等の講義 ●障がいの特性理解の演習や生徒の理解とかかわりの視点についての協議	1使命感等 2教養等 3本県課題 4学び構想 5授業実践 6生徒理解 7社会性等 8個の対応 9特別支援 10同僚性 11組織運営 12地域連携 13学校安全
30 特セ	通級指導教室担当教員研修会	小・中	40 名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	環境創造センター （コミュタン福島）	7/9 （1日）	通級による指導の役割や教室経営についての基礎的な研修を通して、通級による指導担当教員としての実践力の向上を図る。	●通級による指導の理解、自立活動の指導、教室経営、保護者や担任との連携に関する講義 ●先進的な取り組み、事例に関する講義（外部講師による講義）	1使命感等 4学び構想 5授業実践 9特別支援 12地域連携 14ＩＣＴ
31 特セ	特別支援学校教務主任・学部主事研修会	特支	25 名	S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	特別支援教育センター	5/30 （1日）	本県の教育行政上の基本的事項や、教務主任及び学部主事の役割、学校マネジメント等についての研修を通して、教務主任及び学部主事としての資質の向上を図る。	●教務主任及び学部主事の職務と役割、期待すること等の講義 ●校務運営上の課題と教務主任・学部主事として配慮していることの協議	1使命感等 3本県課題 9特別支援 10同僚性 11組織運営 13学校安全 14ＩＣＴ

③ 職能研修Ⅰ（校長･副校長対象）

	研修名・講座名			（校種）	（研修予定人数） 名
				S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期	校長･副校長
	場　所	期日・日数	目　　的	内　　容	資質･能力
1	**市町村立学校新任校長･副校長研修会**			（校種） 小･中･特支	（研修予定人数） 110 名
				S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期	校長･副校長
教セ	教育センター オンライン	小学校 4/22,4/25 中･義務教育･特別支援学校 4/22,5/13 （2日）	新任校長･副校長に対し、学校管理運営等の諸問題に関する研修を行い、管理職としての資質の向上を図る。	●校長の役割と責務、学校評価の活用と人事評価等について、学校管理･運営上の課題、特別支援教育の体制の構築について、新任校長に期待すること　等	1 ビジョンと実行力 2 マネジメント力 3 リーダーシップ 4 育成と服務管理 5 ICT
2	**県立学校新任校長･副校長研修会**			（校種） 高･特支	（研修予定人数） 20 名
				S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期	校長･副校長
教セ	教育センター	5/7-5/8 （2日）	新任校長･副校長に対し、学校管理、学習指導、生徒指導等に関する諸問題についての研修を行い、教職員のリーダーとして全校的視野に立つ指導力の深化を図る。	●校長の役割と責務、学校評価と人事評価制度、校長としての取組、学校管理･運営上の諸問題、教育の情報化、特別支援教育　等	1 ビジョンと実行力 2 マネジメント力 3 リーダーシップ 4 育成と服務管理 5 ICT
3	**新任校長オンライン集合ハイブリッド研修**			（校種） 小･中･特支	（研修予定人数） 130 名
				S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期	校長･副校長
義高特	文部科学省 （オンライン集合ハイブリッド）	未定	新任校長を対象とし、ウェルビーイング等をテーマとした実践プログラムの実施を通じて、新任校長のマネジメント能力の向上を図る。各校種における課題に即した研修をオンライン視聴することで自校のマネジメントに活かす。	●文部科学省の計画による。 ●講習動画公開 ●実践プログラム ●オンラインフォーラム	1 ビジョンと実行力 2 マネジメント力 3 リーダーシップ 4 育成と服務管理 5 ICT

④ 職能研修Ⅱ（校長対象）

4	**校長のためのマネジメント講座**			（校種） 小･中･高･特支	（研修予定人数） 60 名
				S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期	校長･副校長
教セ	教育センター オンライン	6/13-6/14 （2日）	組織マネジメントの発想を取り入れることにより、変化に対応した新しい学校づくりの考え方と手法を身に付け、さらに危機管理に対する対応や知識を習得するとともに、管理職としての意識の向上を図る。	●学校組織マネジメント、カリキュラム･マネジメント、福島県の教育施策、学校問題の未然防止･早期対応　等	1 ビジョンと実行力 2 マネジメント力 3 リーダーシップ 4 育成と服務管理 5 ICT

⑤ 職能研修Ⅲ（校長対象）

No.	研修名・講座名			（校種）	（研修予定人数） 名
				S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期	校長･副校長
	場　所	期日・日数	目　　的	内　　容	資質･能力
5	**福島県公立学校長研修会（地区別研修会）**			（校種） 小･中･高･特支	（研修予定人数） 名
				S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期	校長･副校長
義高	県北 県中 県南 会津 南会津 相双 いわき	未定（半日） 未定（半日） 未定（半日） 未定（半日） 未定（半日） 未定（半日） 未定（半日）	各学校が、特色ある教育を実現していくために、本県教育を小･中･高という幅広い視野から展望し、本県教育施策の十分な理解とともに、それらに対応した具体的な実践課題を明確にする。	●学校経営上の諸問題、教育課程編成･実施･管理、服務倫理　等	1 ビジョンと実行力 2 マネジメント力 3 リーダーシップ 4 育成と服務管理 5 ICT

（３）専門研修

①　専門研修Ⅰ

No.	研修名・講座名			(校種)		(研修予定人数) 名		
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	校長・副校長
	場　所	期日（日数）	目　的	内　容			資質・能力	

No.	研修名・講座名	(校種)	(研修予定人数)
1（義務）	幼稚園教育課程研究協議会	幼	280 名

S1 基礎形成期　S2 資質成長期　S3 資質充実期　S4 深化発展期　校長・副校長

場所	期日（日数）	目的	内容	資質・能力
各地区 県北 県中 県南 会津・南会津 相双 いわき	未定 （半日～1日）	幼稚園における教育課程実施上の諸問題に関する専門的研修を実施することにより、教員の指導力の向上と幼稚園教育要領の趣旨の徹底を図り、本県幼稚園教育の充実・改善に資する。	●幼稚園教育要領の趣旨の徹底を図るとともに、教育課程実施上の諸問題や留意点について協議を行う。	1使命感等　8個の対応 2教養等　9特別支援 3本県課題　10同僚性 4学び構想　11組織運営 5授業実践　12地域連携 6生徒理解　13学校安全 7社会性等　14 ICT

No.	研修名・講座名	(校種)	(研修予定人数)
2（義務）	小学校教育課程研究協議会	小	470 名

S1 基礎形成期　S2 資質成長期　S3 資質充実期　S4 深化発展期　校長・副校長

場所	期日（日数）	目的	内容	資質・能力
各教育事務所 県北 県中 県南 会津 南会津 相双 いわき	未定 （半日～1日）	小学校における教育課程実施上の諸問題に関する専門的研修を実施することにより、教員の指導力の向上と学習指導要領の趣旨の徹底を図り、本県小学校教育の充実・改善に資する。	●教育課程一般、各教科、特別の教科道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動についての講義・授業参観・研究協議等を通して、新学習指導要領の趣旨の徹底を図るとともに、年度前半の学校訪問の評価等から後半の教育課程実施上の留意点について協議を行う。	1使命感等　8個の対応 2教養等　9特別支援 3本県課題　10同僚性 4学び構想　11組織運営 5授業実践　12地域連携 6生徒理解　13学校安全 7社会性等　14 ICT

No.	研修名・講座名	(校種)	(研修予定人数)
3（義務）	中学校教育課程研究協議会	中	260 名

S1 基礎形成期　S2 資質成長期　S3 資質充実期　S4 深化発展期　校長・副校長

場所	期日（日数）	目的	内容	資質・能力
各教育事務所 県北 県中 県南 会津 南会津 相双 いわき	未定 （半日～1日）	中学校における教育課程実施上の諸問題に関する専門的研修を実施することにより、教員の指導力の向上と学習指導要領の趣旨の徹底を図り、本県中学校教育の充実・改善に資する。	●教育課程一般、各教科、特別の教科道徳、総合的な学習の時間及び特別活動についての講義・授業参観・研究協議等を通して、新学習指導要領の趣旨の徹底を図るとともに、年度前半の学校訪問の評価等から後半の教育課程実施上の留意点について協議を行う。	1使命感等　8個の対応 2教養等　9特別支援 3本県課題　10同僚性 4学び構想　11組織運営 5授業実践　12地域連携 6生徒理解　13学校安全 7社会性等　14 ICT

No.	研修名・講座名	(校種)	(研修予定人数)
4（高校）	高等学校教育課程講習会	高・特支	800 名

S1 基礎形成期　S2 資質成長期　S3 資質充実期　S4 深化発展期　校長・副校長

場所	期日（日数）	目的	内容	資質・能力
県内5地区 県北 県中・県南 会津 いわき 相双	未定 （半日）	高等学校学習指導要領について、その趣旨の徹底を図り、本県高等学校教育の充実・改善に資する。	●学習指導要領の趣旨の徹底を図るとともに教育課程実施に伴う諸問題について研究協議を行う。	1使命感等　8個の対応 2教養等　9特別支援 3本県課題　10同僚性 4学び構想　11組織運営 5授業実践　12地域連携 6生徒理解　13学校安全 7社会性等　14 ICT

No.	研修名・講座名	(校種)	(研修予定人数)
5（特支）	特別支援学校教育課程運営改善講座	特支	40 名

S1 基礎形成期　S2 資質成長期　S3 資質充実期　S4 深化発展期　校長・副校長

場所	期日（日数）	目的	内容	資質・能力
特別支援教育センター	8/20 （1日）	特別支援学校における教育課程実施上の諸問題に関する専門的な研修を実施することにより、指導的立場のある教員の指導力の向上を図るとともに、学校の実態や児童生徒の障がいの種類と程度に応じた教育課程の編成と適切な実施及び管理に努め、特別支援教育の改善充実に資する。	●教育課程編成、実施、管理上の留意事項等 ●教育課程の実施状況、課題解決への取り組み等についての研究協議、等	1使命感等　8個の対応 2教養等　9特別支援 3本県課題　10同僚性 4学び構想　11組織運営 5授業実践　12地域連携 6生徒理解　13学校安全 7社会性等　14 ICT

No.	研修名・講座名	(校種)	(研修予定人数)
6（特支）	特別支援学級教育課程研修会	小・中	270 名

S1 基礎形成期　S2 資質成長期　S3 資質充実期　S4 深化発展期　校長・副校長

場所	期日（日数）	目的	内容	資質・能力
知的障がい 県北 県中 県南 会津・南会津 相双 いわき 弱視、難聴、肢体不自由、病弱・身体虚弱、自閉症・情緒障がいは、令和5年度は実施しない。	 11/14（半日） 11/6（半日） 10/22（半日） 11/1（半日） 10/ 31（半日） 10/23（半日）	小学校及び中学校の特別支援学級における教育課程の編成及び実施上の諸問題について研修することにより、特別支援学級担当教員の資質の向上と特別支援学級における教育の改善・充実に資する。	●教育課程編成、実施、管理上の留意事項について ●教育課程の実施状況と諸問題の解決、指導計画の改善についての協議　等	1使命感等　8個の対応 2教養等　9特別支援 3本県課題　10同僚性 4学び構想　11組織運営 5授業実践　12地域連携 6生徒理解　13学校安全 7社会性等　14 ICT

② 専門研修Ⅱ

No.	研修名・講座名	(校種)	(研修予定人数) 名
		S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長	
	場所 / 期日(日数)	目的	内容 / 資質・能力

※資質・能力欄は、太字が該当項目(その他は薄く印刷)。

7 幼児教育実技研修会(義務)

項目	内容
(校種)	幼
(研修予定人数)	360 名
対象	**S1 基礎形成期** **S2 資質成長期** **S3 資質充実期** **S4 深化発展期** **校長・副校長**
場所	地区別研修 県北 県中・県南 会津・南会津 相双・いわき
期日(日数)	1日 (未定)
目的	幼稚園教育要領に示されるねらいが達成できるよう実技研修を行い、指導力の向上を図る。
内容	●幼児教育の指導内容についての講義、実技 等
資質・能力	**1使命感等** **8個の対応** 2教養等 **9特別支援** 3本県課題 10同僚性 **4学び構想** 11組織運営 **5授業実践** 12地域連携 **6生徒理解** 13学校安全 7社会性等 14ICT

8 地域支援センター特別支援教育研修会(特支)

項目	内容
(校種)	小・中・高
(研修予定人数)	300 名
対象	**S1 基礎形成期** **S2 資質成長期** **S3 資質充実期** S4 深化発展期 校長・副校長
場所	特別支援学校地域支援センターの計画による 県北 県中 県南 会津・南会津 相双 いわき 視覚・聴覚・肢体不自由・病弱
期日(日数)	1日 未定 未定 未定 未定 未定 未定
目的	小学校・中学校及び高等学校における特別な支援を必要とする児童生徒への指導支援の在り方や進め方、学級経営等について研修することにより、教員の資質向上と授業の改善・充実に資する。
内容	●特別な支援を必要とする児童生徒への指導支援の在り方や進め方について ●学習指導の改善等についての研究協議 等
資質・能力	1使命感等 8個の対応 2教養等 **9特別支援** **3本県課題** 10同僚性 **4学び構想** **11組織運営** **5授業実践** **12地域連携** **6生徒理解** 13学校安全 7社会性等 14ICT

9 体育・保健体育指導力向上研修県中央研修(健康)

項目	内容
(校種)	小・中・高・特支
(研修予定人数)	40 名
対象	**S1 基礎形成期** **S2 資質成長期** **S3 資質充実期** **S4 深化発展期** 校長・副校長
場所	県営あづま総合運動公園体育館
期日(日数)	未定
目的	県内の小学校・中学校及び高等学校・特別支援学校における体育指導者の資質の向上を図るとともに、各教育事務所管内で開催する体育・保健体育指導力向上研修県地区別研修の指導者を養成する。
内容	●幼児の運動遊びコース ●体つくり運動系コース ●表現運動系コース ●器械運動コース ●球技(ゴール型)コース ●武道(剣道)コース ●保健コース
資質・能力	**1使命感等** **8個の対応** 2教養等 9特別支援 3本県課題 10同僚性 **4学び構想** 11組織運営 **5授業実践** 12地域連携 6生徒理解 **13学校安全** 7社会性等 14ICT

10 体育・保健体育指導力向上研修県地区別研修(健康)

項目	内容
(校種)	小・中・高・特支
(研修予定人数)	720 名
対象	**S1 基礎形成期** **S2 資質成長期** **S3 資質充実期** **S4 深化発展期** 校長・副校長
場所	各教育事務所の計画による 県北 県中 県南 会津・南会津 相双 いわき
期日(日数)	1日 8/6 8/19 8/2 8/1または8/2 7/31 7/26
目的	体育担当教員に対し、実技指導力を高める研修を行い、体育指導の充実に資する。
内容	●幼児の運動遊びコース ●器械運動系コース ●ボール運動系コース ●陸上競技コース ●水泳コース ●武道(柔道)コース ●保健コース
資質・能力	**1使命感等** **8個の対応** 2教養等 9特別支援 3本県課題 10同僚性 **4学び構想** 11組織運営 **5授業実践** 12地域連携 6生徒理解 **13学校安全** 7社会性等 14ICT

11 小・中・高学校体育担当者連絡協議会(健康)

項目	内容
(校種)	小・中・高 事務職員
(研修予定人数)	750 名
対象	**S1 基礎形成期** **S2 資質成長期** **S3 資質充実期** **S4 深化発展期** 校長・副校長
場所	各教育事務所の計画による 県北 県中 県南 会津・南会津 相双 いわき
期日(日数)	1日 4/23 5/9 4/25 4/19 4/22 5/8
目的	小・中・高の学校体育担当者の共通理解を図り、一貫した指導体制を構築する。
内容	●体力向上講義、研究協議
資質・能力	**1使命感等** **8個の対応** 2教養等 9特別支援 3本県課題 10同僚性 **4学び構想** 11組織運営 **5授業実践** 12地域連携 6生徒理解 **13学校安全** 7社会性等 14ICT

12 「言葉による見方・考え方」を働かせ、深い学びを実現する小学校国語講座(教セ)

項目	内容
(校種)	小・特支
(研修予定人数)	20 名
対象	**S1 基礎形成期** **S2 資質成長期** **S3 資質充実期** **S4 深化発展期** 校長・副校長
場所	教育センター
期日(日数)	9/2 (1日)
目的	「言葉による見方・考え方」を働かせることと、深い学びを実現する国語科授業の在り方について研修を行い、その指導力を高める。
内容	●「言葉による見方・考え方」を働かせる国語科授業 ●「言葉による見方・考え方」を働かせる授業づくり 等
資質・能力	1使命感等 8個の対応 2教養等 9特別支援 3本県課題 10同僚性 **4学び構想** 11組織運営 **5授業実践** 12地域連携 6生徒理解 13学校安全 7社会性等 14ICT

No.	研修名・講座名	場所	期日（日数）	目的	内容	（校種）	（研修予定人数）	対象	資質・能力	
13	「言葉による見方・考え方」を働かせ、深い学びを実現する中学校国語講座	教育センター	8/5 （1日）	「言葉による見方・考え方」を働かせることと、深い学びを実現する国語科授業の在り方について研修を行い、その指導力を高める。	●「言葉による見方・考え方」を働かせる国語科授業 ●「言葉による見方・考え方」を働かせる授業づくり　等	中・特支	16名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	4学び構想 5授業実践	教セ
14	授業改善に結び付く国語科の評価問題作成・研究講座	教育センター	8/26-8/27 （2日）	評価問題の作成を通して作問力の向上を図るとともに、中高の交流を深めながら検討を重ねることにより、今、求められる評価と評価問題の在り方について考察を深め、授業の改善を図る。	●適切な評価と評価問題の在り方について ●文学的文章の指導と評価問題の作成 ●文学的文章教材の指導について　等	中・高・特支	12名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	4学び構想 5授業実践	教セ
15	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた国語科の授業づくり講座	教育センター	9/27 （1日）	主体的・対話的で深い学びに対する理解を深めるとともに、PISA型読解力の視点による「発問の精選」や「言語活動の充実」を軸とした授業づくりの研修を行い、実践的な指導力の向上を図る。	●PISA型読解力の視点による授業づくり ●主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業構想　等	高・特支	12名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	4学び構想 5授業実践	教セ
16	地域素材の教材化を通して授業が楽しくなる社会科講座	教育センター	7/22-7/23 （2日）	地域素材の教材化を通して、各地域のもつ独特の性質である「地方的特殊性」と他地域にも見られる「一般的共通性」とに気づかせていく授業づくりの研修を行い、単元を構想する力と授業力の向上を図る。	●思考力・判断力・表現力を育む授業づくり ●単元の中に地域素材を扱う時間を位置づける単元構想 ●社会科の学習指導上の諸問題の解決に向けた取組　等	小・中・特支	16名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	4学び構想 5授業実践 14 ICT	教セ
17	地理歴史科における地理総合・歴史総合の授業づくり講座	教育センター	8/6 （1日）	地理総合と歴史総合における「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業づくりの研修を行い、授業力の向上を図る。	●社会的な見方・考え方を働かせる授業づくり ●思考力・判断力・表現力を育む授業づくり ●地理歴史科教育に関する専門的な講義　等	高・特支	12名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	4学び構想 5授業実践 14 ICT	教セ
18	社会科・地理歴史科・公民科における社会に参画する力を育成する授業づくり講座	教育センター	8/26 （1日）	社会科・地理歴史科・公民科における社会に参画する意識を生徒に育ませることの意義とその指導法について、授業づくりの研修を行い、授業力の向上を図る。	●社会に参画する意識を育成する学習指導の意義と指導法 ●社会に参画する力を育成する授業づくり　等	中・高・特支	12名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	4学び構想 5授業実践 14 ICT	教セ
19	数学的活動の充実を図る算数科授業づくり講座	教育センター オンライン	【Ⅰ班】8/6・8/7 （2日） 【Ⅱ班】8/6・8/8 （2日）	教材の本質をとらえるとともに、数学的活動を充実させ、児童の数学的に考える資質・能力を育む授業づくりの研修を行い、その識見と指導力の向上を図る。	●数学的な見方・考え方を働かせる算数科の授業 ●授業研究（数学的活動の充実を図る授業づくり）　等	小・特支	36名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	4学び構想 5授業実践 14 ICT	教セ

No.	研修名・講座名	（校種）	（研修予定人数）	対象	場　所	期日・日数	目　的	内　容	資質・能力
20 教セ	教える授業から子どもが学ぶ授業に変わる数学科授業改善講座	中・特支	20 名	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長	教育センター	11/22 （1日）	子どもが数学的活動に主体的に取り組むための授業の在り方についての研修を行い、その識見と指導力の向上を図る。	●これからの中学校数学科が目指す授業 ●子どもの学びを中心に考える数学科の授業改善　等	1使命感等 / 2教養等 / 3本県課題 / **4学び構想** / **5授業実践** / 6生徒理解 / 7社会性等 / 8個の対応 / 9特別支援 / 10同僚性 / 11組織運営 / 12地域連携 / 13学校安全 / **14 ICT**
21 教セ	数学的に考える資質・能力を育む高等学校数学科単元・授業づくり講座	高・特支	16 名	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長	教育センター	8/26 （1日）	「指導と評価の一体化」のための学習評価を踏まえた単元・授業づくりの研修を通じて、高等学校数学科で育成を目指す数学的に考える資質・能力を生徒に育むための授業実践力の向上を図る。	●観点別学習状況の評価について ●評価問題から考える単元・授業づくり ●主体的に学習に取り組む態度を育む授業の在り方	1使命感等 / 2教養等 / 3本県課題 / **4学び構想** / **5授業実践** / 6生徒理解 / 7社会性等 / 8個の対応 / 9特別支援 / 10同僚性 / 11組織運営 / 12地域連携 / 13学校安全 / **14 ICT**
22 教セ	新課程に対応した高等学校数学科統計授業づくり講座	高・特支	12 名	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長	教育センター	10/1 （1日）	中学校・高等学校の系統性を重視し、統計的探究プロセスを意識した生徒の問題解決や意思決定につながる授業づくりと、ICTを活用した指導法の研修を行い、その識見と指導力の向上を図る。	●小中高で扱う統計学の復習 ●ICTを活用した指導法 ●統計的探究プロセス（PPDACサイクル）を意識した生徒の問題解決や意思決定につながる授業づくり	1使命感等 / 2教養等 / 3本県課題 / **4学び構想** / **5授業実践** / 6生徒理解 / 7社会性等 / 8個の対応 / 9特別支援 / 10同僚性 / 11組織運営 / 12地域連携 / 13学校安全 / **14 ICT**
23 教セ	子どもが目を輝かせて学びを進める理科授業づくり講座	小・特支	16 名	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長	教育センター	8/8 （1日）	児童が関心や意欲を高め、見方・考え方を自在に働かせて資質・能力を育む授業の在り方についての研修を行い、その識見と指導力の向上を図る。	●小学校理科教育の講義 ●問いを引き出す事象提示や観察、実験の工夫 ●理科の見方・考え方を働かせる授業の構想	1使命感等 / 2教養等 / 3本県課題 / **4学び構想** / **5授業実践** / 6生徒理解 / 7社会性等 / 8個の対応 / 9特別支援 / 10同僚性 / 11組織運営 / 12地域連携 / 13学校安全 / 14 ICT
24 教セ	見方・考え方を豊かにする中学校理科教材づくり講座	中・特支	16 名	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長	教育センター	8/9 （1日）	生徒が見方・考え方を働かせるための観察・実験の指導法や、それに伴う教材づくりの工夫についての研修を行い、その識見と指導力の向上を図る。	●授業で活用できる観察，実験の指導法や教材の工夫 ●生徒が見方・考え方を働かせることができる教材づくり	1使命感等 / 2教養等 / 3本県課題 / **4学び構想** / **5授業実践** / 6生徒理解 / 7社会性等 / 8個の対応 / 9特別支援 / 10同僚性 / 11組織運営 / 12地域連携 / 13学校安全 / 14 ICT
25 教セ	科学的に探究する力を育成する理科授業づくり講座	中・高・特支	16 名	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長	教育センター	7/18 （1日）	単元づくりや授業づくりに関する実践的な研修を通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する指導力を高める。	●理科の授業づくりに関する専門的な講義等 ●科学的に探究する力を育成する理科授業づくり	1使命感等 / 2教養等 / 3本県課題 / **4学び構想** / **5授業実践** / 6生徒理解 / 7社会性等 / 8個の対応 / 9特別支援 / 10同僚性 / 11組織運営 / 12地域連携 / 13学校安全 / **14 ICT**
26 教セ	高等学校理科観察・実験講座	高・特支　※理科実習助手対象	20 名	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長	教育センター	7/11,8/7 （2日）	「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた物理、化学、生物、地学に関する観察・実験の研修を行い、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する指導力を高める。	●「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた物理、化学、生物、地学に関する観察・実験の指導法	1使命感等 / 2教養等 / 3本県課題 / **4学び構想** / **5授業実践** / 6生徒理解 / 7社会性等 / 8個の対応 / 9特別支援 / 10同僚性 / 11組織運営 / 12地域連携 / 13学校安全 / 14 ICT

No.	研修名・講座名	場所	期日・日数	目的	内容	（校種）	（研修予定人数）	対象	資質・能力	
27	主体的に表現する児童を育てる小学校外国語講座	教育センター	11/6 （1日）	言語活動を中心に据えた英語の授業の在り方について理解を深め、授業の改善を図る。	●外国語指導の成果と課題 ●学習指導要領が求める外国語の授業の在り方 ●主体的に表現する児童を育てる授業構想　等	小・特支	30名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	4学び構想 5授業実践 14 ICT	教セ
28	英語パフォーマンステストと評価実践講座（話すこと・書くこと編）	教育センター	7/30 （1日）	話すこと・書くこと分野において、パフォーマンス課題を作成・活用する力を高める実践的な研修を通して、観点別学習状況の評価を適切に行う力を高める。	●学習評価上の課題の共有 ●外国語科における観点別学習状況の評価の在り方 ●外国語科におけるパフォーマンス課題とルーブリック　等	中・高・特支	15名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	4学び構想 5授業実践 14 ICT	教セ
29	英語パフォーマンステストと評価実践講座（聞くこと・読むこと編）	教育センター	9/25 （1日）	聞くこと・読むこと分野において、パフォーマンス課題を作成・活用する力を高める実践的な研修を通して、観点別学習状況の評価を適切に行う力を高める。	●作成したパフォーマンス課題とルーブリックの共有 ●外国語科における観点別学習状況の評価の在り方 ●外国語科におけるパフォーマンス評価の在り方　等	中・高・特支	15名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	4学び構想 5授業実践 14 ICT	教セ
30	思考力、判断力、表現力を育成するための英語授業づくり実践講座	教育センター	10/1 （1日）	教科書を活用した言語活動の在り方について理解を深め、資質・能力を育成するための授業改善を図る。	●外国語指導の成果と課題 ●教科書を活用した指導法 ●資質・能力を育成する授業構想	中・高・特支	24名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	4学び構想 5授業実践 14 ICT	教セ
31	英語教員のための英語スキル向上研修	教育センター オンライン	8/5,10/15,11/25 （3日）	ヨーロッパ共通言語参照枠(CEFR)でB2レベルの英語力の獲得を目指す中学校、高等学校の英語教員に対し、英語スキルを向上させる研修を行い、授業を英語で行うための英語力の向上を図るとともに、本県の英語教育の充実に資する。	●リスニングスキルとリーディングスキルの向上 ●スピーキングスキルとライティングスキルの向上 ●授業に生かす英語スキル　等	中・高	20名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	4学び構想 5授業実践	教セ
32	ICTで変わる音楽の授業づくり講座（小学校編）	教育センター	10/29 （1日）	音楽の授業におけるICTの効果的な活用法について、タブレット端末等の演習や講義・協議を通して学び、授業力の向上を図る。	●音楽科におけるICT活用の視点 ●音楽科における効果的なICTの活用	小・特支	小16名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	4学び構想 5授業実践 14 ICT	教セ
33	ICTで変わる音楽の授業づくり講座（中学・高等学校編）	教育センター	11/15 （1日）	音楽の授業におけるICTの効果的な活用法について、タブレット端末等の演習や講義・協議を通して学び、授業力の向上を図る。	●音楽科におけるICT活用の視点 ●音楽科における効果的なICTの活用	中・高・特支	中高16名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	4学び構想 5授業実践 14 ICT	教セ

資質・能力の項目：1使命感等　2教養等　3本県課題　4学び構想　5授業実践　6生徒理解　7社会性等　8個の対応　9特別支援　10同僚性　11組織運営　12地域連携　13学校安全　14ICT

No.	研修名・講座名	場所	期日・日数	目的	内容	(校種)	(研修予定人数) 名	対象	資質・能力
34 教セ	**児童・生徒が音楽を好きになる！歌唱指導法講座**	教育センター	11/7 (1日)	児童生徒が歌唱や合唱をする楽しさを味わうことのできる音楽授業の在り方について、実技演習等を通して学び、その識見と指導力を高める。	●資質・能力を育む歌唱指導について ●音楽を好きになる歌唱・合唱指導	小・中・高・特支	16 名	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長	1使命感等 / 2 教養等 / 3本県課題 / **4学び構想** / **5授業実践** / 6生徒理解 / 7社会性等 / 8個の対応 / 9特別支援 / 10同僚性 / 11組織運営 / 12地域連携 / 13学校安全 / 14 ICT
35 教セ	**思考力・判断力・表現力等を育む器楽指導法講座(ギター編)**	教育センター	10/11 (1日)	器楽における技能が、生徒にとって表現意図を表すために必要なものとなるよう、思考力・判断力・表現力等を育む指導法について理解を深め、指導力の向上を図る。	●思考力・判断力・表現力を育む器楽指導 ●ギターの指導法について 等	中・高・特支	12 名	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長	1使命感等 / 2 教養等 / 3本県課題 / **4学び構想** / **5授業実践** / 6生徒理解 / 7社会性等 / 8個の対応 / 9特別支援 / 10同僚性 / 11組織運営 / 12地域連携 / 13学校安全 / 14 ICT
36 教セ	**楽しみながら力を伸ばす図画工作科指導法講座**	教育センター	10/23 (1日)	創造することの楽しさを感じさせ、思考・判断し、表現するなどの造形的な創造活動の基礎的な能力を育てる図画工作の指導の在り方について、授業実践事例の演習を通して学び、その識見と指導力を高める。	●図画工作科の授業づくり 等	小・特支	12 名	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長	1使命感等 / 2 教養等 / 3本県課題 / **4学び構想** / **5授業実践** / 6生徒理解 / 7社会性等 / 8個の対応 / 9特別支援 / 10同僚性 / 11組織運営 / 12地域連携 / 13学校安全 / **14 ICT**
37 教セ	**創造性を育む図画工作・美術の鑑賞指導法講座**	福島県立美術館	11/8 (1日)	小学校図画工作、中学校・高等学校美術の鑑賞の指導に関する講義や演習を通して、教育における鑑賞の意義等を理解する。また、美術館と連携しながら鑑賞の指導の在り方や教材研究の仕方を学び、その識見と指導力を高める。	●感性を働かせるプログラム ●学校と美術館の連携活動について ●鑑賞教育のこれから 等	小・中・高・特支	12 名	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長	1使命感等 / 2 教養等 / 3本県課題 / **4学び構想** / **5授業実践** / 6生徒理解 / 7社会性等 / 8個の対応 / 9特別支援 / 10同僚性 / 11組織運営 / 12地域連携 / 13学校安全 / 14 ICT
38 教セ	**創造性を育む美術の表現指導法講座**	教育センター	10/10-10/11 (2日)	中学校・高等学校美術の表現の指導について学び、制作演習や講義、鑑賞演習を通して、美術教育における表現の意義等を理解する。また、表現の指導の在り方や教材研究の仕方を学び、その識見と指導力を高める。	●表現の発想と技法 ●表現の発想と構想 等	中・高・特支	12 名	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長	1使命感等 / 2 教養等 / 3本県課題 / **4学び構想** / **5授業実践** / 6生徒理解 / 7社会性等 / 8個の対応 / 9特別支援 / 10同僚性 / 11組織運営 / 12地域連携 / 13学校安全 / 14 ICT
39 教セ	**発想と技法を学ぶ書道実技講座**	教育センター		書に関する見方・考え方を働かせ、書の伝統と文化と豊かに関わ… **※ 令和6年度は実施しない** …諸技法や構想、鑑賞の仕方を学び、その識見と指導力を高める。		高・特支	名	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長	1使命感等 / 2 教養等 / 3本県課題 / **4学び構想** / **5授業実践** / 6生徒理解 / 7社会性等 / 8個の対応 / 9特別支援 / 10同僚性 / 11組織運営 / 12地域連携 / 13学校安全 / 14 ICT
40 教セ	**運動が苦手な児童生徒のための体育指導講座**	教育センター	8/9 (1日)	運動が苦手な児童生徒が体育に背を向ける一次的な原因について理解するとともに、「アダプテッド・スポーツ」の考え方を踏まえ、体育の授業づくりのポイントを体験しながら学び、実践的な指導力を高める。	●多様な支援を必要とする児童生徒への体育指導 ●運動が苦手な児童生徒に対する授業づくり	小・中・高・特支	30 名	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長	1使命感等 / 2 教養等 / 3本県課題 / **4学び構想** / **5授業実践** / 6生徒理解 / 7社会性等 / 8個の対応 / **9特別支援** / 10同僚性 / 11組織運営 / 12地域連携 / 13学校安全 / 14 ICT

No.	研修名・講座名	(校種)	(研修予定人数)	対象	場所	期日・日数	目的	内容	資質・能力	
41	1人1台端末を活用した保健体育の授業づくり講座	小・中・高	20名	S1 基礎形成期、S2 資質成長期、S3 資質充実期、S4 深化発展期	教育センター	11/8 (1日)	保健体育の授業における1人1台端末の効果的な活用の仕方について授業実践事例の協議や演習を通して学び、指導力の向上を図る。	●保健体育の授業におけるICT活用のポイント ●1人1台端末を活用した保健体育の授業構想 ●1人1台端末の効果的な活用法	4学び構想、5授業実践、14ICT	教セ
42	実践力を高める技術科講座 (情報・エネルギー変換編)	中・特支 ※中学校免許外教科担任受講可	10名	S1 基礎形成期、S2 資質成長期、S3 資質充実期、S4 深化発展期	教育センター	8/5,8/8 (2日)	中学校技術科の教科指導に必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得し、実践的な指導力の向上を図る。	●エネルギー変換の技術・情報の技術に関する指導上の課題 ●技術分野におけるプログラミングに関する指導の在り方 ●エネルギー変換の技術・情報の技術における授業例　等	4学び構想、5授業実践、14ICT	教セ
43	家庭科の指導力向上をめざす 基礎・基本講座(調理編)	小・中・特支 ※中学校免許外教科担任受講可	10名	S1 基礎形成期、S2 資質成長期、S3 資質充実期、S4 深化発展期	教育センター	8/9 (1日)	小・中学校家庭科の実技指導に必要な基礎的・基本的な知識と技能を習得し、実践的な指導力の向上を図る。	●食生活の学習に関する指導上の課題 ●主体的・対話的で深い学びの実現を図る家庭科教育 ●問題解決型学習を取り入れた調理実習	4学び構想、5授業実践	教セ
44	保育に関する指導の充実をめざす家庭科講座	中・高・特支	10名	S1 基礎形成期、S2 資質成長期、S3 資質充実期、S4 深化発展期	教育センター	11/7-11/8 (2日)	中学校・高等学校家庭科における保育分野の専門的な知識や技能、指導法について学び、実践的な指導力の向上を図る。	●家庭科教育における学習指導と指導上の課題 ●これからの保育学習の方向性について ●幼児教育の在り方について ●保育分野の授業づくり	4学び構想、5授業実践	教セ
45	指導力向上をめざす福祉科講座	高・特支	8名	S1 基礎形成期、S2 資質成長期、S3 資質充実期、S4 深化発展期	教育センター	10/22 (1日)	高等学校福祉科における専門的な知識や技術、指導法について学び、実践的な指導力の向上を図る。	●福祉科教育における学習指導と指導上の課題 ●これからの福祉科教育の在り方について ●福祉的な見方・考え方を働かせる福祉科の授業	4学び構想、5授業実践	教セ
46	問題の発見・解決に向かうプログラミング指導の在り方講座(データサイエンス編)	高・特支	20名	S1 基礎形成期、S2 資質成長期、S3 資質充実期、S4 深化発展期	教育センター	8/30 (1日)	高等学校情報科におけるプログラミング指導法の研修を通して、問題の発見・解決型の授業づくり、観点別学習状況の評価の場面設定など、専門的な知識・技能の向上を図る。	●情報科教育における学習指導と指導上の課題 ●プログラミング指導の在り方 ●問題の発見・解決型の授業づくり ●観点別学習状況の評価の在り方	3本県課題、4学び構想、5授業実践、14ICT	教セ
47	児童・生徒が自己の生き方を考えていく 総合的な学習・探究の時間授業づくり講座	小・中・高・特支	30名	S1 基礎形成期、S2 資質成長期、S3 資質充実期、S4 深化発展期	教育センター	11/25 (1日)	探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成するための指導力の向上を図る。	●総合的な学習・探究の時間の授業づくり ●総合的な学習・探究の時間の単元構想	4学び構想、5授業実践、12地域連携	教セ

No.	研修名・講座名	場所	期日・日数	目的	内容	(校種)	(研修予定人数)	対象	資質・能力	
48	**子どもの成長を見取り評価に生かす 小学校道徳科講座**	教育センター	7/23 (1日)	道徳科の授業の充実を図るための評価を生かした実践的な研修を通して、指導力の向上を図る。	●評価を生かした道徳科の授業づくり ●道徳科における評価の在り方等	小・特支	30 名	S1 基礎形成期、S2 資質成長期、S3 資質充実期、S4 深化発展期	4学び構想、5授業実践	教セ
49	**子どもの成長を見取り評価に生かす 中学校道徳科講座**	教育センター	9/2 (1日)	道徳科の授業の充実を図るための評価を生かした実践的な研修を通して、指導力の向上を図る。	●評価を生かした道徳科の授業づくり ●道徳科における評価の在り方等	中・特支	20 名	S1 基礎形成期、S2 資質成長期、S3 資質充実期、S4 深化発展期	4学び構想、5授業実践	教セ
50	**授業力基礎基本向上講座**	教育センター	7/23 (1日)	教師として経験が浅く、授業の「きそのキ、きほんのキ」をもっと知りたい、学びたい、語り合いたい先生方が、授業の指導案作りを通して、もっと授業に自信をもって臨めるように、資質の向上を図る。	●指導案作成を通した授業づくり ●作成した指導案の模擬授業を通した授業づくり	小・中・高・特支	20 名	S1 基礎形成期	5授業実践	教セ
51	**授業力ブラッシュアップ講座**	教育センター	8/5 (1日)	5年を超えて教師として授業に取り組んできて、平成から令和に元号が変わり、「令和の日本型学校教育」について、改めて自身の授業を振り返りたい、学び直したい先生方が、授業の指導案作りを通して、基本的なスキルを再確認する。	●指導案作成を通した授業づくり ●作成した指導案の模擬授業を通した授業づくり	小・中・高・特支	20 名	S2 資質成長期、校長・副校長	5授業実践	教セ
52	**子どもたちが支え合い、高め合う学級をつくる 学級活動講座**	教育センター	7/24 (1日)	自主的・実践的な学級活動の時間の充実を図るための指導の在り方についての研修を行い、その識見と指導力の向上を図る。	●学級活動における指導のポイント ●子どもたちが支え合い、高め合う特別活動 ●子どもたちが支え合い、高め合う授業構想	小・中・特支	40 名	S1 基礎形成期、S2 資質成長期、S3 資質充実期、S4 深化発展期	5授業実践、6生徒理解、7社会性等	教セ
53	**放射線・防災教育指導力向上講座**	コミュタン福島 福島県環境創造センター交流棟	8/2 (1日)	放射線・防災教育の充実に向けた指導のポイントを学び、授業、学校行事等における指導内容を構想する研修を通して、その識見と指導力の向上を図る。	●放射線教育の充実に向けて ●指導内容の構想	小・中・高・特支	16 名	S1 基礎形成期、S2 資質成長期、S3 資質充実期、S4 深化発展期	3本県課題、4学び構想、12地域連携、13学校安全	教セ
54	**学校教育相談基本講座**	教育センター	8/2 (1日)	学校教育相談の基礎となる理論と技能について実践的な研修を行い、その指導力を高める。	●学校教育相談の意義と相談面接 ●児童生徒理解と学級集団理解	小・中・高・特支 ※実習助手受講可	40 名	S1 基礎形成期、S2 資質成長期、S3 資質充実期、S4 深化発展期	6生徒理解、7社会性等、8個の対応	教セ

No.	研修名･講座名	場　所	期日・日数	目　　的	内　　容	(校種)	(研修予定人数)	対象	資質･能力
55 教セ	学校が変わる！解決志向で取り組む学校教育相談実践講座	教育センター	11/11 （1日）	学校教育相談を実施･運営する上で必要な理論と技能について実践的な研修を行い、その指導力を高める。	●学校教育相談活動の在り方 ●解決志向アプローチ ●解決志向で取り組むチーム会議	小･中･高･特支 ※実習助手受講可	24 名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	6生徒理解 8個の対応 10同僚性
56 教セ	体験的に学ぶ人間関係づくり講座	教育センター	9/9 （1日）	教師と児童生徒の信頼関係及び児童生徒相互の好ましい人間関係づくりに役立つ教育相談活動について、演習を中心とした実践的な研修を行い、その指導力を高める。	●校種共通編 ●校種別編	小･中･高･特支 ※実習助手受講可	40 名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	6生徒理解 7社会性等
57 教セ	スマホ時代のいじめの理解と対応講座	教育センター	10/17 （1日）	いじめ防止対策推進法及びいじめ防止基本方針に基づいた組織的な対応の在り方と、いじめの現状について理解するとともに、未然防止、早期対応等に関わる指導力を高める。	●いじめ防止対策推進法といじめの現状理解 ●いじめ対応と未然防止	小･中･高･特支 ※実習助手受講可	40 名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	2教養等 6生徒理解 8個の対応
58 教セ	不登校の理解と対応講座	教育センター	9/25 （1日）	不登校についての基本的な考え方とその指導援助の在り方などについて実践的な研修を行い、実際に不登校児童生徒にかかわるための力を高める。	●不登校の理解 ●不登校の理解と対応	小･中･高･特支 ※実習助手受講可	60 名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	6生徒理解 8個の対応
59 教セ	校務処理に役立つ表計算活用講座	教育センター	9/30 （1日）	校務処理における表計算の様々な機能についての実践的な研修を行い、その技術と指導力を高める。	●関数とグラフの活用法 ●クロス集計の活用法	小･中･高･特支 ※実習助手受講可	30 名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	11組織運営 14ＩＣＴ
60 教セ	授業力向上のためのICT活用実践講座（義務系）	教育センター	11/5 （1日）	タブレットPC等の取扱いや授業における効果的な活用法を学び、授業力向上を図るとともに、校内でICTの活用を推進できる技術と指導力を高める。	●教育の情報化の概要 ●効果的なICT活用事例と活用のポイント ●ICT機器の操作法 ●授業設計ワークショップ	小･中	30 名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	4学び構想 5授業実践 14ＩＣＴ
61 教セ	授業力向上のためのICT活用実践講座（県立系）	教育センター	10/15 （1日）	タブレットPC等の取扱いや授業における効果的な活用法を学び、授業力向上を図るとともに、校内でICTの活用を推進できる技術と指導力を高める。	●教育の情報化の概要 ●効果的なICT活用事例と活用のポイント ●ICT機器の操作法 ●授業設計ワークショップ	高	30 名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	4学び構想 5授業実践 14ＩＣＴ

No.	研修名・講座名	(校種)	(研修予定人数)	対象	場所	期日・日数	目的	内容	資質・能力
62 教セ	グループウェアで活用するクラウドサービス実践講座	小・中・高・特支 ※実習助手受講可	30 名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	教育センター	7/19（1日）	校内グループウェアとしてのGoogle Workspace for Educationの活用法を学び、校務の情報化を推進するための知識と技術を高める。	●グループウェアの概要 ●校内グループウェアとしての活用 ●各学校の校内共有サイトの構築	11組織運営、14 ICT
63 教セ	小学校プログラミング教育を取り入れた授業づくり講座	小・特支	30 名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	教育センター	8/28（1日）	プログラミング教育の充実に向けた指導のポイントを学び、各教科等における指導内容を構想する研修を通して、その識見と指導力の向上を図る。	●小学校プログラミング教育の概要 ●プログラミングに関する学習活動 ●指導内容の構想	4学び構想、5授業実践、14 ICT
64 教セ	適切で責任ある行動力の育成を目指した情報モラル教育講座	小・中・高・特支	30 名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	教育センター	7/29（1日）	情報化社会が進展する中で、インターネットの現状を理解し、子どもたちに情報モラルや情報リテラシーを身に付けさせるための、新たな情報モラル教育の指導力向上を図る。	●インターネット社会の現状 ●ワークショップ「適切で楽しいコミュニケーションを考える」 ●ワークショップ「責任ある行動力を育てる授業を考える」	7社会性等、14 ICT
65 教セ	養護教諭のための指導力向上講座（救急処置編）	小・中・高・特支 ※養護教諭対象	50 名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	教育センター	9/27（1日）	児童生徒の生命に関わる救急処置・危機管理を中心に、実践的な研修を通して、複雑多様化する児童生徒の健康課題解決に向けた専門性と実践力の向上を図る。	●最新の救命救急に関する知識理解 ●学校における救命救急処置の実際とその対応 ●自校の健康課題解決に向けた協議　等	4学び構想、5授業実践、12地域連携、13学校安全
66 教セ	養護教諭のための指導力向上講座（保健教育編）	小・中・高・特支 ※養護教諭対象	30 名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	教育センター	11/15（1日）	主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れたTTによる授業や個別の保健指導に関する実践的な研修を通して、複雑多様化する児童生徒の健康課題解決に向けた専門性と実践力の向上を図る。	●主体的・対話的で深い学びの実現を目指した保健教育の在り方 ●保健教育に関する授業の改善に向けた協議 ●効果的な個別の保健指導の進め方　等	4学び構想、5授業実践、8個の対応、10同僚性
67 特セ	発達障がいのある幼児児童生徒の基礎的な理解と対応 ～「気づく」から始めよう～	幼保こ・小・中・高	30 名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	特別支援教育センター	7/17（1日）	発達障がいのある幼児児童生徒の基礎的な理解と適切な対応の仕方について研修を行い、教員としての専門性の向上を図る。	●発達障がいの特性の理解（講義） ●背景・要因、支援や対応に関する演習 ●医師の立場からの発達障がいの子どもたちの困難さと支援の視点（外部講師による講義）	5授業実践、6生徒理解、9特別支援

No.	研修名・講座名	校種	研修予定人数	対象	場所	期日・日数	目的	内容	資質・能力
68 特セ	**発達障がいのある幼児・児童のライフステージに応じた支援** **～今日の「できた」を未来(あした)へつなげる～**	幼保こ・小	30名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	特別支援教育センター	8/6 (1日)	発達障がいのある幼児児童のライフステージに応じた課題や特性・困難さへの支援について研修を行い、幼児・児童理解を深めるとともに指導力の向上を図る。	●発達障がいのある幼児児童のライフステージに応じた課題と支援(講義) ●実践発表 ●子どもの可能性や個性を伸ばす教育機会の提供のためのケース検討(協議)	6生徒理解 9特別支援 12地域連携
69 特セ	**発達障がいのある生徒のライフステージに応じた支援** **～豊かな現在(いま)が未来を拓く～**	中・高	30名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	特別支援教育センター	8/21 (1日)	発達障がいのある生徒のライフステージに応じた課題や特性・困難さに応じた支援について研修を行い、生徒理解を深めるとともに、指導力の向上を図る。	●発達障がいのある生徒のライフステージに応じた課題と対応に関する講義 ●主体的な進路決定のための指導の実際(グループ協議) ●発達障がいのある生徒の充実した現在と豊かな未来のために(外部講師による講義)	6生徒理解 9特別支援 12地域連携
70 特セ	**教育相談(基礎編)** **～わかり合うところがスタートライン～**	幼保こ・小・中・高・特支	30名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	特別支援教育センター	8/2 (1日)	特別な教育的支援が必要な幼児児童生徒やその保護者との教育相談の基本姿勢についての理解を深め、実践力の向上を図る。	●特別な支援の必要な幼児児童生徒の行動の理解 ●教育相談で大切にしたいこと(講義・演習) ●教育相談の進め方(講義・演習)	6生徒理解 8個の対応 9特別支援 12地域連携
71 特セ	**教育相談(応用編)** **～チームでつくる笑顔の相談～**	幼保こ・小・中・高・特支	30名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	特別支援教育センター	9/12 (1日)	様々な幼児児童生徒や保護者の相談に対して、校内体制を活かして、情報を整理し、対応する力の向上を図る。	●組織的に教育相談を進めるとは(講義) ●教育相談に臨む(演習) ●子どもたちが思いを伝えたい人になるために(外部講師による講義)	8個の対応 9特別支援 11組織運営 12地域連携
72 特セ	**指導に活かすアセスメント** **～もっと知りたい子どもたちのこと～**	幼保こ・小・中・高・特支	30名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	特別支援教育センター	7/19 (1日)	検査報告書の読み取り方を含む、幼児児童生徒の実態の捉え方について理解をし、日々のかかわり合いや授業への活かし方について考えることで、実践力の向上を図る。	●子ども理解について、心理アセスメントの活用(講義) ●検査報告書を読んでみよう、支援策の再検討をしよう(演習)	4学び構想 6生徒理解 8個の対応 9特別支援 12地域連携
73 特セ	**早期からの一貫した教育支援** **～教育的ニーズの整理と学びの充実～**	幼保こ・小・中・高・特支	30名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	特別支援教育センター	9/10 (1日)	幼児児童生徒に適切な指導及び必要な支援を提供していくための方法と連携について考え、特別支援教育の実践力の向上を図る。	●教育支援の手引について、切れ目のない支援について(講義) ●教育的ニーズを整理する(演習) ●一貫した教育支援を実現する連携の在り方(協議)	5授業実践 6生徒理解 9特別支援 11組織運営 12地域連携

No.	研修名・講座名	(校種)	(研修予定人数)	対象	場所	期日・日数	目的	内容	資質・能力
74 特セ	特別支援学級の授業の充実 ～主体的に学べる授業を考えよう～	小･中	30 名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期 校長･副校長	特別支援教育センター	8/9 (1日)	特別支援学級の授業づくりや学級経営に関わる応用事項の研修を通して、実践力の向上を図る。	●特別支援学級の教育課程と授業づくり、学級経営の充実(講義) ●特別支援学級の授業の実際、(協議)	1使命感等 8個の対応 2教養等 **9特別支援** 3本県課題 10同僚性 **4学び構想** 11組織運営 **5授業実践** 12地域連携 6生徒理解 13学校安全 7社会性等 14ICT
75 特セ	自立活動の指導の充実(小学校、中学校、高等学校編) ～実態把握と具体的な指導内容の設定～	小･中･高	30 名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期 校長･副校長	特別支援教育センター	7/2 (1日)	自立活動の意義や実態把握から具体的な指導内容の設定に関わる研修を通して、自立活動に関する指導力の向上を図る。	●自立活動の指導の基本(講義) ●実態把握から具体的な指導内容の設定(演習) ●自立活動の指導方法の工夫(協議)	1使命感等 8個の対応 2教養等 **9特別支援** 3本県課題 10同僚性 **4学び構想** 11組織運営 **5授業実践** 12地域連携 **6生徒理解** 13学校安全 7社会性等 14ICT
76 特セ	自立活動の指導の充実(特別支援学校編) ～指導事例から学ぶ～	特支	30 名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期 校長･副校長	特別支援教育センター	10/1 (1日)	自立活動の個別の指導計画や授業実践の協議を通して、効果的な指導について探究するとともに、自立活動の指導力の向上を図る。	●自立活動の指導の充実(講義) ●自立活動の指導の工夫と評価、自立活動の共通課題と改善策(協議)	1使命感等 8個の対応 2教養等 **9特別支援** 3本県課題 10同僚性 **4学び構想** 11組織運営 **5授業実践** 12地域連携 6生徒理解 13学校安全 7社会性等 14ICT
77 特セ	特別支援学校における教科指導の充実 ～知的障がい算数･数学編～	特支	30 名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期 校長･副校長	特別支援教育センター	9/19 (1日)	知的障がいのある児童生徒のための各教科について、文部科学省著作教科書の活用や各校の実践事例についての研修を通して、各教科の指導力の向上を図る。	●知的障がいのある児童生徒の学習上の特性と教育的対応の基本、算数･数学の授業づくり(講義) ●各教科の指導実践事例の発表と授業研究、各教科の指導の課題(協議)	1使命感等 8個の対応 2教養等 **9特別支援** 3本県課題 10同僚性 **4学び構想** 11組織運営 **5授業実践** 12地域連携 6生徒理解 13学校安全 7社会性等 14ICT
78 特セ	重度･重複障がいのある子どもの学びを支える ～伝わる･伝えたい関係づくり～	特支	30 名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期 校長･副校長	特別支援教育センター	7/3 (1日)	重度･重複障がいのある幼児児童生徒の行動の見取りやかかわり合い、授業づくりについての研修を通して、指導力の向上を図る。	●行動の見取り･かかわりの視点、教科指導の在り方(講義) ●児童生徒のかかわり(協議) ●重度･重複障がいのある幼児児童生徒の理解と授業づくり(外部講師による講義)	1使命感等 8個の対応 2教養等 **9特別支援** 3本県課題 10同僚性 **4学び構想** 11組織運営 **5授業実践** 12地域連携 **6生徒理解** 13学校安全 7社会性等 14ICT
79 特セ	特別支援学校における授業の充実 ～確かな学びに向かう授業づくり～	特支	30 名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期 校長･副校長	特別支援教育センター	9/3 (1日)	カリキュラム･マネジメントを踏まえた特別支援学校における授業づくりや評価に関する研修を通して、授業構想や学習評価、組織的な取組に関する知識や実践力の向上を図る。	●授業づくりの考え方、評価規準の設定と評価方法の工夫(講義) ●これからの特別支援学校の授業の在り方(外部講師による講義)	1使命感等 8個の対応 2教養等 **9特別支援** 3本県課題 10同僚性 **4学び構想** **11組織運営** **5授業実践** 12地域連携 6生徒理解 13学校安全 7社会性等 14ICT

No.	研修名・講座名	（校種）	（研修予定人数） 名	対象	場　所	期日・日数	目　的	内　容	資質・能力	区分
80	児童生徒の可能性や個性を伸ばす進路指導 ～一人一人の多様な幸せと進路実現に向けて～	特支	30	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長･副校長	特別支援教育センター	10/3 （1日）	障がいのある児童生徒の進路実現に向けた教育活動の在り方について理解を深め、一人一人の主体的な進路決定につなげる指導力の向上を図る。	●進路指導の現状と課題（講義） ●実践発表 ●卒業後の豊かな暮らしを実現するためには（協議）	1使命感等 / 8個の対応 / 2教養等 / 9特別支援 / 3本県課題 / 10同僚性 / 4学び構想 / 11組織運営 / 5授業実践 / 12地域連携 / 6生徒理解 / 13学校安全 / 7社会性等 / 14ＩＣＴ	特セ
81	授業におけるICTの活用（基礎編） ～やってみよう！写真・動画を使った授業～	特支	30	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長･副校長	特別支援教育センター	9/6 （1日）	ICT活用の基本を学ぶとともに、標準アプリ等の活用方法についての体験的な研修を通して、ICTを授業に活かす視点に気付き、指導力の向上を図る。	●ICTの基本的な理解（講義） ●ICT機器活用について事例とアイディア（演習等）	1使命感等 / 8個の対応 / 2教養等 / 9特別支援 / 3本県課題 / 10同僚性 / 4学び構想 / 11組織運営 / 5授業実践 / 12地域連携 / 6生徒理解 / 13学校安全 / 7社会性等 / 14ＩＣＴ	特セ
82	授業におけるICTの活用（応用編） ～主体的な学びを支える実践の共有～	特支	30	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長･副校長	特別支援教育センター	8/8 （1日）	主体的な学習を支えるICT活用に関する研修を通して、ICT活用の実践力を高めるとともに、児童生徒の情報活用能力を育成するための指導力の向上を図る。	●教育的ニーズに応じたICT活用、情報活用能力（講義） ●実践報告と協議 ●ICTに関する先進事例の紹介等（外部講師による講義）	1使命感等 / 8個の対応 / 2教養等 / 9特別支援 / 3本県課題 / 10同僚性 / 4学び構想 / 11組織運営 / 5授業実践 / 12地域連携 / 6生徒理解 / 13学校安全 / 7社会性等 / 14ＩＣＴ	特セ

③　専門研修Ⅲ

No.	研修名・講座名	（校種）	（研修予定人数） 名	対象	場　所	期日（日数）	目　的	内　容	資質・能力	区分
83	指導担当者研究協議会	幼･小･中･高	250	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長･副校長	教育センター	4/13-4/14 （2日）	指導担当者に対し、専門的指導力と識見を高める研修を行い、その資質の向上を図る。	●本県の教育課題、県教委の施策、指導の重点、生徒指導上の諸問題、教育課程実施上の諸問題、指導計画の改善、教科等の指導、等	1使命感等 / 8個の対応 / 2教養等 / 9特別支援 / 3本県課題 / 10同僚性 / 4学び構想 / 11組織運営 / 5授業実践 / 12地域連携 / 6生徒理解 / 13学校安全 / 7社会性等 / 14ＩＣＴ	義高
84	福島県小･中学校教育課程研究協議会 各教科等担当指導主事事前協議会	幼･小･中･高	140	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長･副校長	教育センター	8/6 （1日）	指導担当者に対し、専門的指導力と識見を高める研修を行い、その資質の向上を図る。	●本県の教育課題、学校管理運営上の諸問題、生徒指導上の諸問題、教育課程実施上の諸問題、指導計画の改善、教科等の指導、等	1使命感等 / 8個の対応 / 2教養等 / 9特別支援 / 3本県課題 / 10同僚性 / 4学び構想 / 11組織運営 / 5授業実践 / 12地域連携 / 6生徒理解 / 13学校安全 / 7社会性等 / 14ＩＣＴ	義務

（４）特別研修

No.	研修名・講座名	場所	期日（日数）	目的	内容	校種	研修予定人数	対象	資質・能力	区分
1	**全国へき地教育研究大会**	岡山県	10/10～10/11 （2日）	へき地教育に関する指導内容、指導方法等に関する研修を行い、担当教員の指導力の向上を図る。	●文部科学省及び全国へき地教育研究会の計画による。 ●各地の発表会及び協議会での研修 ●会場校における発表会及び協議会での研修	小・中	2名	S2 資質成長期、S3 資質充実期	4学び構想、5授業実践、6生徒理解、11組織運営、12地域連携、14ＩＣＴ	義務
2	**外国人児童生徒等に対する日本語指導指導者養成研修**	三重県津市	10/8～10/11 （4日）	学校全体での外国人児童生徒の受け入れ体制の整備、関係機関との連携、日本語指導の方法等について、必要な知識等を修得させ、各学校や地域における本研修内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者の養成を図る。	●独立行政法人教職員支援機構の計画による。 ●日本語初期指導プログラム ●教科指導実践プログラム	小・中	1名	S2 資質成長期、S3 資質充実期、S4 深化発展期、校長・副校長	4学び構想、5授業実践、8個の対応、9特別支援、12地域連携、14ＩＣＴ	義務
3	**小学校における外国語教育指導者養成研修**	独立行政法人 教職員支援機構 （対面）	2/3～2/5 （3日）	小学校の外国語活動を担当する教諭、指導主事等に、新学習指導要領における外国語活動及び外国語科の実施に向けた推進方策について理解を深めるとともに、教員の外国語教育を円滑に進めるための方策等を総合的に習得させることを通じて、各学校や地域における研修のマネジメントを推進する指導者の養成を図る。	●独立行政法人教職員支援機構の計画による。 ●外国語活動の現状と外国語教育の今後の方向性 ●新教材の特色を知り、その活用の具体について理解する。 ●外国語教育を円滑に進める指導力向上のための方策 ●外国語教育を推進するための指導者として本研修を振り返り、成果等をまとめるとともに、研修講師となるための課題を整理する。	小	2名	S2 資質成長期	4学び構想、5授業実践、14ＩＣＴ	義務
4	**公立義務教育諸学校教員長期研修**	上越教育大学 1年次1名 2年次2名 福島大学 1年次4名 2年次9名	2年	学校教育に関する専門的知識及び技能を習得させ、本県教育の推進に資する教員を育成する。	●主題研究（教科教育、生徒指導、特別活動、道徳教育、学校臨床心理）	小・中	16名	S2 資質成長期、S3 資質充実期	1使命感等、2教養等、3本県課題、4学び構想、5授業実践、6生徒理解、7社会性等、8個の対応、9特別支援、10同僚性、11組織運営	義務
5	**人権教育推進研修**	独立行政法人 教職員支援機構 （リアルタイム・オンライン）	5/29～5/31 （3日）	人権教育に関する効果的な指導方法等について研修を行うことにより、人権教育の指導的立場を担う教員を養成し、人権教育の指導方法等の改善・充実を図る。	●独立行政法人教職員支援機構の計画による。	小・中	2名	S3 資質充実期、S4 深化発展期、校長・副校長	1使命感等、2教養等、4学び構想、6生徒理解、7社会性等、8個の対応、9特別支援、11組織運営、12地域連携	義務

No.	研修名・講座名	（校種）	（研修予定人数）	S1 基礎形成期 / S2 資質成長期 / S3 資質充実期 / S4 深化発展期 / 校長・副校長	場　所	期日・日数	目　的	内　容	資質・能力	
6	**教育相談基幹研修**	小・中	1　名	S3 資質充実期、S4 深化発展期	独立行政法人 教職員支援機構 （対面）	6/5～6/7 （3日）	生徒指導上の諸問題の解決を図るため、より高度な教育相談の見識と技法を身に付ける等、教育相談の指導者の養成を図る。	●独立行政法人教職員支援機構の計画による。	1使命感等、8個の対応、2教養等、9特別支援、3本県課題、10同僚性、12地域連携、6生徒理解、13学校安全、7社会性等	義務
7	**生徒指導基幹研修**	小・中	各1　名	S3 資質充実期、S4 深化発展期、校長・副校長	独立行政法人 教職員支援機構 （対面）	7/8～7/12 （5日）	生徒指導の原理等に加えていじめ・不登校の問題に関する専門的、実践的研修を行い、学校におけるいじめ・不登校等への対応をより適切なものとなるよう指導者の養成を図る。	●独立行政法人教職員支援機構の計画による。	1使命感等、8個の対応、2教養等、9特別支援、3本県課題、12地域連携、6生徒理解、7社会性等	義務
8	**生徒指導研究推進協議会**	都道府県・市町村教育委員会の職員	2　名	校長・副校長	文部科学省	未定 （1日）	生徒指導問題に関する生徒指導研究センターの研究成果等の広報・普及を図り、生徒指導の推進に資する。	●国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センターの計画による。	8個の対応、9特別支援、10同僚性、11組織運営、12地域連携、6生徒理解、13学校安全、7社会性等	義務
9	**幼児教育指導者養成研修**	幼・こ	名	S3 資質充実期、S4 深化発展期、校長・副校長	独立行政法人 教職員支援機構 （リアルタイム・ オンライン）	9/10～9/12 （3日）	幼児教育の指導者として必要な知識等を習得させ、各学校や地域における本研修内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者の養成を図る。	●独立行政法人教職員支援機構の計画による。	9特別支援、11組織運営、5授業実践、12地域連携、6生徒理解、13学校安全	義務
10	**NIE全国大会**	小・中・高	各1　名	S3 資質充実期、S4 深化発展期	京都府 （京都市）	8/1-8/2 （2日）	NIE実践者及びNIEに関心のある教師、新聞社のNIE担当者を対象に、教師間の経験交流、教師と新聞関係者との情報交換等を行うことを通し、NIE教育の推進を図る。	●一般社団法人日本新聞協会の計画による。	2教養等、10同僚性、4学び構想、11組織運営、12地域連携、6生徒理解、7社会性等	義高
11	**全国キャリア教育・進路指導担当者等研究協議会**	小・中・高	3　名	S2 資質成長期、S3 資質充実期、S4 深化発展期	国立オリンピック記念 青少年総合センター	未定	小学校・中学校・高等学校のキャリア教育・進路指導担当者等がキャリア教育・進路指導の在り方について研究協議、情報交換を行うことにより、今後のキャリア教育・進路指導の改善に資する。	●国立教育政策研究所の計画による。	1使命感等、8個の対応、2教養等、9特別支援、3本県課題、4学び構想、11組織運営、5授業実践、12地域連携、6生徒理解、7社会性等	義高

No.	研修名・講座名	場所	期日・日数	目的	内容	（校種）	（研修予定人数）	S1 基礎形成期／S2 資質成長期／S3 資質充実期／S4 深化発展期／校長・副校長	資質・能力
12 義高	教職員等中央研修①	独立行政法人 教職員支援機構 （つくば市）	6～1月 （5日）	校長、副校長・教頭、中堅教員、教職経験10年前後の教員等に対し、学校の管理運営、学習指導などの諸問題について、それぞれの職務に必要な研修を行い識見を高めるとともに指導力の向上を図る。	●独立行政法人教職員支援機構の計画による。	小･中･高　校長･教頭･中堅教員等	17 名	S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期 校長･副校長	1 使命感等 2 教養等 4 学び構想 5 授業実践 8 個の対応 9 特別支援 10 同僚性 11 組織運営 12 地域連携 13 学校安全 14 ＩＣＴ
13 義高	教職員等中央研修②	独立行政法人 教職員支援機構 （つくば市）	6～12月 （5日）	小学校・中学校・義務教育学校・高等学校の事務局長、学校事務の共同実施におけるリーダー的な役割を担う担当者またはそれに準じるものであって、今後、学校経営、教育実践において各地区の中核として活躍が期待されるものに対して職務に必要な研修を行い、識見を高めるとともに指導力の向上を図る。	●独立行政法人教職員支援機構の計画による。	小･中･高　事務職員	3 名	S3 資質充実期 S4 深化発展期	1 使命感等 2 教養等 11 組織運営
14 義高	産業･情報技術等指導者養成事業	大学、研究所等	未定	産業技術の高度化や学習指導要領に対応した産業技術等の各分野について研修を行い、指導者としての資質の向上を図る。	●独立行政法人教職員支援機構の計画による。	中･高	8 名	S2 資質成長期	1 使命感等 2 教養等 3 本県課題 4 学び構想 5 授業実践 10 同僚性 11 組織運営 12 地域連携 13 学校安全
15 義高	キャリア教育指導者養成研修	富山県富山市	6/11～6/14 （1回目） 8/20～8/23 （2回目）	進路指導担当教員等に対しキャリア教育に必要な専門知識等を習得させ、各地域において本研修を踏まえた研修の講師等としての活動や各学校への指導助言をする資質の向上を図る。	●独立行政法人教職員支援機構の計画による。 ●文部科学省の計画による。	小･中･高	3 名	S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期 校長･副校長	1 使命感等 2 教養等 3 本県課題 4 学び構想 5 授業実践 6 生徒理解 7 社会性等 8 個の対応 9 特別支援 11 組織運営 12 地域連携 13 学校安全
16 義高	伝統音楽指導者研修会	東京都	未定 （2日）	音楽を担当する各地域における指導者等に対し、学習指導要領の趣旨を踏まえ、日本の伝統音楽について解説や講演及び実技研修を行い、学校における音楽教育の改善･充実を図る。	●文化庁の計画による。	小･中･高	3 名	S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	4 学び構想 5 授業実践 6 生徒理解
17 義高	美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修	独立行政法人 国立美術館	未定	全国の小･中･高等学校等の教員と美術館の学芸員等が一同に会してグループ討議等を行うことにより、学校と美術館の一層の連携を図るとともに、美術館を活用した鑑賞教育の充実を図る。	●独立行政法人国立美術館の計画による。	中･高	1 名	S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	4 学び構想 5 授業実践 6 生徒理解

No.	研修名・講座名	（校種）	（研修予定人数） 名
		S1 基礎形成期　S2 資質成長期　S3 資質充実期　S4 深化発展期　校長・副校長	

場　所	期日・日数	目　　的	内　　容	資質・能力

18　学校組織マネジメント研修　（校種）小・中・高・特支　（研修予定人数）6 名

S1 基礎形成期　S2 資質成長期　S3 資質充実期　S4 深化発展期　校長・副校長

場　所	期日・日数	目　　的	内　　容	資質・能力
独立行政法人 教職員支援機構 （リアルタイム・ オンライン）	9/24～9/26 （3日間）	各学校や当該地域において指導的な役割を果たすべく、1）学校ビジョンの構築、学校教育目標の具現化をマネジメントする専門的知見を活用し、組織的な取組を推進する力、2）各学校や当該地域において、教職員の専門性向上を推進する力、を育成することを目的とする。	●独立行政法人教職員支援機構の計画による。	1使命感等　8個の対応 2教養等　9特別支援 3本県課題　10同僚性 4学び構想　11組織運営 5授業実践　12地域連携 6生徒理解　13学校安全 7社会性等　14ＩＣＴ

義高特

19　カリキュラム・マネジメント研修　（校種）小・中・高・特支　（研修予定人数）6 名

S1 基礎形成期　S2 資質成長期　S3 資質充実期　S4 深化発展期　校長・副校長

場　所	期日・日数	目　　的	内　　容	資質・能力
独立行政法人 教職員支援機構 （リアルタイム・ オンライン）	11/11～11/13 （3日間）		●独立行政法人教職員支援機構の計画による。	1使命感等　8個の対応 2教養等　9特別支援 3本県課題　10同僚性 4学び構想　11組織運営 5授業実践　12地域連携 6生徒理解　13学校安全 7社会性等　14ＩＣＴ

義高特

20　道徳教育推進研修　（校種）小・中　校長・教頭　（研修予定人数）4 名

S1 基礎形成期　S2 資質成長期　S3 資質充実期　S4 深化発展期　校長・副校長

場　所	期日・日数	目　　的	内　　容	資質・能力
独立行政法人 教職員支援機構 （対面）	11/6～11/8 （3日間）	発達段階に応じた指導内容の重点化や道徳教育推進教師を中心とした指導体制の確立、特別の教科道徳の趣旨と内容に基づいた指導の充実等について研修を行うことにより、道徳教育を進めるための中核となる指導者を養成し、道徳教育の一層の充実を図る。	●独立行政法人教職員支援機構の計画による。	1使命感等　8個の対応 2教養等　9特別支援 3本県課題　10同僚性 4学び構想　11組織運営 5授業実践　12地域連携 6生徒理解　13学校安全 7社会性等　14ＩＣＴ

義高

21　全国高等学校家庭クラブ指導者養成講座　（校種）高　（研修予定人数）1 名

S1 基礎形成期　S2 資質成長期　S3 資質充実期　S4 深化発展期　校長・副校長

場　所	期日・日数	目　　的	内　　容	資質・能力
国立オリンピック記念 青少年総合センター （東京都）	7/25～7/26 （2日間）	家庭クラブ顧問に対し、高等学校における学校家庭クラブ活動とその運営について研究討議等を行うことにより、指導者としての資質向上を図るとともに、家庭科の学習の充実を図る。	●文部科学省、全国高等学校家庭クラブ連盟の計画による。	1使命感等　8個の対応 2教養等　9特別支援 3本県課題　10同僚性 4学び構想　11組織運営 5授業実践　12地域連携 6生徒理解　13学校安全 7社会性等　14ＩＣＴ

高校

22　全国高等学校農業クラブ指導者養成講座　（校種）高　（研修予定人数）1 名

S1 基礎形成期　S2 資質成長期　S3 資質充実期　S4 深化発展期　校長・副校長

場　所	期日・日数	目　　的	内　　容	資質・能力
国立オリンピック記念 青少年総合センター （東京都）	8月予定 （3日間）	農業クラブ連盟の顧問に対し、農業クラブ活動とその運営について必要な知識・技術を習得させ、指導者としての資質向上を図り、農業クラブの充実に資する。	●文部科学省、全国農業高等学校長会、日本学校農業クラブ連盟の計画による。	1使命感等　8個の対応 2教養等　9特別支援 3本県課題　10同僚性 4学び構想　11組織運営 5授業実践　12地域連携 6生徒理解　13学校安全 7社会性等　14ＩＣＴ

高校

24　体育・保健体育指導力向上研修（東部ブロック）　（校種）小・中・高　（研修予定人数）8 名

S1 基礎形成期　S2 資質成長期　S3 資質充実期　S4 深化発展期　校長・副校長

場　所	期日・日数	目　　的	内　　容	資質・能力
秋田県 秋田市	5/15～5/17 （3日）	体育指導者の資質の向上を図るとともに、体育・保健体育指導力向上研修における指導者の養成を図る。	●スポーツ庁の計画による。	1使命感等　8個の対応 2教養等　9特別支援 3本県課題　10同僚性 4学び構想　11組織運営 5授業実践　12地域連携 6生徒理解　13学校安全 7社会性等　14ＩＣＴ

健康

No.	研修名・講座名	(校種)	(研修予定人数)	対象	場所	期日・日数	目的	内容	資質・能力
25 健康	**体力向上マネジメント指導者養成研修**	幼・小・中・高	4名	S3 資質充実期、S4 深化発展期	独立行政法人 教職員支援機構	11/27～11/29	児童生徒の体力向上に向けた企画・立案、研修講師としての活動、学校への指導・助言等が行える教員の養成を目的とする。	●独立行政法人教職員支援機構の計画による。	1使命感等、4学び構想、5授業実践、6生徒理解、7社会性等、8個の対応、9特別支援、10同僚性、11組織運営、12地域連携、13学校安全
26 健康	**食育指導者養成研修**	小・中	3名	S2 資質成長期、S3 資質充実期、S4 深化発展期	独立行政法人 教職員支援機構	9/25～9/27	学校において食育を推進するため各地域での研修企画、立案、実施、指導助言を行う指導者の養成を図る。	●独立行政法人教職員支援機構の計画による。	1使命感等、4学び構想、5授業実践、7社会性等、8個の対応、10同僚性、11組織運営、12地域連携
27 健康	**健康教育指導者養成研修**	小・中・高	3名	S3 資質充実期、S4 深化発展期	独立行政法人 教職員支援機構 (オンライン)	10/9～10/11	健康教育に関する専門的研修を行いその指導力の向上を図る。	●独立行政法人教職員支援機構の計画による。	1使命感等、4学び構想、5授業実践、6生徒理解、7社会性等、8個の対応、9特別支援、10同僚性、11組織運営、12地域連携、13学校安全
28 健康	**学校安全指導者養成研修**	小・中・高	4名	S3 資質充実期、S4 深化発展期	独立行政法人 教職員支援機構 (オンライン)	7/3～7/5	安全教育に関する研修を行い、学校安全(交通安全・生活安全・災害安全)に関する教育の充実に資する。	●独立行政法人教職員支援機構の計画による。	1使命感等、2教養等、3本県課題、7社会性等、10同僚性、11組織運営、12地域連携、13学校安全
29 健康	**学校給食の衛生管理に関する指導者講習会**	小	1名	S2 資質成長期、S3 資質充実期、S4 深化発展期	国立オリンピック記念 青少年総合センター	6月予定 (2日間)	学校給食における食中毒防止の観点から学校給食の管理に関する業務の指導的立場にある者を対象として食中毒防止のための専門的知識の習得を図る。	●文部科学省の計画による。	1使命感等、2教養等、10同僚性、11組織運営、13学校安全
30 特支	**国立特別支援教育総合研究所専門研修**	特支	6名	S2 資質成長期、S3 資質充実期、S4 深化発展期	独立行政法人 国立特別支援教育 総合研究所 (横須賀市)	第一期 5/13～7/12 第二期 9/10～11/15 第三期 1/8～3/14 (2か月)	特別支援教育を担当する教員に対し、専門的知識及び技術を習得させ、その資質及び指導力の向上を図る。	●専門研修 (1)知的障がい教育コース (2)発達障がい・情緒障がい・言語障がい教育コース (3)視覚障がい・聴覚障がい・肢体不自由・病弱教育コース	1使命感等、2教養等、3本県課題、4学び構想、5授業実践、6生徒理解、9特別支援、11組織運営

No.	研修名・講座名	場所	期日・日数	目的	内容	(校種)	(研修予定人数)	対象	資質・能力
31 特支	交流及び共同学習推進指導者研究協議会	独立行政法人 国立特別支援教育 総合研究所 (横須賀市)	11/27 (1日)	障がいのある児童生徒と障がいのない児童生徒との交流及び共同学習を推進する立場にある教職員の研究協議を通じ、各地域における交流及び共同学習と障がいのある児童生徒への理解推進を図る。	●独立行政法人国立特別支援教育総合研究所の計画による。	特支	2名	S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	1使命感等 9特別支援 4学び構想 5授業実践 12地域連携 6生徒理解 7社会性等
32 特支	特別支援教育におけるICT活用に関わる指導者研究協議会	独立行政法人 国立特別支援教育 総合研究所 (横須賀市)	7/25～7/26 (2日)	障がいのある幼児児童生徒に適切な指導支援を行う上で必要なICT活用をはじめとする教育支援機器等活用について、指導的立場にある教職員の研究協議等を通じ、教育支援機器等の活用に関する専門的知識を深め、各地域における指導支援の充実を図る。	●独立行政法人国立特別支援教育総合研究所の計画による。	特支	1名	S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	1使命感等 9特別支援 6生徒理解
33 特支	高等学校における通級による指導に関わる指導者研究協議会	独立行政法人 国立特別支援教育 総合研究所 (横須賀市)	8/29～8/30 (2日)	高等学校における通級による指導に関し、指導的立場にある教職員による研究協議等を通じ、担当者の専門性の向上及び高等学校における通級による指導の充実を図る。	●独立行政法人国立特別支援教育総合研究所の計画による。	高	2名	S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期	1使命感等 9特別支援 4学び構想 5授業実践 6生徒理解
34 特支	特別支援学校「体育・スポーツ」実践指導者協議会	独立行政法人 国立特別支援教育 総合研究所 (横須賀市)		特別支援学校において、体育・スポーツ活動に関して、指導的立場にある教員等による実践交流・情報交換を通じて、体育・スポー …ポーツ活動の充実を図り、以て障がいのある児童生徒の自立や社会参加と生涯学習への基盤を養うための資質・能力の向上を図る。	…支援教…る。	特支	1名	S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期 校長・副校長	1使命感等 8個の対応 2教養等 9特別支援 3本県課題 10同僚性 4学び構想 11組織運営 5授業実践 12地域連携 6生徒理解 13学校安全 7社会性等

※ 令和4年度から休止

Ⅱ　研究学校(地区)指定計画

1　はじめに

教育活動の展開に当たっては、「計画・実施・評価」のサイクルの中で、学校や教師が創意工夫等による改善を加えることにより、更に効果的にすることが必要である。

このため、各学校では、地域や学校あるいは児童生徒の実態に関する調査、これまで実施してきた教育活動についての評価等を通して、効果的な教育活動の展開を図るよう研究実践に努めなければならない。

学習指導要領に基づく教育課程の実施に当たって、総合的、実践的かつ先導的研究開発に関する参考資料を各学校において整備することは、重要なことである。

したがって、県教育委員会は、文部科学省の研究学校（地区）指定のほか、地域の実情等を考慮しながら、計画的に研究学校（地区）を指定して研究を委嘱し、その研究成果の普及を図り、個々の学校の創意ある教育活動の展開を促進・援助する。

2　研究学校（地区）指定計画の構想

(1) 研究学校（地区）指定

研究学校（地区）指定は、学校種別、規模、地域の実情等を考慮して行う。

(2) 研究領域

研究領域は、学校経営全般にわたるが、各教科・道徳・特別活動等の調整を図り、研究学校（地区）における全教職員が研究参加できる領域となることを原則とする。

(3) 研究の促進・援助

研究学校（地区）指定においては、開発に重点を置いた研究を推進するために、所管する課が次の事項について研究学校（地区）に対し、指導・援助する。

① 研究の進め方について
② 研究過程における実践について
③ 研究の総括的な評価の在り方について
④ 研究成果のまとめ方について

(4) 研究成果の普及

所管する課は、研究成果や情報を学校が継続して組織的に利用できるように、普及活動の強化を図り、その成果が各学校の実践に生かされるようにする。

(5) 経費

県教育委員会は、市町村立学校に対し、研究学校の調査・研究に必要な経費として、定める額を補助する。

(6) その他

研究学校（地区）の詳細な実施要領は所管する課が作成し、指定学校（地区）に配付する。

3　研究学校（地区）指定事業計画

(1) 文部科学省研究学校（地区）指定事業計画

課	No.	事業名	目　　的	指定期間	研究学校（地区）
義務教育課	1	人権教育開発事業	人権意識を培うための教育の在り方について、県教育委員会との連携・協力の下で幅広い観点から実践的な研究を行い、人権教育に関する指導方法等の改善及び充実に資する。	令和６年度	矢祭町 やまつりこども園 矢祭小学校 矢祭中学校
高校教育課	2	スーパーサイエンスハイスクール事業	科学技術・理科・数学教育を重点的に行う学校をスーパーサイエンスハイスクール（ＳＳＨ）として指定し、理科・数学に重点を置いたカリキュラム開発や大学・研究機関等との効果的な連携方策についての実践研究を行う。	令和６年度 ～ 令和１０年度 令和３年度 ～ 令和７年度 令和４年度 ～ 令和８年度	安積高等学校 会津学鳳 高等学校・中学校 福島高等学校
	3	ＷＷＬコンソーシアム構築支援	福島における原子力災害からの復興を果たし、持続可能な社会を創造していくグローバル・リーダーの資質・能力の育成に取り組む学校を拠点校に指定し、探究と海外研修を軸とし、また、大学と連携したグローバル人材育成のカリキュラムの開発・実践、その体制整備を支援する。県内外におけるグローバル人材育成を担う連携校や海外連携校や国際機関等とも目的と情報を共有し、ネットワークを形成していく。	令和５年度 ～ 令和７年度	ふたば未来学園 中学校・高等学校

Ⅲ　予定刊行物

（関係課・各センター主管予定刊行物）

課	No.	刊 行 物 名	内　容	発行月日	規格
義務教育課	1	外国語教育だより English Wind	小学校及び中学校等の外国語教育に係る情報提供	不定期	Ｗｅｂ配信
	2	道徳のとびら	道徳教育家庭用リーフレット	年1回(予定)	Ａ４ Ｗｅｂ配信
	3	道徳のかけ橋	道徳教育教員用リーフレット	年2回(予定)	Ｗｅｂ配信
	4	道徳の礎	道徳教育推進校実施報告書	令和6年　3月	Ａ４ Ｗｅｂ配信
	5	ふくしまGIGAスクールリーフレット	ICT活用・情報モラル教育充実のための教職員用リーフレット	令和6年　3月	Ａ４ Ｗｅｂ配信
	6	わたしたちのふるさと福島県（仮）	小学校社会科地域副読本	令和6年　4月	Ｗｅｂ配信
義務教育課・高校教育課	1	学校教育指導の重点	令和６年度学校教育指導の重点	令和6年　2月	Ｗｅｂ配信
	2	令和６年度福島県教職員特選論文集	教職員研究論文の優秀作品集	令和7年　2月	Ｗｅｂ配信
教育センター	1	初任者・新規採用者研修の手引（幼稚園・こども園教諭、小・中学校教諭、高等学校教諭、養護教諭、学校栄養職員）	初任者・新規採用者研修の手引書	令和6年　3月	Ｗｅｂ配信
	2	初任者・新規採用者研修テキスト（幼稚園・こども園教諭、小・中学校教諭、高等学校教諭、養護教諭、学校栄養職員）	初任者・新規採用者指導教員のためのテキスト	令和6年　3月	Ｗｅｂ配信
	3	初任者・新規採用者研修　研修資料	初任者・新規採用者指導教員のための研修資料	令和6年　3月	Ｗｅｂ配信

課	No.	刊 行 物 名	内　容	発行月日	規格
教育センター	4	２年次教員フォローアップ研修の手引 （小・中学校教諭、高等学校教諭）	２年次教員フォローアップ研修の手引書	令和6年　3月	Ｗｅｂ配信
	5	５年経験者研修の手引 （小・中学校教諭、高等学校教諭、小・中学校養護教諭、県立学校養護教諭）	５年経験者研修の手引書	令和6年　2月	Ｗｅｂ配信
	6	中堅教諭等資質向上研修の手引 （幼稚園・こども園教諭、小・中学校教諭、高等学校教諭、小・中学校養護教諭、県立学校養護教諭、学校栄養職員）	中堅教諭等資質向上研修の手引書	令和6年　2月	Ｗｅｂ配信
	7	所報ふくしま「窓」	教育関係者の提言や教育研究等についての紹介及び教育センターからの案内	令和6年10月 令和7年　3月	Ｗｅｂ配信
	8	研究紀要	本県の喫緊の課題に関する調査研究等についての結果報告及び提言	令和6年　3月	Ａ４ Ｗｅｂ配信
	9	教育相談コーディネーターを軸にしたチーム学校での教育相談について	教育相談コーディネーターを軸とした学校全体での発達支持的教育相談の実践例	令和6年　3月	Ｗｅｂ配信
特別支援教育センター	1	初任者研修の手引 （特別支援学校教諭）	初任者・新規採用者研修の手引書	令和6年　3月	Ｗｅｂ配信
	2	２年次教員フォローアップ研修の手引 （特別支援学校教諭）	２年次教員フォローアップ研修の手引書	令和6年　3月	Ｗｅｂ配信
	3	５年経験者研修 －研修の手引－ （特別支援学校用）	５年経験者研修の手引書	令和6年　3月	Ｗｅｂ配信
	4	中堅教諭等資質向上研修 ―研修の手引― （特別支援学校用）	中堅教諭等資質向上研修の手引書	令和6年　3月	Ｗｅｂ配信
	5	所報「特別支援教育」	教育関係者の提言及び研究・研修・相談事業の案内	令和7年　3月	Ａ４ Ｗｅｂ配信
	6	研究紀要	特別支援教育の今日的課題に関する調査研究及び教育研究についての報告、本県の特別支援教育の在り方について提言	令和6年　3月	Ａ４ Ｗｅｂ配信

Ⅳ その他の研修

課	No.	名　称	会場	期日等	対　象	目 的・内 容
社会教育課	1	地域連携担当教職員等研修会	県内 ７会場	６月 ～ １１月	小・中・高校・特別支援学校の地域連携担当教職員等	地域連携担当教職員の役割や社会に開かれた教育課程の作成等、地域と学校の連携・協働の推進に向けた研修を行う。
社教・義務	2	読書活動支援者育成事業	県内 ７会場	６月 ～ １１月	司書教諭 学校司書 読書ボランティア等	学校図書館の運営や子どもの読書に関わる専門的な知識・技能について研修し資質向上を図るとともに、学校、公立図書館、読書ボランティア等、子どもの読書活動を支えるための連携体制の構築を図る。
義務教育課	3	不登校・いじめ等対策域別シンポジウム (スクールカウンセラー等地区別研修会)	県内 ６会場	５月 ～ ８月	小・中学校教育相談担当者 生徒指導担当者等	スクールカウンセラー等の有効な活用と不登校児童生徒への組織的な対応を目指した研修及びいじめ問題・発達障がい・児童虐待等今日的な課題に対応する研修を実施することにより、教育相談担当者や生徒指導担当者の資質向上を図る。
	4	道徳教育地区別推進協議会	県内 ５会場	９月 ～ １２月	小・中・高校・特別支援学校担当教員 関係指導主事	学習指導要領の趣旨並びに児童生徒、学校、家庭及び地域等の実態を踏まえ、創意工夫を生かした道徳教育を推進するための実践研究を行い，その成果を普及することにより福島県における道徳教育の一層の充実に資する。
	5	域内学力向上担当者等研修会	県内 ７会場	未定 （年１回）	担当教員 担当指導主事	各学校の授業改善、児童生徒の学習習慣・生活習慣の確立をねらいとした取組等についての協議等を行う。
	6	理科授業力アップ研修会	県内 ７地区 ２１会場	未定 （各地区年３回）	小学校教員 中学校理科担当教員	全国学力学習状況調査報告書や「授業スタンダード」、「理科学習指導プラン」に基づいた授業研究会を実施し、日々の理科授業の改善向上を図る。
	7	教育相談コーディネーター研修会	県内 ４会場	５月 ～ １１月	小･中・高校の教諭及び養護教諭	各校において、教育相談コーディネーターを核としたチーム援助の推進に役立てる。
	8	授業の魅力化応援オンライン研修会	オンライン	５月～２月	小・中・義務教育学校の教員等	日頃、先生方が抱えている課題の解消に向けた協議を行うことで、学習を深め、広げる授業、学習内容が確実に定着する授業など児童生徒に目指す資質・能力を育む授業づくりを行うことを目的とする。
義務教育課・教育センター	9	伝承館での指導法研修会	伝承館	未定 （年２回）	経験年数１１年以下の小・中・義務教育学校教員（講師も含む。）	伝承館での研修を通して、震災や復興についての課題探究活動等を行う生徒への指導力の向上を図るとともに、今後の本県の在り方や本県の教育についての考えを深める。
高校教育課・義務教育課	10	英語担当教員エンパワーメント研修	未定	未定	小・中・高校英語担当教員	自身の課題を設定し、年間を通じて、主体的・対話的・協働的な研修を実施し、授業力や英語力の向上を図る。

課	№.	名　称	会場	期日等	対 象	目 的・内 容
高校教育課	11	JETプログラム 外国語指導助手の指導力等向上研修	福島テルサ	１０／２９	ＪＥＴプログラムＡＬＴ 小・中・高等学校担当教員	ＡＬＴ及び英語担当教員の指導力向上を図ることを目的とし、講演・講義・分科会等を行う。
	12	小中高連携推進事業	研修協力校（南相馬市）	未定	小学校教員 中・高校英語担当教員	小・中・高等学校を通じたパフォーマンステスト活用の研究実践を通して授業力向上を推進させる。研修協力校（小中高）における公開授業及び授業研究を行う。
高校教育課	13	教科指導力向上研究会(数学・情報)	参集	未定	県立高校教諭等	大学有識者等を活用し、「言語活動の充実」を意識した、生徒の主体性や思考力・判断力等を育成する授業について、教員等が集い研究する。
	14	情報交換会	オンライン	未定 （年１回）	「進路実現のための資質・能力育成事業」対象校進路指導主事、進路担当者等	事業対象校の進路指導担当者教員等が、本事業の実践報告や各校の進路指導の現状について情報を交換し、その後の進学指導に役立てる。
	15	伝承館での指導法研修会	伝承館等	１１月 （年１回）	令和６年度県立高校初任者研修対象教員	伝承館での研修を通して、震災や復興についての課題探究活動等を行う生徒への指導力の向上を図るとともに、今後の本県の在り方や本県の教育についての考えを深める。
	16	ＷＷＬコンソーシアム構築支援事業教員研修会	未定	未定	ＷＷＬコンソーシアム構築支援事業の事業拠点校、事業連携校、希望する学校の教員	地域とグローバルな課題の解決に向けて、より探究的で文理融合した高度な学習プログラムの研究開発や探究活動の効果的な指導方法について、研修及び情報交換の機会を設ける。
	17	文部科学省によるいじめ問題に関する行政説明	オンライン	５／９	県立学校管理職及び生徒指導主事、希望者として、小・中・特別支援学校教員	いじめの定義や認知に関する正しい理解、いじめ防止対策推進法に基づく組織的な取組、重大事態への対応等について研修を行う。
特別支援教育課	18	地域支援担当者研修会	特別支援教育センター	４／２４ ８／３０ （年２回）	特別支援学校教員	センター的機能の目的や支援の内容等についての共通理解を図るとともに、研修・相談支援に関する専門的な研修を通し、地域支援担当者の資質の向上を図る。
	19	ICT実践協議会	特別支援教育センター	６／２１	特別支援学校教員 情報担当者主任等	ICTを活用した授業実践等の各校の具体的な取り組みについて協議を図り、専門性の向上を図る。また、ICTに関する校内研修を推進の協議も実施し、校内における効果的なICT活用の充実をより一層図る。
	20	自立活動実践協議会	特別支援教育センター	５／２４ １１／８	特別支援学校教員自立活動担当教員等	障がいによる学習上又は生活上の困難さを改善・克服する指導について、各校の指導的な立場にある実践者が、具体的な課題について協議し、実践・検証を図ることで、県内特別支援学校の自立活動の指導力の向上に資する。
	21	医療的ケア実施校看護師等研修会	郡山支援学校 オンライン	７／２６ １２／２４	特別支援学校教員 看護師（小・中・高・特別支援学校）	医療的ケアを必要とする児童生徒の理解と適切な対応を行うため、より専門的な知識、技能を高める研修を行い、各実施校における医療的ケアの充実に資する。

教育センター	22	小学校理科実験基礎講座	県内 ６会場	５月 ～ ６月	理科の授業を担当している教員、及び、今後理科を担当する予定の教員	理科の単元のねらいや学習内容を確認する。また、授業で行う観察や実験について、指導に必要な技能を身に付ける。
	23	運動身体づくりプログラム講座	県内 ６会場	９月 ～ １１月	体育担当者で運動身体づくりプログラムに不安を感じている教員、体育の授業を行っている小学校の学級担任	運動身体づくりプログラムのねらいや趣旨を確認する。また、基本の動きや発展的な動き等について確認し、指導に必要な技能を身に付ける。
	24	児童生徒が1人1台端末を活用する授業基礎講座	オンライン	１２月	小学校・中学校・義務教育学校および特別支援学校小学部、中学部で授業を担当している教員	授業における１人１台端末の活用例の紹介や体験を通して授業力の向上を図る。
	25	生徒が1人1台端末を活用する授業基礎講座	オンライン	７月 ～ １０月	高校または特別支援学校高等部で授業を担当している教員	生徒の資質・能力を育成するための１人１台端末を活用する授業への理解を深める。
	26	情報科支援プログラム	県内 ※各研修通知文にて公開	４月～３月	高校情報科「情報Ⅰ」または「情報Ⅱ」担当者	県立高等学校「情報Ⅰ」または「情報Ⅱ」授業担当教員向けに、先行事例となるモデル授業を配信する。配信することにより、授業担当教員の授業設計・運営の支援をする。 プログラミング未経験の授業担当者に向けて、プログラミングを基本とするモデル授業を構想し、配信する。
	27	タゼミオンライン	オンライン	１２月～２月	県内公私立小・中・義務教育・高・特別支援学校教員	テーマに沿ったそれぞれの考えや経験および効果的な実践について、話題提供者とゲストが語り合う場面を動画配信し、教員の資質向上の一助とする。
	28	表現と鑑賞を楽しむ図画工作・美術講座	教育センター	１１／３０	小・中・高・特別支援学校教員	小学校図画工作、中学校・高等学校美術の表現と鑑賞の指導に関する講義や演習を通して、学びの意義等を理解する。また、表現と鑑賞を相互に関連させた効果的な指導の在り方や教材研究の仕方を学び、その識見と指導力を高める。
	29	美術館でアートを楽しむ鑑賞講座（郡山市立美術館）	郡山市立美術館	９／２８	小・中・高校・特別支援学校教員	小学校図画工作、中学校・高等学校美術の鑑賞の指導に関する講義や演習を通して、教育における鑑賞の意義等を理解する。また、美術館と連携しながら鑑賞の指導の在り方や教材研究の仕方を学び、その識見と指導力を高める。
	30	美術館でアートを楽しむ鑑賞講座（いわき市立美術館）	いわき市立美術館	１１／１６	小・中・高校・特別支援学校教員	小学校図画工作、中学校・高等学校美術の鑑賞の指導に関する講義や演習を通して、教育における鑑賞の意義等を理解する。また、美術館と連携しながら鑑賞の指導の在り方や教材研究の仕方を学び、その識見と指導力を高める。
	31	基礎から学ぶクラウドサービス入門講座	教育センター	６／１	FCSアカウントを所有する教職員（実習教員・講師・技能員・学校事務職員を含む）	初心者を対象に、FCSメール（Google Workspace）の操作からクラウドを用いたデータの共有方法を身に付ける。

教職員現職教育担当者会議設置要綱

（平成３年５月１８日教育長決裁）

（設　置）

第１条　「第７次福島県総合教育計画」の施策の基本方向に基づき、教職員研修の体系的・効果的推進の方途の検討などを行うため、「教職員現職教育担当者会議」（以下「担当者会議」という。）を教育庁内に設置する。

（組織等）

第２条　担当者会議は、下記の者をもって構成する。

教育総務課		企画主幹兼副課長	主任主査	担当管理主事
社会教育課		主幹	主任社会教育主事	担当社会教育主事
義務教育課	課長	主幹	主任管理主事	担当管理主事
			主任指導主事	担当指導主事
高校教育課	課長	主幹	主任管理主事	担当管理主事
			主任指導主事	担当指導主事
特別支援教育課		主幹兼副課長	主任管理主事	担当管理主事
			主任指導主事	担当指導主事
健康教育課		主幹	主任指導主事	担当指導主事
教育センター	研究・研修部長		主任指導主事	担当指導主事
特別支援教育センター		企画事業部長	主任指導主事	

２　担当者会議には、必要に応じ、前項以外の職員を参加させることができる。

３　担当者会議は、義務教育課長または高校教育課長が招集し、会議を主宰する。

（協議事項）

第３条　担当者会議は、次の事項について協議する。

(1) 関係課、教育センター、特別支援教育センターが実施する教職員研修の目的・内容・方法及び日程等に関すること。

(2) 教職員研修事業の研修人員に関すること。

(3) 研究学校（地区）指定計画及び研究成果の普及に関すること。

(4) 手引、資料等の刊行物の発行に関すること。

(5) 調査研究の調整に関すること。

(6) その他、教職員研修に関すること。

（実　施）

第４条　担当者会議において立案された施策については、教育長の決裁を得て実施する。

（庶　務）

第５条　担当者会議の庶務は、西暦における偶数年度については義務教育課において、西暦における奇数年度については高校教育課においてそれぞれ処理する。

（その他）

第６条　この要綱に定めるもののほかは、担当者会議の運営に関し必要な事項は義務教育課長及び高校教育課長が協議して定める。

附　則

1　この設置要綱は、平成３年５月１８日から施行する。

2　教職員現職教育企画調整会議設置要綱（昭和６１年４月１日施行）・現職教育計画推進委員会設置要綱（平成元年４月２８日施行）は廃止する。

3　この設置要綱は、平成　５年４月２１日から施行する。

4　この設置要綱は、平成　７年６月１２日から施行する。

5　この設置要綱は、平成　８年４月　９日から施行する。

6　この設置要綱は、平成　９年６月１３日から施行する。

7　この設置要綱は、平成１１年４月１５日から施行する。

8　この設置要綱は、平成１２年６月１６日から施行する。

9　この設置要綱は、平成１３年４月　１日から施行する。

10　この設置要綱は、平成１４年４月　１日から施行する。

11　この設置要綱は、平成１５年４月　１日から施行する。

12　この設置要綱は、平成１６年４月　１日から施行する。

13　この設置要綱は、平成１７年４月　１日から施行する。

14　この設置要綱は、平成１８年４月　１日から施行する。

15　この設置要綱は、平成２０年４月　１日から施行する。

16　この設置要綱は、平成２２年４月　１日から施行する。

17　この設置要綱は、平成２４年４月　１日から施行する。

18　この設置要綱は、平成２７年４月　１日から施行する。

19　この設置要綱は、平成２９年４月　１日から施行する。

20　この設置要綱は、平成３０年４月　１日から施行する。

21　この設置要綱は、令和　４年４月　１日から施行する。

研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励の内容・方法等

1　対象となる教員の範囲

教育公務員特例法第22条の５の規定による研修履歴の記録（以下「研修記録の記録」という。」及び同法第22条の６の規定による対話に基づく受講奨励（以下「対話に基づく受講奨励」という。）の対象となる「公立の小学校等の校長及び教員」の範囲は以下のとおりです。

	対象の校種及び教員
校　　種	公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、幼稚園及び幼保連携型認定こども園
職　　名	**〈小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校〉** 校長、副校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師
	〈幼稚園及び幼保連携型認定こども園〉 園長、副園長、教頭、主幹教諭（主幹保育教諭、主幹養護教諭、主幹栄養教諭を含む。）、指導教諭（指導保育教諭）、教諭（保育教諭）、助教諭（助保育教諭）、養護教諭、養護助教諭、講師

※　教員は、再任用（常時勤務、短時間勤務）を含みます。

※　養護助教諭、講師は、常勤（臨時的任用教員、任期付教員）で、任用当初に６月を超える任用が見込まれる者が受講奨励の対象者となります。

2　研修履歴の記録の目的

研修履歴の記録は、対話に基づく受講奨励の際に当該記録を活用することにより、教員が自らの学びを振り返るとともに、学校管理職等が教員に対して研修の奨励を含む適切な指導助言を行うことで、効果的かつ主体的な資質向上・能力開発に資することを目的としています。

3　研修履歴の記録の範囲

(1)　必須記録研修等

ア　研修実施者が実施する研修

教育センター、特別支援教育センターが主催する研修のほか、教育事務所や県教育委員会が主催するものが想定されます。また、年度途中に企画・実施されるものも含めて、多種多様な研修が含まれるところ、任命権者が実施するおよそ全ての研修の受講履歴が記録の対象となりますが、いわゆる「研修」と称されるものには、資質の向上を目的に行われるものと、事実上の情報提供や説明会に留まるものの双方が想定されますが、後者と判断されるものは記録の対象となりません。

イ　大学院修学休業により履修した大学院の課程等

ウ　任命権者が開設した免許法認定講習及び認定通信教育による単位の修得

(2)　その他任命権者が必要と認めるもの（教育公務員特例法第22条の５第２項第４号）に含まれ得る研修等

ア　学校現場で日常的な学びとして行われる一定の校内研修・研究等

イ　教員が自主的に参加する研修等

教職員支援機構、大学・教職大学院、教科研究会、特別支援教育研究会、民間企業等の様々な主体が主催する研修・講習等

４　研修履歴の記録の内容

研修受講履歴記録システム及び研修プラットフォームが一体化したシステムである、全国教員研修プラットフォーム「Plant」（以下、「Plant」という。）に、教員個人が、教員育成指標との関係、キャリアステージ、受講年度、勤務校、研修名、振り返り、成果等について記録します。

研修の記録は、「Plant」により、教員個人及び学校管理職が相互に閲覧するとともに、必要に応じて服務監督権者である県教育委員会が閲覧します。

５　対話に基づく受講奨励の方法・時期

(1)　学校管理職以外の教員への対話に基づく受講奨励

ア　研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励に当たっては、人事評価制度との趣旨の違いには留意しつつ、例えば、人事評価に関わる期首面談や期末面談の機会を活用することが想定されます。

イ　期首面談の場においては、次の(ｱ)(ｲ)が考えられます。

(ｱ)　学校管理職は、①指標・教員研修計画や教員個人の職責・経験・適性に照らした人材育成の観点や、②学校が目指す教育を進めるために必要な専門性・能力の確保などの観点から、過去の研修履歴を活用した研修受講の奨励（情報提供や指導助言）を行うこと

(ｲ)　教員は、①自らの専門職性を高めるために主体的に学びをマネジメントする観点や、②学校を支える力を獲得・強化する観点から、自らの資質向上・能力開発のニーズも踏まえた目標設定をすること

ウ　期末面談の場においては、次の(ｱ)(ｲ)(ｳ)が考えられます。

(ｱ)　学校管理職は、当該年度の繁忙状況等を考慮した上での教員個人の資質向上・能力開発の取組状況、OJT や校内研修等の実施状況を踏まえ、研修履歴を振り返りながら、今後の資質向上のための指導助言を行うこと

(ｲ)　教員は、研修履歴を活用しつつ、OJT や校内研修、校外研修などによる学びの成果や自らの成長実感、今後の課題などを振り返ること

(ｳ)　学校管理職と教員が、これらを通じて、成長段階に応じて指標に定められた資質能力がどれくらい身に付けられているかを確認・共有するほか、次年度以降の資質向上・能力開発の目標を話し合うこと

エ　このほか、研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励は、①教員の意欲や主体性の尊重、②学校組織としての総合的な機能の発揮、③教員個人の人材育成の観点などから、これらが調和した効果的な資質向上・能力開発を行うためのプロセスであることを踏まえ、定型的な面談のほか、様々な機会をとらえて、対話に基づく受講奨励を行うことが望まれます。

(2)　職や教科の専門性に応じた受講奨励

ア　養護教諭や栄養教諭など、校内において一人又は少数しか配置されない教員については、その職特有の専門性に通じた学校管理職が当該学校内にいない場合が想定されます。学校管理職は、指導主事や他校に在籍する同職種の教員の協力を得て、その職特有の専門的な指導助言等を依頼するなど、学校内外を通じた継続的な資質向上の推進体制を整えることが望まれます。

イ　教科の専門性に係る資質向上についても、学校管理職は、自らの専門外の教科指導等に関し、校内の同じ教科の教員を通じて所属教員の指導状況の把握や指導助言をしたり、あるいは域内の同じ教科の教員の協力を得て、所属教員に対する指導助言等を依頼したりするなど、学校内外を通じた継続的な連携協力体制を整えることが有効です。

(3)　校長等の学校管理職への対話に基づく受講奨励

ア　法律に基づく研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励の対象には、校長等の学校管理職も含まれます。校長以外の副校長や教頭については、(1)の例に準じて、基本的に校長が研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励を行うことが想定されます。

イ　校長については、一義的には服務監督権者である教育委員会等が、研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励の主体となります。実際には、教育長や教育委員会事務局職員等が受講奨励の主体となることが考えられ、例えば、人事評価における期首・期末面談の場を活用した教育長等による受講奨励が想定されます。

６　学校内で行う研修履歴の記録と学校管理職以外の教員による対話に基づく受講奨励

(1)　学校内で行う研修履歴の記録

ア　任命権者が行う研修履歴の記録とは別に、校内研修を中心に、学校現場における組織的かつ日常的な学びの記録を蓄積し、年間を通じた校内研修の総括の場や職員面談等の場において、その蓄積された記録を基に振り返り、今後の学校全体としての組織的な学びの方針・内容等に反映していくことも、教師の資質向上・能力開発のための取組として有効です。

イ　アのような、研修の性質に応じて学校内で研修履歴を記録することも、いわば「学校としての学びのポートフォリオ」として蓄積・活用していく意味で効果的であり、記録することが過度な負担になったり、記録すること自体が目的化したりすることがないよう留意しつつ、積極的に取り組むことが期待されます。

(2)　様々な主体・機会による対話に基づく受講奨励

教員同士の学び合い文化を醸成する観点から、法律の規定とは直接関係なく、必ずしも研修履歴を活用することを前提とはせずに、例えばミドルリーダーやメンターなど学校管理職以外の教員の協力を得て、対話的な研修の受講奨励を行うことも考えられます。その際、メンターチームを活用した日常的な短い対話の機会や学年会など各学校等に適した様様な機会を活用することが考えられます。

「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励に関するガイドライン」
（令和４年８月（令和５年３月一部改正）文部科学省）を参考に作成

◇「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励」に関する教育委員会の役割分担

１【研修履歴の作成・提供・閲覧等】
【主幹課】 ○　教育総務課 【所管課】 ○　高校教育課（県立高校・県立中学校） ○　特別支援教育課（県立特別支援学校） ○　義務教育課（市町村立学校） ○　市町村教育委員会又は市町村関係部局（市町村立幼稚園等）
２【教員研修計画の策定・研修事業の企画・実施】
○　教育総務課、社会教育課、義務教育課、高校教育課、特別支援教育課、健康教育課 ・・・・・・（育成指標、現職教育計画） ○　県教育センター・・・・・・（研修事業の企画・実施） ○　県特別支援教育センター・・・・・・（研修事業の企画・実施） ○　市町村教育委員会及び中核市における研修所管の関係教育機関 ・・・・・・（県費負担教職員に対する研修事業の企画・実施）
３【受講奨励の実施、学校管理職への指導助言】
【所管課】 ○　高校教育課（県立高校・県立中学校） ○　特別支援教育課（県立特別支援学校） ○　市町村教育委員会（市町村立学校） ○　市町村教育委員会又は市町村関係部局（市町村立幼稚園等）

※　研修履歴を活用して行う対話に基づく受講奨励は、法律上、指導助言者である教育委員会が行うこととされていますが、実際上は、その直接の指導監督に服し、所属職員の日常の服務監督を行う校長が行います。

参考資料

教育公務員特例法（抄）

（研　修）

第２１条　教育公務員は、その職務を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない。

２　教育公務員の任命権者は、教育公務員（公立の小学校等の校長及び教員（臨時的に任用された者その他の政令で定めるものを除く。以下この章において同じ。）を除く。）の研修について、それに要する施設、研修を奨励するための方途その他研修に関する計画を樹立し、その実施に努めなければならない。

（研修の機会）

第２２条　教育公務員には、研修を受ける機会が与えられなければならない。

２　教員は、授業に支障のない限り、本属長の承認を受けて、勤務場所を離れて研修を行うことができる。

３　教育公務員は、任命権者の定めるところにより、現職のままで、長期にわたる研修を受けることができる。

（校長及び教員としての資質の向上に関する指標）

第２２条の３　公立の小学校等の校長及び教員の任命権者は、指針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該校長及び教員の職責、経験及び適正に応じて向上を図るべき校長及び教員としての資質に関する指標（以下「指標」という。）を定めるものとする。

（教員研修計画）

第２２条の４　公立の小学校等の校長及び教員の任命権者は、指標を踏まえ、当該校長及び教員の研修について、毎年度、体系的かつ効果的に実施するための計画（以下この条において「教員研修計画」という。）を定めるものとする。

２　教員研修計画においては、おおむね次に掲げる事項を定めるものとする。

一　任命権者が実施する第２３条第１項に規定する初任者研修、第２４条第１項に規定する中堅教諭等資質向上研修その他の研修（以下この項において「任命権者実施研修」という。）に関する基本的な方針

二　任命権者実施研修の体系に関する事項

三　任命権者実施研修の時期、方法及び施設に関する事項

四　研修を奨励するための方途に関する事項

五　前各号に掲げるもののほか、研修の実施に関し必要な事項として文部科学省令で定める事項

（初任者研修）

第２３条　公立の小学校等の教諭等の任命権者は、当該教諭等（臨時的に任命された者その他政令で定める者を除く。）に対して、その採用（現に教諭等の職以外の職に任命されている者を教諭等の職に任命する場合を含む。附則第５条第１項において同じ。）の日から一年間の教諭又は保育教諭の職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修（以下「初任者研修」という。）を実施しなければならない。

２　任命権者は、初任者研修を受ける者（次項において「初任者」という。）の所属する学校の副校長、教頭、主幹教諭（養護又は栄養の指導及び管理をつかさどる主幹教諭を除く。）、指導教諭、教諭、主幹保育教諭、指導保育教諭、保育教諭又は講師のうちから、指導教員を命じるものとする。

３　指導教員は、初任者に対して教諭又は保育教諭の職務の遂行に必要な事項について指導及び助言を行うものとする。

（中堅教諭等資質向上研修）

第２４条　公立の小学校等の教諭等（臨時的に任用された者その他の政令で定める者を除く。以下この項において同じ。）の任命権者は、当該教諭等に対して、個々の能力、適性等に応じて、公立の小学校等における教育に関し相当の経験を有し、その教育活動その他の学校運営の円滑かつ効果的な実施において中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭等としての職務を遂行する上で必要とされる資質の向上を図るために必要な事項に関する研修（以下「中堅教諭等資質向上研修」という。）を実施しなければならない。

２　任命権者は、中堅教諭等資質向上研修を実施するに当たり、中堅教諭等資質向上研修を受ける者の能力、適性等について評価を行い、その結果に基づき、当該者ごとに中堅教諭等資質向上研修に関する計画書を作成しなければならない。